

令和 7 年度

佐倉市立公民館のまとめ

佐 倉 市 立 公 民 館

目 次

1. 佐倉市の公民館	1
2. 令和7年度 教育目標	2
3. 公民館運営審議会	8

中央公民館

佐倉地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
「大きな海のせかいを描こう！～窓ガラスお絵描きワークショップ特別編～」	6
2. 青少年教育事業	7
気象庁出前講座「気象庁職員から学べる！雷と緊急地震速報時の行動術！」	7
佐倉高等学校連携事業	
「佐倉高校将棋部が伝授！	
将棋初心者ワークショップ～考える力を養おう～（2日間）」	7
秋の星空観察会（和田公民館共催）	8
佐倉東高等学校連携事業「新春を迎える一筆 ～書き初めワークショップ～」	8
令和6年度 小学生夏休みなんでもチャレンジ	9
佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラファミリーコンサート	9
花とあそぼう・いけばな教室	9
スクエアダンスに挑戦しよう！	9
3. 成人教育事業	10
「生活を楽しむ はじめての写経」	10
「桜の落ち葉から2色に染めるエコバッグ講座」	10
「絵図を読む 佐倉城下町絵図の魅力」	10
4. 高齢者教育事業	12
四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」	12
5. 団体育成事業	37
佐倉地区子ども会育成会連絡協議会	37
6. 広報事業	37
ホームページ	37
SNS	37
ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」	38
7. 視聴覚教材ライブラリー事業	38
視聴覚機器貸出	38

和田公民館

和田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
子育て教室	6
家庭教育講座	6
2. 青少年教育事業	7
和田剣道教室	7
軽スポーツ大会	7

秋の星空観察会	7
子ども芸術鑑賞会	8
佐倉っ子塾 料理教室	8
佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	9
3. 成人教育事業	10
佐倉学講座 和田地域学	10
和田市民大学手芸教室	10
和田市民大学和田工芸講座	11
合同研修会	11
4. 団体育成事業	12
①和田地区青少年育成住民会議	12
②和田小学校PTA民俗資料収集委員会	12
③和田はたおり保存会	12
5. 広報・展示事業	13
公民館だより	13
歴史民俗資料室展示	13
6. 図書事業	13
図書貸し出し	13

弥富公民館

弥富地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
くらしの講座「みそづくり」	6
佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」親子で学ぶ!「お金」のキホン講座	6
なんでも体験弥富塾「そば打ちやってみよう!」	7
2. 青少年教育事業	8
佐倉っ子塾 弥富剣道教室	8
なんでも体験弥富塾	8
3. 成人教育事業	9
ちばアカデミア講座@弥富公民館	9
佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」	9
くらしの講座「布ぞうりづくり」	9
くらしの講座「太巻き寿司づくり」	10
佐倉学入門講座 歴史講座	
「佐倉炭と弥富地区 ～炭を焼く・売る・運ぶ～」	10
佐倉学入門講座「弥富自然散策観察会」	11
佐倉学体験講座「クラフトバンドで塩古ざるづくり」	11
4. 団体育成事業	12
ふるさと弥富を愛する会	12
弥富地区青少年健全育成住民会議	12
5. 広報活動事業	12
公民館だより	12

6. 図書事業	1 2
図書貸し出し	1 2

根郷公民館

根郷地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	7
みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ 特別編	8
家族で体験教室	9
2. 青少年教育事業	1 1
夏休み子ども体験講座 根郷公民館 ジュニア防災デイキャンプ	1 1
こども体験講座「ヘタでいい ヘタがいい 絵とことばで思いを伝えよう！」	
こども絵手紙講座	1 2
夏休み子ども体験講座 作文教室	1 2
夏休み子ども体験講座 佐倉っ子塾	
高速道路のお仕事＝ネクスコさんがやって来る	1 3
夏休み子ども体験講座 オリジナルハーバリウムを作ってみよう	
～ボトルアートの世界へようこそ～	1 4
3. 成人教育事業	1 5
根郷寿大学	1 5
シニアのための健康づくり講座	1 5
春待つ園芸講座	1 7
珈琲学入門講座 ～おいしさの方程式～	1 7
おとなのための寄せ植え体験講座	1 8
すてきな布を使ってあなた好みの御朱印帳を作ろう	1 9
佐倉学入門講座	
「鎌倉時代から戦国時代にかけての千葉氏 ～その頃の根郷地区～」	1 9
佐倉学入門講座「レイテ島で佐倉連隊の戦跡をたどる」	2 0
佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪	2 1
佐倉学体験講座 根郷産こんにゃく芋を使ったこんにゃく作り講座	2 2
4. 団体育成事業	2 3
根郷地区社会教育関係団体への支援	2 3
根郷地区青少年育成住民会議	2 3
花の応援団	2 3
定期利用者懇談会	2 3
調理室利用者懇談会	2 4
5. 広報事業	2 5
根郷公民館だより	2 5
6. 図書事業	2 5
図書の貸出・返却	2 5

志津公民館

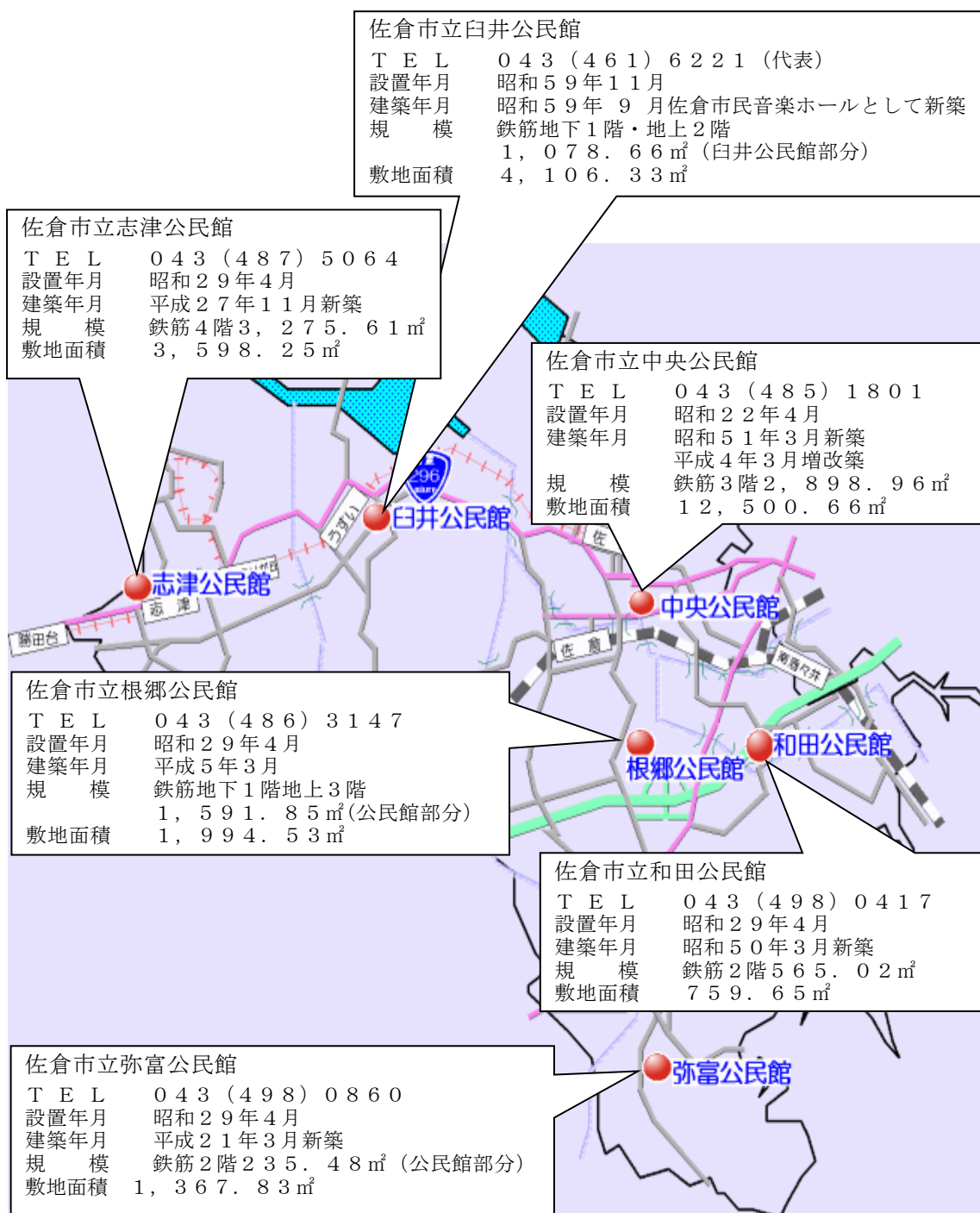
志津地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	6
家族や地域みんなで災害時の食事について考える講座	6
2. 青少年教育事業	7
佐倉っ子塾 志津子ども教室	7
わらで蛇を作る「つじぎり作り」体験	7
3. 成人教育事業	9
しづ市民大学（第36期）	9
佐倉学講演会「佐倉順天堂物語～二代堂主佐藤尚中の生き方～」	13
佐倉学入門講座「井野長割遺跡を学ぶ」	13
佐倉学入門講座 佐倉道を歩く	14
佐倉学講座 志津探訪～秋の野草観察～	15
秋の実りで作る草飾り	15
【能登半島被災地支援】椅子ヨガ講座	16
4. 団体育成事業	17
サークル運営研修会	17
調理室利用サークル懇談会	17
志津地区社会教育関係団体への援助	17
公民館園芸ボランティアへの支援	17
5. 広報・展示事業	18
志津公民館だより「しづ」の発行	19

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要	1
1. 公民館運営計画	2
2. 公民館利用状況	3
事業報告	4
1. 家庭教育事業	7
親子で楽しむおはなし会	7
みんなで七夕かざりを作ろう	7
「親子で手作り☆ハロウィン工作ワークショップ」 ～おばけとかぼちゃのミニミニキャンドルを作ろう～	8
「親子で手作り☆クリスマス工作ワークショップ」 ～すてきなオーナメントボールを作ろう～	8
ストリートオルガンコンサート	9
2. 青少年教育事業	11
バックステージ・ツアー	11
星空観察教室	11
小6 理科実験室	11
水辺観察会「こども水辺探検隊」	12
校庭のたからものでストラップづくり	12
3. 成人教育事業	13
佐倉学入門講座「地域学びあい講座 印旛沼と水の道・陸の道」	13
佐倉学入門講座 『地域学びあい講座 「古今佐倉真佐子」と臼井周辺』	13

佐倉学入門講座 「地域学びあい講座 内水面水産研究所」	1 4
佐倉学入門講座「地域学びあい講座 佐倉のストリートオルガン」	1 4
佐倉学入門講座「佐倉道と臼井宿」	1 4
佐倉学専門講座 「千葉のおばちゃんー東京向け野菜行商の歴史とその特色ー」	1 5
ちょっといいところ見て歩き	1 6
男女平等参画講座	
「家でも職場でも地域でも、”男だから” ”女だから”を手放して	
ー性別による役割分担を超えて、共に支えあう社会へー」	1 6
5. 団体育成事業	1 7
地域団体への支援	1 7
6. 広報・展示事業	1 8
臼井公民館だより	1 8
まちづくり資料室の展示	1 8
サークル展示活動支援	1 8
7. 図書事業	2 0

1. 佐倉市の公民館



令和7年度 教育目標

〔基本理念〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

わたしが輝き、地域が輝き、未来が輝く、“佐倉のひとづくり”

〔めざすべき佐倉市民像〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- （1）思いやりのある豊かな心を持ち、自然や文化を大切にする人
- （2）よく学び、自ら考え、進んで行動する人
- （3）佐倉への愛着と国際的な視野を持って社会に関わる人

〔基本方針〕（第3次佐倉教育ビジョンより）

- 〔1〕子どもの「輝く」力の向上をめざす【学校教育】
- 〔2〕子どもが「輝く」ための教育環境の整備・充実をめざす【教育環境】
- 〔3〕市民や地域の「輝く」力の向上をめざす【生涯学習】
- 〔4〕佐倉の「輝く」力の向上をめざす【文化・芸術】

〔令和6年度施策の主な成果〕

令和6年度は、『第3次佐倉教育ビジョン中期推進計画（令和6年度～令和9年度）』の初年度として、令和9年度末の達成目標に向けて佐倉の教育の充実に努めました。

施策の主な成果について、『第3次佐倉教育ビジョン中期推進計画』の重点事業から特色のあるもの、新たに取り組んだ事項など主なものを以下に表記します。

なお、施策事業の実績・成果及び評価については、「教育委員会の事務執行にかかる点検評価報告書」を作成し公表いたします。

- （1）確かな学力の向上のため、佐倉市独自の学習状況調査を実施し、教育センター報告会、教育センターだよりで調査結果の周知・啓発を行いました。また、過去3年間の経年変化データや調査分析結果を全小中学校へ提供し活用することで、指導方法の改善に取り組みしました。
- （2）児童生徒一人につき一台のタブレット端末の導入により、写真や動画など誰もがイメージしやすい形で教材を提示することが可能になり、児童生徒の理解が深まりました。また、端末内に集約された個人の考えやグループの実験結果をもとに話し合い活動を行ったり、個人やグループで作成したスライド資料を用いて発表を行ったりすることができるようになり、思考力・表現力の伸長につながりました。さらに、休校時や欠席している児童生徒に対して授業を配信することにより、希望するすべての児童生徒が等しく授業を受けることができました。
- （3）佐倉学道徳教材及び副読本の活用を推進し、授業後アンケートにより、教材文や指導案等の資料の改訂に取り組みしました。
- （4）【拡充】市内各中学校で1部活動の土日祝日における、部活動地域移行を実施しました。地域クラブ指導員2～3名のもと、専門的な指導をうけ、技術向上を図ることができました。また、教職員の負担軽減にも繋がりました。
- （5）「佐倉学」の推進における取組として、各小学校6学年児童に改訂版佐倉学

副読本「ふるさと佐倉の歴史」を配付するとともに、次年度に向けて佐倉学副読本「ふるさと佐倉の歴史」の改訂・配付準備を進めました。また、研究モデル校である西志津中学校において「佐倉学を通した社会参画意識を高める学習の工夫」についての研修を進めました。また、令和6年度「佐倉学検定」を実施し、小中学生2,363名が受検しました。

- (6) 市立美術館と連携して出前授業や美術館訪問を実施し、児童の芸術学習の推進を図りました。
- (7) 新体力テストでは体力優良の児童に体力優良証を交付するなど、体力向上の推進を図りました。また、児童生徒が参加する小中学校体育連盟主催・教育委員会共催の各種競技大会への参加に伴う経費の一部を補助しました。
- (8) 【拡充】市内6つの小学校において、水泳指導委託事業を実施しました。民間スイミングクラブの施設を借りて、専門の指導員による水泳指導を受けることにより、安全で効果的な水泳指導を受けることができました。
- (9) 学校給食について、全小中学校で「城下町佐倉・江戸ぐるめ献立」、「クララホイットニーメニュー」など特色ある給食を提供しました。また、市内全小中学校で、食に関する指導の全体計画を作成し、食育指導に取り組みました。
- (10) 【継続】学校の教育環境の向上を図るため、令和2年度から計画的に進めている老朽化したトイレの改修工事について、令和6年度は千代田小学校、西志津小学校、上志津中学校、南部中学校、佐倉東中学校、臼井西中学校において実施しました。
- (11) 衛生的で機能的な給食施設・設備を維持するため、耐用年数を超えた給食備品等の購入や給食施設等の修繕等を行いました。
- (12) 少人数によるきめ細やかな指導を行うため、小規模特認校である弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教員を1名ずつ配置しました。また、児童数増加に向けての取組として、ポスターの掲示、小規模特認校公開授業等を実施しました。
- (13) 教育支援委員会を開催し、適正な就学及び必要な支援について、審議を行いました。また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する小中学校に特別支援教育支援員を、医療的ケア児が在籍する学校に看護師を配置し、一人一人の教育的ニーズに応じた学習及び学校生活における支援の充実に努めました。看護師が休暇を取得する場合であっても、医療的ケア児が医療的ケアを受けられるよう、訪問看護ステーションと連携しました。
- (14) 佐倉市の教育施策を広く市民に理解していただくとともに、今後の教育施策に生かすことを目的に、教育ミニ集会との共催事業として、千代田小学校にて教育懇話会を開催しました。「スマホトラブルについて」をテーマとした講演会やグループに分かれての意見交換を通して、児童、保護者や地域の方々と共に佐倉の教育について考える機会を設けることができました。
- (15) 【拡充】アイアイプロジェクト活動を推進し、地域の方々と連携して児童生徒の登下校時の安全確保に努めるとともに、学校と地域の交流を図りました。また、警備業者委託による登下校時の巡回パトロールや教育委員会事務局職員による青色回転灯装備車を用いた巡回パトロールを実施しました。さらに、警察、県及び市道路管理者、学校関係者、教育委員会で小学校の通学路における緊急合同点検を実施し、小学校通学路の危険・要注意箇所23箇所の安全対策

案を検討しました。

- (16) 学校運営委員会や下部組織である環境整備委員会、学校安全部会、学校開放部会の開催など、保護者や地域住民が学校運営に参画し、地域と学校が共通の目的を持ち、一体となって、よりよい教育の実現に向けて取り組むことができました。
- (17) 【新規】幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して地域学校協働活動、放課後こども教室を実施しました。
- (18) 生徒指導担当者会議における研修、いじめの月例調査の実施、学校支援アドバイザーの派遣等により、いじめ問題に対して迅速かつ組織的に取り組むことができました。また、重大ないじめ事案に対しては、指導主事と学校が緊密に連携を図り、適切に対応しました。
- (19) 児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、面接・電話相談を行い、学校との連携を図りながら指導・支援を行いました。さらに学校教育相談員による教育支援センター（ルームさくら）の運営を通して、不登校傾向の児童生徒の学びの場や居場所を確保し、学校と連携して社会的自立に向けた指導・支援を行いました。また、心の教育相談員を小学校に配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、児童生徒や保護者、教職員の相談に対応しました。
- (20) 【継続】市立小学校及び中学校に在籍している保護者に扶養されている3番目以降の児童及び生徒の給食費を補助することで、多子世帯の保護者の経済的負担軽減を図りました。
また、令和6年度も引き続き、給食で提供する米とパンを市が購入することで、食材費の高騰で圧迫されていた給食会計を支援し、給食費の値上げを抑制しました。
- (21) 市民の教育への興味や参加意識の向上を図るため、11月16日の「佐倉市教育の日」や関連行事について、ホームページ、広報紙、チラシ、SNS（LINE、Facebook、X）等で周知を行うとともに、佐倉の特色を生かした事業を実施しました。
- (22) 共に学び行動する仲間づくりを支援するとともに、地域で活動する人材の育成を図るため市民カレッジを開講しました。令和6年度は原則、半日開催のところ1日開催の授業も増やしました。自宅でも学習できるよう、授業の様子を録画した動画を期間限定で公開しました。コロナ禍以降中止していた、聴講制度を再開させ、第3・第4学年は自分のコース以外の講義も受講できるようになりました。さらに、文化祭でも、コロナ禍以降中止になっていた喫茶の部が復活し、カレッジ生同士と市民の交流がさらに深まりました。
- (23) 【新規】市内の県立高等学校・特別支援学校と連携し、各校の強みを生かした事業を展開しました。佐倉市制70周年記念式典や青春文化祭では、高校生が司会進行をし、ファッションショーやダンスパフォーマンスなど、佐倉市の次世代を担う若者が力を発揮し活躍しました。
- (24) 児童生徒が佐倉学の研究成果を発表する場として、佐倉学子ども作品展を開催しました。市長賞、教育長賞を受賞した作品は市役所や夢咲くら館で展示を行いました。

(25) 家庭教育の充実を図るため、家庭教育学級、学童期子育て学習講演会、子育て理解講座、思春期子育て講座を各校の実情に応じて実施しました。

(26) 読書に親しむ機会を充実させるため、人形劇おはなしきゃらばん、大人のためのお話会、図書館探検隊、読み聞かせボランティア養成講座を行いました。

〔令和7年度施策の特徴及び重点項目〕

施策の主な特徴として、「①ICTを活用した学習活動の実施など、より充実した学校教育の推進」、「②学校施設の改修など、良好な学習環境の整備」、「③不登校児童生徒の居場所の提供など、多様な学びの教育相談の充実」、「④学校給食の食材購入支援など、教育に係る保護者の負担の軽減」、「⑤放課後こども教室の開設など、地域連携事業の推進」、「⑥公民館・図書館等における生涯学習の振興」の6点が挙げられます。

この6点を含め、『第3次佐倉教育ビジョン中期推進計画』及び以下の重点項目に基づき、各事業の進捗状況を把握し、着実かつ効果的に成果を上げられるよう、各施策を推進します。

（１）学力向上・学習内容の充実に取り組みます

- ①佐倉市学習状況調査（国語、算数・数学、理科、外国語）を実施し、授業・指導方法の改善に結びつけます。
- ②ICTを活用した情報教育を推進し、児童生徒の学習意欲の向上や「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進め、学習活動の一層の充実を図ります。
- ③ICTを活用した授業実践を佐倉市ホームページにて公開し、ICTを活用した効果的な授業をイメージできる工夫をします。

（２）豊かな人間性を育む教育に取り組みます

- ①「佐倉の道徳」（佐倉学道徳副読本）と「活用の手引き」を作成し、周知するとともに、「佐倉の道徳」（佐倉学道徳副読本）及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査します。
- ②「佐倉の道徳」（佐倉学道徳副読本）を小中学校で活用することにより、児童生徒の郷土を愛する心を育てます。
- ③【拡充】「地域の子供たちは地域で育てる。」という意識の下、部活動の在り方について調査研究を進め、事業拡充を図ります。
- ④体力優良証交付などを行うことにより、児童生徒の体力の向上と健康の保持増進を図ります。
- ⑤学校給食への地場産物の使用などを通じて児童生徒への食育を推進します。

（３）良好な学習環境を整備します

- ①【継続】老朽化したトイレの全面改修を進めることで、学習環境の向上を図ります。
- ②小中学校施設の安全対策と老朽化対策に取り組み、施設の維持管理に努めます。
- ③老朽化した給食備品の更新や給食施設の補修等を実施し、安全・安心な環境の下で円滑な学校給食運営を図ります。
- ④【継続】児童生徒の減少等の教育課題がある中であっても、本市の子どもたちの資質・能力を一層確実に育成するために、「（仮称）佐倉市におけるこれからの学校のあり方に係る基本方針」の策定及び令和2年度に策定した「佐倉市教育施設長寿命化計画」の改定を進めます。
- ⑤小規模特認校として指定された弥富小学校及び和田小学校に学校支援補助教

員を1名ずつ配置し、少人数によるきめ細かな指導を行います。

- ⑥特別な支援を必要とする児童生徒のいる小中学校に特別支援教育支援員を配置するほか、医療的ケアの必要な児童生徒が在籍する学校に看護師を配置及び訪問看護との連携により、一人一人の教育的ニーズに応じた学習や生活支援の充実に努めます。

(4) 地域に開かれた学校運営を行います

- ①教育懇話会の開催を通して、市民と共に佐倉の教育について考え、今後の教育施策に生かすことで地域に信頼される学校づくりを目指します。
- ②地域との連携を深め児童生徒の登下校時の安全確保に努めます。
- ③学校運営委員会等、学校・家庭・地域の連携を行う取組を推進します。
- ④【拡充】地域学校協働活動を実施し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える取組を促進します。

(5) 安心して学校に通える環境を提供します

- ①「佐倉市いじめ防止基本方針」に基づき、「佐倉市いじめ対策調査会」、「佐倉市いじめ問題対策連絡協議会」、「佐倉市いじめ防止子供サミット」を開催するとともに、市内全教職員を対象とした「中学校区生徒指導研修会」を実施します。同研修会では指導主事が充実した生徒指導につながる指導助言を行うことで、市全体としての共通理解を図ります。
- ②児童生徒や保護者の様々な課題に対応するため、学校教育相談員及び心の教育相談員を配置するとともに、スクールカウンセラーや各関係機関等と連携し、教育相談体制を充実させます。
- ③【拡充】誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策に取り組み、不登校の児童生徒への支援を充実させます。
- ④【継続】多子世帯の保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進するため、第3子以降の給食費を補助します。
- ⑤【継続】給食食材の物価高騰対策として米とパンを市で調達することで、現在の水準を維持し安定した給食提供を行います。

(6) 市民の生涯学習を推進します

- ①佐倉の教育への関心を高めるため、「佐倉市教育の日」関連行事を充実させます。
- ②【拡充】市内の県立高等学校・特別支援学校と連携を充実し、生徒が活躍できる機会の提供を行います。
- ③地域との連携を持ちながら住みよいまちづくりを考え、実践を通した生涯学習の場として市民カレッジを運営します。
- ④佐倉学事業の充実を図ります。
- ⑤家庭の教育力向上のため、学校や地域と連携した家庭教育を充実させます。

3. 公民館運営審議会

佐倉市公民館運営審議会委員（期間 令和6年7月1日～令和8年6月30日）

氏 名	所 属 等	備 考
金田 一幸	千葉県立佐倉南高等学校長	
猪熊 浩文	佐倉市立志津中学校長	
高木 秀樹	佐倉市立下志津小学校長	
岩井 睦	人権擁護委員	
藤崎 貴之	佐倉市青少年相談員連絡協議会	
廣田 正子	学識経験者	
藤崎 言行	学識経験者	
片山 喜久子	学識経験者	
井原 重行	学識経験者	
田渕 敦子	学識経験者	
森 秀夫	学識経験者	
内田 理彦	公募	
井上 隆夫	公募	
錫崎 金次	公募	
松本 友枝	公募	

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から１０分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和８年３月末現在】

- | | | | |
|------------|-------------------------|-----------|---------------------------|
| ○佐倉地区：面 積 | 約 20.6 km ² | （佐倉市：面 積 | 103.69 km ² ） |
| ○佐倉地区：住基人口 | 27,077 人 | （佐倉市：住基人口 | 168,207 人） |
| ○佐倉地区：人口密度 | 1,314 人/km ² | （佐倉市：人口密度 | 1,622 人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことを目指す。

努力目標

- 施設利用者等の健康と安全を最優先に、引き続き、様々な感染症に対する感染拡大防止対策の意味合いも含めての衛生対策を講じていく。
- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの方に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

(1) 施設の提供（団体、グループ単位）

- ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
- ② 利用区分 1時間単位
- ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

(2) 備品の提供（団体、グループ単位）

館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数 (件)	3,490	4,428	4,229	4,265	4,394
利用人数 (人)	44,767	53,692	56,413	64,703	69,603
開館日数 (日)	334	335	335	333	333

令和7年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,856	2,176	56.4%
研修室1	3,856	1,641	42.6%
プレイルーム	3,856	555	14.4%
研修室2	3,856	1,490	38.6%
研修室3	3,856	1,414	36.7%
調理室	3,856	489	12.7%
和室	3,856	565	14.7%
会議室	3,856	1,422	36.9%
アトリエ	3,856	1,170	30.3%
工芸室	3,856	961	24.9%
学習室1	3,856	1,566	40.6%
学習室2	3,856	1,402	36.4%
学習室3	3,856	1,698	44.0%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	「大きな海のせかいを描こう！～窓ガラスお絵描きワークショップ特別編～」	小学生と保護者	7/23 20組37人	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵描きをしてもらうことで、こどもたちの自由な感性を育むとともに、家族と一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。
	家族で料理「野草料理ワークショップ」	小学3～6年生と保護者	中止（講師都合のため）	野草を様々な料理で楽しむことで、栄養素の高い野草のパワーを学ぶとともに、佐倉の自然への興味や関心をもってもらうとともに、食べ物に感謝する心を養う。 ※講師都合のため中止
青少年教育	気象庁出前講座「気象庁職員から学べる！雷と緊急地震速報時の行動術！」	小学生～高校生（保護者も参加可）	7/31 36人	前半は雷雲が発生するメカニズムと身を守る方法を学び、後半は緊急地震速報発生時の取るべき行動について学ぶ。
	佐倉高校連携事業 「佐倉高校将棋部が伝授！将棋初心者ワークショップ～考える力を養おう～」	小学生	8/2 14人 8/3 14人	佐倉高校将棋部に将棋を教えてもらうことで、考えることの楽しさ、将棋の奥深さを体験してもらう。
	秋の星空観察会	小学4年生～中学生（保護者同伴）	11/22 17組	秋の星空に関する座学の後、天体望遠鏡を使った観測や電子観望を通じて、子どもたちの宇宙や地球環境に対する関心を高めることを目的とする。 和田公民館との共催事業。
	佐倉東高等学校連携事業 「新春を迎える一筆～書き初めワークショップ～」	小学3年生～中学生	12/27 12人	佐倉東高等学校書道部員の指導で、伝統行事の一つである書き初めに取り組んでもらい、書道の楽しさ、奥深さを体感してもらう。
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民まで	7月下旬～8月中	夏休み期間中、自主学習の場を提供する。
夏休みなんでもチャレンジ	公民館利用団体に夏休みに小学生向けの体験講座を開催してもらうことで、各団体の学習の成果を発揮し子どもたちとの交流を図った。			
	佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラファミリーコンサート	子どもから大人まで	7/20 300人	毎年夏季にコンサートを開催する「佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ」のファミリーコンサート。子どもたちにとって生演奏を聴く貴重な機会となった。
	花とあそぼう・いけばな教室	小学1～6年生	7/26 7人 7/27 9人	佐倉市華道連盟が指導。季節の花や草を使い、よい形になるいけ方や花の切り方を教えてもらいながらいけばなを作成した。
成人教育	スクエアダンスに挑戦しよう！	小学1～6年生	8/1 6人	シャトー佐倉SDCが指導。音楽に合わせ、指示を聞きながら目まぐるしくフォーメーションを変えて踊る。ハイタッチを交えるなど世代間の交流を楽しみながら体験していた。
	「生活を楽しむ はじめての写経」	成人	5/24 18人	静かに写経に取り組むことにより、心の平静を保ち、自分を見つめ直し、生活を楽しむきっかけづくりをすることを目的とする。
	桜の落ち葉から2色に染めるエコバッグ講座	成人	1/18 10人	城址公園で採取した桜の落ち葉を煮て、煮出し汁からエコバッグを黄色とピンクに染める。四季の移り変わりを実感し、自然に関心を持つ心を養う。

領域	事業名	対 象	期間・回数	内 容
佐倉学	「絵図を読む 佐倉城下町絵図の魅力」	成人	1/25 84人	「城下町佐倉絵図集成」を題材としながら、絵図から読みとれる城下町佐倉の特徴を学ぶ。
	「武士の食事～江戸時代の武士の食事を作って、食べてみよう～」	小学5年生～中学3年生	中止(施設改修)	武家屋敷のかまどを使い、実際にご飯を炊き、江戸時代の武士の食事を体験することで、武家の暮らしや食生活を学び、佐倉の歴史を知る機会とする。 ※武家屋敷改修中のため中止
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。 「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。 「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。カリキュラムの一部を一般向に有料・無料講座を実施する。
		成人	5月～ 2月 30回	
		第2学年		
		成人	5月～ 2月 32回	
		第3学年		
		成人	5月～ 2月 23回	
		第4学年		
		成人	5月～ 2月 24回	
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行う。

1. 家庭教育事業

大きな海のせかいを描こう！「窓ガラスお絵描きワークショップ特別編」

①開設趣旨 中央公民館の窓ガラスに自由にお絵描きをしてもらうことで、こどもたちの自由な感性を育むとともに、家族で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。

②募集対象 小学生と保護者 20組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月23日（水） 10：00～ 12：00	中央公民館1階ロビーの窓ガラスに、家族で絵を描いてもらう。	久本 綾 （アトリエティエラアスールこども造形教室講師）

④講座を終えて 昨年に引き続き、特別編ということでロビーの窓ガラスに吊るした段ボールに「大きな海のせかいを描こう！」というタイトルで参加者がイメージする「大きな海のせかい」を自由に描いてもらった。

事業実施にあたっては、講師の久本先生の進行により滞りなく行われた。佐倉東高校のボランティアの生徒たちも、絵の具作り等に一生懸命取り組んでくれた。海のテーマはイメージし易く、こどもたちも描きやすかったようで、様々な絵が描けた様子だった。

アンケート結果としては、満足度は高く、「楽しかった」「家ではできない経験ができて良かった」「来年もやりたい」等、好意的な意見が多くあった。また、今後公民館でやりたいものとしてもお絵描きが多くあり、お絵描きイベントへのニーズが高いことがうかがえた。

段ボールに描かれた作品は窓ガラスに吊るし、夏の期間展示し、来館者を楽しませた。事業の参加者だけでなく、長い期間来館者も楽しむことができ、公民館の魅力向上に資する事業であると考えられる。

2. 青少年教育事業

気象庁出前講座「気象庁職員から学べる！雷と緊急地震速報時の行動術！」

①開設趣旨 主に青少年（小学生～高校生）向けに防災気象情報の活用をとおして、地震・台風等の災害に対する防災知識の理解を深め、日ごろから防災に対する意識を持ってもらうとともに、学んだことを家族や友人とも共有し、コミュニケーションづくりの場を提供する。

②募集対象 小学生から高校生（保護者も参加可） 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（木） 10:00～ 11:30	前半は雷雲が発生するメカニズムと身を守る方法を学び、後半は緊急地震速報発生時の取るべき行動について学ぶ。	気象庁銚子地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 伊藤 利雄

④講座を終えて 講義はパワーポイントを使用して行われたが、途中で動画を取り入れたり、クイズを盛り込んだりするなど、参加者を飽きさせない工夫が随所に見られた。

また、申込時に事前に参加者から講師への質問を募集し、その回答を講義中に講師が適宜紹介したことで、参加者の理解がより深まったものと考えられる。

さらに、熱中症の原因や予防方法についても追加の解説があり、猛暑が続く現在の時期に即した内容となっていた。講義で使用されたスライドや資料にはルビが付され、イラストも多用されていたため、子どもにも分かりやすい構成であった。

今回の講座には、保護者同伴で参加する家庭が多く見られた。今回の講義が、災害時の対処法や熱中症対策について家族で考えるきっかけとなることを期待したい。

佐倉高等学校連携事業「佐倉高校将棋部が伝授！将棋初心者ワークショップ～考える力を養おう～（2日間）」

①開設趣旨 佐倉高等学校将棋部に将棋を覚えてもらうことで、考えることの楽しさや将棋の奥深さを体験してもらう。

②募集対象 小学生 14人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月2日（土） 14:00～ 16:00 8月3日（日） 10:00～ 12:00	将棋などの基本的なルールを学び、対局体験、参加者同士の対局を行う	佐倉高等学校将棋部

④講座を終えて 今年度も子ども向け将棋ワークショップを開催し、将棋を通じて、思考力や集中力の向上を図ることを目的として実施した。また、佐倉高等学校将棋部を講師に迎えることで、世代間交流の促進も図った。将棋部の生徒にとっては、企画・運営を実際に行う貴重な経験となった。昨年度の反省を踏まえ、申込み時に将棋経験の有無を選択式で確認したことで、未経験者と経験者を把握でき、対局組み合わせに適切に反映することができた。

アンケートでは、将棋部の指導について参加者全員が「わかりやすい」と評価し、感想でも「楽しかった」「また参加したい」が多かった。ルール理解を通して将棋の面白さに気づいた参加者が多かった。

秋の星空観察会 （和田公民館共催）

①開設趣旨 天体観測を通じて、子どもたちの宇宙や地球環境に対する関心を高めるともに、住民相互の交流を深めることを目的とする。

②募集対象 小学4年生～中学生（保護者同伴） 15組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月22日（土） 19：00～ 20：30	秋の星空に関する座学と天体望遠鏡による天体観測・電子観望	芳野雅彦

④講座を終えて 本事業は和田公民館共催で、和田ふるさと館の駐車場を利用して開催した。定員15組のところ親子17組の応募があり、講師と相談の上、そのまま受け入れて実施することとした。

当日の天候は曇天のため望遠鏡による観測がほとんど出来ず、パソコンを使った座学と、過去の観測データに基づく星雲、星団等の紹介を中心に行った。

参加者のアンケートは意外にも「星を見るのが楽しくなった」「また見に来たい」などの意見も寄せられており、子どもたちの科学する心と地球環境に対する関心を高める意味でも、継続的な実施が望まれる。

佐倉東高等学校連携事業「新春を迎える一筆 ～書き初めワークショップ～」

①開設趣旨 書道は日本の伝統文化の一つであるが、学校の教科以外では、筆を持つ機会は少なくなりがちである。

昨年に引き続き、佐倉東高等学校書道部の協力により指導をしていただき、新春を迎える伝統行事である書き初めをテーマに、小・中学生に文字を書くことの楽しさと奥深さを体感してもらうことを目的とする。

②募集対象 小学3年生から中学生 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月27日（土） 10：00～ 12：00	佐倉東高等学校書道部員の助言・指導を受けながら、書き初め練習に取り組んでもらい、清書して作品を仕上げる。	佐倉東高等学校書道部員

④講座を終えて 定員の15人の応募があったが、3人キャンセルがあったため、12人の参加者で事業を実施した。なお、佐倉東高等学校から書道部員5人と引率の教員1人が来られた。

初めに郷土の書道家・香川松石の事績を紹介してから、参加者各自が持参した課題のお手本をもとに、佐倉東高等学校書道部員の助言・指導を受けながら書き初めの練習をしてもらう。学年ごとにグループ分けをして、そこに書道部員を配置して、アドバイスを受けやすい体制を整えた。休憩をはさんで清書に移り、2、3枚作品を仕上げてもらう。最後に各自作品を持って記念撮影をして、事業を終了する。

参加者に対するアンケート調査結果は高評価で、「高校生がやさしく教えてくれた」「高校生の指導で、書き方が良く分かった」「家で書き初めをするのは大変なので、有難かった」などの感想が寄せられている。

また、講師となった佐倉東高等学校書道部員からも、「教えることも自分の上達につながると思う」「貴重な経験が出来て良かった」「いつも教えられる側なので、とても新鮮な時間であった」などの感想をいただいている。

佐倉東高等学校書道部員との連携事業も3年目となったが、アンケート調査結果を踏

まえながら次年度に向けた連携事業について検討していく必要がある。

令和7年度 小学生夏休みなんでもチャレンジ実績報告

- ①開設趣旨 公民館利用団体に夏休みに小学生向けの体験講座を開催してもらうことで、各団体の学習の成果を発揮し子どもたちとの交流を目指す。
- ②募集対象 小学生（主に佐倉地区小学校）
- ③開催期間 小学生の夏休み期間
- ④協力団体募集 中央公民館窓口にて4月下旬から6月上旬まで協力団体募集のチラシを配布し、3団体の申込を得た。
- ⑤参加者募集 こうほう佐倉で周知するほか、小学生向け公民館だよりを作成し、主に佐倉地区小学校に配布した。
- ⑥プログラム及び参加者数 以下のとおり
前年度は、申込者が最小開催人数以下のため開催を中止した団体があったが、今年度は3団体全てで開催することができた。

★佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラファミリーコンサート

演奏 佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ

日時 7月20日(日) 14:00～16:00

会場 中央公民館1階大ホール

参加無料 全自由席 申込不要

参加者数 300人

★花とあそぼう・いけばな教室

指導 佐倉市華道連盟

日時 ①7月26日(土) 10:00～12:00

②7月27日(日) 10:00～12:00

会場 中央公民館3階アトリエ

対象 市内小学生 定員 各回10人 参加費 1回600円

持ち物 筆記用具、ハンドタオル、花を持ち帰る袋（レジ袋など）

参加者数 ①7月26日(土) 7人 ②7月27日(日) 9人

★スクエアダンスに挑戦しよう！

指導 シャトー佐倉SDC

日時 8月1日(金) 13:00～14:00

会場 中央公民館1階大ホール

対象 市内小学生 定員 8人 参加無料

持ち物 水、ハンカチ、運動しやすい服装と靴

参加者数 6人

- ⑦講座を終えて 公民館利用団体3団体から協力申込があり、昨年度の6団体から半数に減った。参加団体募集の周知が遅れたこと、昨年度に参加者不足で2団体が中止になったことなどが主な要因として、周知時期の遅れや前年度の中止事例の影響が考えられる。

講師役を務める公民館利用団体のメンバーにとっても、子ども達との交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。

3. 成人教育事業

「生活を楽しむ はじめての写経」

- ①開設趣旨 現代はストレス社会といわれ、悩みを抱えている人が少なくない。静かに写経に取り組むことにより、心の平静を保ち、自分を見つめ直し、生活を楽しむきっかけ作りをすることを目的とする。
- ②募集対象 成人 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月24日（土） 10:00～ 12:00	宝樹院のお堂を会場として、同院住職を講師として写経体験を実施し、その後茶話会も行う。	宝樹院住職 加藤泰裕

- ④講座を終えて 応募者は定員の20人であったが、2人キャンセルがあつて、18人で事業を実施した。会場は宝樹院の書院等を利用し、静かな環境の中で、約1時間写経に取り組んでいただいた。続いて、ご住職より写経についてのお話を伺った後、茶話会が開かれたが参加者からは「忙しい日常の中で心を静める時間を持てたことは、貴重な経験になった」「久しぶりにゆっくり落ち着いた」「新鮮な気持ちになれた」との感想が寄せられており、満足度の高い事業となった。

その要因としては、お寺の清逸な雰囲気と講師の分かりやすい説明が事業の効果をより高めたものと思われる。

写経をテーマとした本事業は3年目を迎えており、継続を含めた今後の事業展開を検討していく必要がある。

「桜の落ち葉から2色に染めるエコバッグ講座」

- ①開設趣旨 身の回りの草木から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然の染料を使用して自分たちで布を染めることで、モノを大事にする心を養う。
- ②募集対象 成人 10人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月18日（日） 13:00～ 15:00	桜の落ち葉を使用して、エコバッグを2色に染める。	草木染め染色家 駒澤 菜穂子

- ④講座を終えて 講師の指導が熱心かつわかりやすかった。また時間配分を考えて進めており、時間内に終了することができた。参加者の満足度も高く、初心者でもとても素敵なエコバッグが出来上がり、「また、草木染をやりたい」という声も複数出ていた。今回22名の応募があり、10名の募集であったが、15名程度まで参加できるような内容を講師と検討する必要があると考えられる。

「絵図を読む 佐倉城下町絵図の魅力」

- ①開設趣旨 令和6年に刊行された「城下町佐倉絵図集成」（文化課発行）を題材としながら、絵図から読み取れる佐倉城下町の特徴について学ぶことを目的とする。
- ②募集対象 成人 100人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月25日（日） 10:00～ 12:00	「城下町佐倉絵図集成」を題材として、絵図から読み取れる佐倉城下町の特徴などについて、歴史地理学の研究者、絵図集成編集担当者の視点から講義する。	國學院大學文学部 准教授 川名 禎 佐倉市魅力推進部文化課 学芸員 須賀 隆章

- ④講座を終えて 本講座は令和6年に刊行した「城下町佐倉絵図集成」を題材としながら絵図から読み取れる佐倉城下町の特徴について、歴史地理学の研究者、絵図集成編集担当者それぞれの視点で講義を行いました。事業に際して募集を行ったところ早々に定員の100名に達しましたが、当日は84名の参加となった。

編集をご担当された須賀先生からは、全国各地に所在する絵図についてと冊子作成の経緯と先行研究、編集時のこだわりについて講義をいただいた。川名先生からは歴史地理学の研究者として、絵図の読み方の視点を基に絵図を分類し、どのような目的で作成されたのかなど、いろいろな絵図の見方についてご講義をいただいた。最後には館長を交え3名でパネルディスカッションを行い、それぞれの立場からご意見をいただいた。

アンケート結果でも講義に「満足」と回答した参加者が多く、魅力ある講義を実施することができた。

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をととして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：下記のとおり（先着順）

なお、令和7年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	40歳以上 100人	49人	45人

※令和7年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	2 3	4 5	2 2	4 3
	2 組	2 2		2 1	
第2学年	1 組	2 4	4 8	2 4	4 6
	2 組	2 4		2 2	
第3学年	福 祉	1 3	5 6	1 2	5 5
	歴 史	1 1		1 1	
	情 報	1 7		1 7	
	元 気	1 5		1 5	
第4学年	福 祉	1 0	4 4	1 0	4 4
	歴 史	1 3		1 3	
	情 報	8		8	
	元 気	1 3		1 3	
計			1 9 3		1 8 8

4. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約60日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自

主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。その内容は講義形式の授業を受けるだけではなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③「さわやか情報コース」

デジタルデバイドと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコンやスマートフォンの実習、4年生ではパソコンの学習成果を活かした実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。

3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和7年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

○校外学習

1 学年	5 月 2 2 日		1 年生歓迎ウォークラリー 城下町佐倉を歩く
	1 0 月 2 日	1 組	新町散策 市立美術館等見学ほか
		2 組	
	1 2 月 4 日		世代間交流（小学校との交流・佐倉小学校）
3 学年	1 2 月 2 日	福祉	福祉施設（佐倉白翠園）訪問
	5 月 2 7 日	歴史	大佐倉の歴史散策
	6 月 1 0 日	歴史	臼井の歴史散策
	9 月 3 0 日	歴史	佐倉地区（城址公園）の歴史散策
	1 0 月 2 1 日	歴史	志津の歴史散策
	1 1 月 1 8 日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	1 月 1 3 日	歴史	七福神巡り
4 学年	6 月 1 3 日	福祉	木の宮学園施設見学
	5 月 3 0 日	歴史	夢咲くら館及び塚本美術館見学
	6 月 6 日	歴史	新町の歴史散策
	1 1 月 2 8 日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ
	6 月 1 3 日	情報	国立国会図書館見学
	5 月 2 2 日	元気	1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	6 月 6 日	元気	ノルディック・ウォーク

7. 佐倉市民カレッジ有料公開聴講制度

市民カレッジ3・4年生の専攻課程の15講義を有料又は無料で提供し、市民カレッジ参加者以外の聴講希望にこたえとともに、市民カレッジ事業の周知を目的として行った。

8. 令和7年度の主な行事

(1) 入学式・始業式

入学式・始業式は同日で開催し、始業式に続き入学式を行った。

入学式は5月10日(土)に行われ、45人の新入生が晴れの日を迎えた。

入学式開式前には佐倉市民カレッジコーラスからコーラスの贈物があり、華やかさを添えた。

入学式では佐倉市長・西田三十五総長から式辞、来賓より祝辞をいただいた後、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を述べた。

(2) 佐倉市民カレッジ文化祭

例年、11月上旬～中旬に、カレッジ生による実行委員会を中心に、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

今年度は、文化祭を11月12日(水)～14日(金)に開催した。昨年に引き続き、大ホールにて生徒や卒業生が制作した作品を展示する「展示の部」と、学習室3にて研究や活動の成果を発表する「研究・活動発表の部」を実施し、1階ラウンジでは文化祭での憩いの場としての喫茶コーナーを実施した。喫茶コーナーではカレッジ生相互及び来場者との交流が図れた。また、展示作品、研究発表は、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

(3) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間とグループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和8年1月14日(水)に1・2年合同の学習形態で、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「なんじゃ神社にエール」「スマイル(SMILE)32」「花32散歩会」「ごみ探検隊32」「公園de太極拳32」の5グループであった。

(4) 卒業式・修了式

卒業式・修了式は同日で開催し、修了式に続き卒業式を行った。

卒業式開式前には佐倉市民カレッジコーラスからコーラスの贈物があり、華やかさを添えた。

卒業式では西田三十五総長から式辞、来賓より祝辞をいただいた後、在校生から「送辞」が卒業生に贈られ、これを受けて卒業生は「答辞」を述べた。

皆勤者9人を含む佐倉市民カレッジ第30期生44人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

9. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表(1)

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	入学式・カレッジ概要	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.15 (木)	オリエンテー ション	ホームルーム・自己紹介・役員選出等 ウォークラリーの説明				社会教育指導員
3	5.22 (木)	健康づくり (1)	ウォークラリー 城下町佐倉を歩く (雨天時ウォークラリーを5.29に延期、代わりに午前中のみホームルームを行います)				社会教育指導員 元気コース4年生ほか
4	5.29 (木)	生涯学習の 楽しさ(1)	ホームルーム (文化祭、私の生きがい 世代間交流に向けて)	社会教育指導員		*	
5	6.5 (木)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課		*	
6	6.12 (木)	地域活動 (1)	自治会等の役割と 市民協働について	自治人権推進課	生涯学習の 楽しさ(2)	自分づくりと まちづくり	千葉大学名誉教授 長澤 成次
7	6.19 (木)	自然と環境 (1)	印旛沼について	印旛沼環境基金		*	
8	6.26 (木)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会		*	
9	7.3 (木)	情報(1)	インターネットと 生きる	合同会社環賢堂 代表社員 玉木 勝	私の生きがい (1)	私の生きがい	社会教育指導員
10	7.10 (木)	生活	文章作成の技術 生きがい文集作成に 向けて	エッセイスト 高比良直美		*	
11	9.4 (木)	芸術と文化 (1)	房総ゆかりの作家 波の伊八と葛飾北斎	筑波大学名誉教授 齊藤 泰嘉		*	
12	9.11 (木)	私の生きがい (2)	私の生きがい発表	社会教育指導員		*	
13	9.18 (木)	地域活動 (2)	佐原まちぐるみ 博物館に学ぶ	佐原 おかみさん会	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都 健康長寿医療 センター研究所 研究員 高橋知也
14	9.25 (木)	自然と環境 (2)	里山の生態	東京情報大学 名誉教授 原 慶太郎		*	
15	10.2 (木)	地域を知る (2)	1組 新町散策	NP0法人 佐倉一里塚	地域を知る (2)	1組 市立美術館等見学ほか	市立美術館ほか
			2組 市立美術館等見学ほか	市立美術館ほか		2組 新町散策	NP0法人佐倉一里塚
16	10.9 (木)	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり	順天堂大学 名誉教授 武井正子	世代間交流 (2)	世代間交流 に向けて①	社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.23 (木)	市政を学ぶ (1)	公園活用について	公園緑地課		*	
18	10.30 (木)	世代間交流 (3)	世代間交流② 小学生との 交流に向けて				社会教育指導員
19	11.6 (木)	人権 (1)	男女平等参画について	城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科教授 遠藤恵子		*	
20	11.12 (水)～ 11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (2)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3 他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ 文化祭 実行委員会
21	11.20 (木)	世代間交流 (4)	世代間交流③ 小学生との 交流に向けて 事前準備	社会教育指導員		*	
22	11.27 (木)	地域を知る (3)	南アジアの中古品貿易業 アフガニスタン人移民企業家 のトランスナショナルな移動	千葉大学国際学術 研究院 准教授 福田友子		*	
23	12.4 (木)	世代間交流 (5)	世代間交流④ 小学生との交流 市内小学校での体験	佐倉小学校 社会教育指導員	世代間交流 (6)	世代間交流⑤ 小学生との交流 振り返り	社会教育指導員
24	12.18 (木)	公開講座 歴史	史料が語る歴史 ー歴史はなにから わかるのだろうかー	元国立歴史 民俗博物館教授 小島 道裕		*	
25	12.25 (木)	地域を知る (4)	佐倉市の農業	農政課		*	
26	1.8 (木)	自然と環境 (3)	特定外来生物の 実情と課題	生物多様性 センター		*	
27	1.14 (水)	1・2年合同 地域活動 (3)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	社会教育指導員		*	
28	1.22 (木)	地域を知る (5)	佐倉市の観光/ シルバー人材 センターについて	佐倉の魅力推進課 /シルバー人材 センター		*	
29	1.29 (木)	社会福祉 (2)	高齢社会を どう生きるか ー少子高齢社会の 日本の課題ー	聖徳大学教授 川口一美	ホームルーム	2年生に向けて	社会教育指導員
30	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シヤルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.14 (水)	オリエンテー ション	ホームルーム	社会教育指導員		*	
3	5.21 (水)	まちづくり (1)	私たちのまちづくり①	社会教育指導員		*	
4	5.28 (水)	地域活動 (1)	まちづくり活動 実践者の発表	カレッジ生・ 卒業生	まちづくり (2)	私たちの まちづくり②	社会教育指導員
5	6.4 (水)	地域活動 (2)	まちづくりと まちの居場所	千葉大学大学院 准教授 森永良丙		*	
6	6.11 (水)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり③				社会教育指導員
7	6.18 (水)	社会福祉 (1)	地域福祉とは	順天堂大学 スポーツ健康科学部 先任准教授 松山 毅		*	
8	6.25 (水)	佐倉の歴史 (1)	原始古代の佐倉	文化課		*	
9	7.2 (水)	地域を知る(1)	佐倉学について	佐倉市史 編さん委員 内田儀久	まちづくり (4)	私たちのまちづくり④	社会教育指導員
10	7.9 (水)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の災害対策	危機管理課		*	
11	9.3 (水)	まちづくり (5)	私たちのまちづくり⑤	社会教育指導員		*	
12	9.11 (木)				地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 教授 齊藤ゆか
13	9.17 (水)	情報社会 (1)	人工知能 ～コンピュータに できないこと～	東京情報大学 教授 マツキン・ ケネスジェームス		*	
14	9.24 (水)	家庭と法律 (1)	裁判員制度について	千葉地方検察庁		*	
15	10.1 (水)	家庭と法律 (2)	終活のポイント	京葉行政書士・ FP合同事務所 平野 修		*	
16	10.8 (水)	まちづくり (6)	私たちのまちづくり⑥	社会教育指導員	健康づくり (1)	こころサポーター (ゲートキーパー) 養成研修	健康推進課

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第2学年学習予定表（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.15 (水)	佐倉の歴史 (2)	佐倉藩校における 初等教育	佐倉市史 編さん委員 外山信司		*	
18	10.22 (水)	まちづくり (7)	私たちのまちづくり⑦				社会教育指導員
19	10.29 (水)	佐倉の歴史 (3)	絵図から見た 城下町佐倉	国学院大学 准教授 川名 禎		*	
20	11.5 (水)		*		健康づくり (2)	ヨガ・ ストレッチ	ヨガレッスン アナンダジャパン Founder 丸山 和代
21	11.12 (水)～ 11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3 他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ 文化祭 実行委員会
22	11.19 (水)	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	成田山霊光館 学芸員 矢嶋 毅之		*	
23	11.26 (水)	まちづくり (8)	私たちのまちづくり⑧	社会教育指導員		*	
24	12.3 (水)	専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	4年生コース代表		*	
25	12.10 (水)	自然と環境 (1)	河川湖沼の 水辺環境と 水質浄化の考え方	一般財団法人 千葉県環境財団 岩井久美子		*	
26	12.17 (水)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり⑨	社会教育指導員		*	
27	12.24 (水)	市政を学ぶ (2)	認知症サポーター 養成講座	高齢者福祉課		*	
28	1.7 (水)	まちづくり (10)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて	社会教育指導員		*	
29	1・2 年合同 1.14 (水)	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告	総長		*	
30	1.21 (水)	市政を学ぶ (3)	佐倉市の空き家対策	住宅課		*	
31	1.28 (水)	佐倉の歴史 (5)	平成の佐倉市と カレッジ史	佐倉市史 編さん委員 内田儀久	ホームルーム	3年生に向けて	社会教育指導員
32	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.13 (火)	オリエンテーション	ホームルーム	社会教育指導員	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 29期福祉コース 卒業生
3	5.20 (火)	福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人 誠友会 理事長 竹内 淳		*	
4	5.27 (火)	福祉元気合同 ボランティア 活動の実践に 向けて (1)	レクリエーション	日本レクリエーション協 会公認レクリエーション コーディネーター 介護福祉士 田端 知恵子		*	
5	6.10 (火)	障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容 聴講	NPO法人 千葉市 視覚障害者協会 理事長 高梨憲司	ボランティア 活動の実践に 向けて (2)	福祉施設交流に向けて	社会教育指導員
6	6.24 (火)	介護演習 (1)	車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ		*	
7	7.1 (火)	子育て支援(1)	子育て支援参加の 可能性	ファミリー サポート センター、 佐倉老幼の館	福祉元気合同 生活と健康 (1)	普通救命講習 (AED講習)	佐倉市八街市 酒々井町 消防組合
8	7.8 (火)	4コース合同 講演会 防災	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
9	9.9 (火)	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	介護保険課		*	
10	9.12 (金)		*		障害福祉 (2)	視覚障害を理解する	千葉県立 千葉盲学校
11	9.16 (火)	福祉元気合同 生活と健康 (2)	タオルで簡単 ストレッチ	インストラクター 関根 美和		*	

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10. 7 (火)	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (食事介助)	佐倉白翠園		*	
13	10. 21 (火)	福祉元気合同 生活と健康 (3)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護長 後田恵子		*	
14	11. 4 (火)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	聴く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
15	11. 12 (水)～ 11. 14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11. 12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11. 25 (火)	生活と健康 (4)	高齢期の栄養と 食生活のあり方				栄養士 六崎美知代
17	12. 2 (火)		*		ボランティア活動の 実践に向けて (4)	福祉施設訪問	佐倉白翠園
18	12. 16 (火)	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	佐倉市佐倉地域 包括支援センター	4コース合同 講演会 生活と健康 (5)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	12. 23 (火)	介護演習 (3)	移乗動作と 歩行介助	佐倉ホワイエ	4コース合同 講演会 情報化時代の 学習	ネット情報に おぼれない学び方	「ネット情報に おぼれない学び方」 著者 梅澤貴典
20	1. 13 (火)	障害福祉 (3)	聴覚障害を理解する	障害福祉課 佐倉市ろう者協会、 特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・ 難聴者協会		*	
21	1. 27 (火)	子育て支援(2)	子どもの貧困について	千葉県スクール ソーシャル ワーカー 飯野弥生	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員
22	2. 7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.13 (火)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.20 (火)	佐倉市の歴史 (1)	古文書を読む楽しみ	年寄部屋日記を 読む会前会長 小島大作		*	
4	5.27 (火)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合9時20分 京成大佐倉駅改札口外	NPO法人 佐倉一里塚		*	
5	6.10 (火)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合9時20分 京成臼井駅北口下	臼井の案内人 滑川 洋子		*	
6	6.24 (火)	佐倉市の歴史 (2)	中世佐倉の道 聴講	東金市文化財審議会 会長 市文化財審議会 副委員長 遠山成一		*	
7	7.8 (火)	4コース合同 講演会 防災	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫	佐倉市の歴史 (3)	佐倉藩士と沼津兵学校 聴講	国立歴史 民俗博物館 教授 樋口雄彦
8	9.2 (火)	佐倉市の歴史 (4)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と 東国の戦国時代 聴講	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野正敏		*	
9	9.16 (火)	佐倉市の歴史 (5)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 鶴岡 勝人		*	
10	9.30 (火)	歴史散策 (3)	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 9時45分市民体育館集合				NPO法人 佐倉一里塚
11	10.14 (火)	郷土の先覚者 (1)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館		*	

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.21 (火)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 9時45分 ユーカリが 丘線中学校駅集合	NPO法人 佐倉一里塚		*	
13	10.28 (火)	佐倉市の歴史 (6)	佐倉牧 聴講	市文化財審議会委員 立教大学兼任講師 國學院大學兼任講師 高見澤美紀	佐倉市の歴史 (7)	佐藤泰然と 佐倉順天堂	文化課
14	11.12 (水)～ 11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ 文化祭 実行委員会
15	11.18 (火)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市江戸紀行】 成田山の歴史を学ぶ 午前10時10分 JR成田駅改札口外集合				成田山霊光館 矢嶋毅之
16	11.25 (火)	佐倉市の歴史 (8)	古今佐倉真佐子に ついて 聴講	佐倉市史 編さん委員 外山信司		*	
17	12.9 (火)	佐倉市の歴史 (9)	中世佐倉の鹿島郷 聴講	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一		*	
18	12.16 (火)		*		4コース合同 講演会 生活と健康	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	12.23 (火)		*		4コース合同 講演会 情報化時代の 学習	ネット情報に おぼれない学び方	「ネット情報に おぼれない学び方」 著者 梅澤貴典
20	1.13 (火)	佐倉市の歴史 (10)	佐倉の歴史的建築物 聴講	市文化財審議会委員、 国立歴史民俗 博物館名誉教授 濱島 正士	歴史散策 (5)	七福神巡り	社会教育指導員
21	1.20 (火)	郷土の先覚者 (2)	医師 浜野昇	佐倉市史 編さん委員 中澤恵子		*	
22	1.27 (火)	歴史コースの まとめに 向けて	カレッジ生が 取り組みたい 研究テーマ (各自発表)	酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員
23	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.13 (火)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.20 (火)	課題学習（1）	手づくり地図を つくろう①	社会教育指導員		*	
4	5.27 (火)	情報伝達の 技術 (1)	スマホ講座	シルバー 人材センター		*	
5	6.3 (火)	情報伝達の 技術 (2)	ウィキペディアタウン①	海獺	情報化時代の 学習（1）	私たちの生活における IT・AI	東京情報大学 准教授 樋口大輔
6	6.10 (火)	課題学習 (2)	手づくり地図を つくろう②	社会教育指導員		*	
7	6.24 (火)	情報伝達の 技術 (3)	パソコン操作	29期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の 技術 (4)	ワード①	29期 情報コース 卒業生有志
8	7.1 (火)	情報伝達の 技術 (5)	ワード②	29期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の 技術 (6)	ワード③	29期 情報コース 卒業生有志
9	7.8 (火)	4コース合同 講演会 防災	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
10	9.2 (火)	情報化時代の 学習（2）	情報化社会と著作権	(一社)コンピ ュータソフトウェア 著作権協会 専務理事 久保田 裕		*	
11	9.9 (火)	情報伝達の 技術 (7)	ウィキペディアタウン②	海獺	情報伝達の 技術 (8)	ウィキペディアタウン③	海獺
12	9.30 (火)	課題学習 (3)	手づくり地図を つくろう③	社会教育指導員		*	

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.7 (火)		*		情報化時代の 学習 (3)	インターネット ウィルスの歴史 聴講	東京情報大学 准教授 岸本頼紀
14	10.21 (火)	情報化時代の 学習 (4)	インターネット活用術	株式会社 教育システム 本間 達哉		*	
15	11.12 (水) ～11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ 文化祭 実行委員会
16	11.18 (火)	課題学習 (4)	手づくり地図を つくろう④	社会教育指導員		*	
17	12.9 (火)	情報化時代の 学習 (5)	まちづくりとSNS	ジェイ・ドック・ カンパニー代表 影山 貴大		*	
18	12.16 (火)		*		4コース合同 講演会 生活と健康	楽しむ喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
19	12.23 (火)	課題学習 (5)	手づくり地図を つくろう⑤ (成果発表)	社会教育指導員	4コース合同 講演会 情報化時代の 学習 (6)	ネット情報に おぼれない学び方	「ネット情報に おぼれない 学び方」 著者 梅澤貴典
20	1.13 (火)	情報伝達の 技術 (9)	エクセル①	29期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の 技術 (10)	エクセル②	29期 情報コース 卒業生有志
21	1.27 (火)	情報伝達の 技術 (11)	eスポーツ	29期 情報コース 卒業生有志	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員
22	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.13 (火)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.20 (火)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう①	社会教育指導員		*	
4	5.27 (火)	福祉元気合同 地域活動 (1)	レクリエーション	日本レクリエーション 協会公認レクリエーション コーディネーター 介護福祉士 田端 知恵子		*	
5	6.3 (火)	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ ランニングコーチ 中田修弘		*	
6	6.10 (火)	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう②				社会教育指導員
7	6.24 (火)	生活と健康 (2)	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授 水野基樹		*	
8	7.1 (火)		*		福祉元気合同 生活と健康 (3)	普通救命講習 (AED講習)	佐倉市八街市 酒々井町 消防組合
9	7.8 (火)	4コース合同 講演会 防災	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
10	9.9 (火)	健康づくり (1)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	あさくら太極拳 同好会 嶋田桂子 服部陽子		*	
11	9.16 (火)	福祉元気合同 健康づくり (2)	タオルで簡単 ストレッチ	インストラクター 関根 美和		*	
12	10.7 (火)	健康づくり (3)	フレイル予防講座	明治安田生命		*	

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10. 21 (火)	福祉元気合同 生活と健康 (4)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護長 後田恵子		*	
14	11. 4 (火)	課題学習 (3)	ウォークラリー コースを作ろう③				社会教育指導員
15	11. 12 (水) ～11. 14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11. 12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ 文化祭 実行委員会
16	11. 18 (火)		*		病理と予防 (1)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井正子
17	11. 25 (火)	生活と健康 (5)	薬と生活習慣	健栄 鎬木薬局		*	
18	12. 2 (火)	課題学習 (4)	ウォークラリー コースを作ろう④				社会教育指導員
19	12. 12 (金)	病理と予防 (2)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
20	12. 16 (火)		*		4コース合同 講演会 生活と健康 (6)	楽しむ喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝尚志
21	12. 23 (火)		*		4コース合同 講演会 情報化時代の 学習	ネット情報に おぼれない学び方	「ネット情報に おぼれない学び方」 著者 梅澤貴典
22	1. 20 (火)	生涯学習の 楽しさ(2)	歓迎ウォークラリー に向けて①				社会教育指導員
23	1. 27 (火)	生涯学習の 楽しさ(3)	歓迎ウォークラリー に向けて②	社会教育指導員	ホームルーム	4年生に向けて	社会教育指導員
24	2. 7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.16 (金)	オリエンテーション	ホームルーム	社会教育指導員		*	
3	5.30 (金)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員
4	6.6 (金)		*		ボランティア活動の 実践に向けて (1)	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園 施設長 安宅 香織
5	6.13 (金)	障害福祉 (1)	知的障害の特性 木の宮学園施設見学 (見学開始時間9:30～)	木の宮学園		*	
6	6.20 (金)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②				社会教育指導員
7	7.4 (金)	4コース合同 講演会 健康づくり (1)	自分の体の主治医に なりませんか ～人生100年時代を 豊かに生きる～	はつは薬局 有限責任事 業組合 真善美 薬剤師 ケアマネージャー 伊藤 克洋		*	
8	7.11 (金)	健康づくり (2)	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課		*	
9	9.5 (金)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		*	
10	9.12 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前9時30分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.19 (金)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③				社会教育指導員
12	10.10 (金)	学び合い学習 (4)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (金)	学び合い学習 (6)	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	歴史コースを招待して	社会教育指導員
14	10.31 (金)	学び合い学習 (8)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	元気コースを招待して	社会教育指導員
15	11.12 (水)～ 11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3 他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.20 (木)	福祉元気合同 障害福祉 (2)	障がい者とスポーツ	順天堂大学 スポーツ 健康科学部 准教授 渡 正		*	
17	11.21 (金)		*		他コース 自主企画講座	情報コース 自主企画講座 (任意参加)	情報コース
18	11.28 (金)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子		*	
19	12.5 (金)	福祉サービス (1)	介護のデジタル化	佐倉ゆうゆうの里 施設長 田中寿之	他コース 自主企画講座	歴史コース 自主企画講座 (任意参加)	歴史コース
20	12.12 (金)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	傾聴心得	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上規后子	他コース 自主企画講座	元気コース 自主企画講座 (任意参加)	元気コース
21	1.9 (金)	学習のまとめ／ ホームルーム	福祉活動の実践に向けて ／卒業に向けて	社会教育指導員		*	
22	1.16 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
23	1.23 (金)	4コース合同 講演会 歴博	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大	ホームルーム	卒業式練習	社会教育指導員
24	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.16 (金)	オリエンテーション/ 学び合い学習 (1) / 自主企画講座 (1)	ホームルーム/ 学び合い学習に向けて① /学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
3	5.30 (金)	施設見学	夢咲くら館及び 塚本美術館見学	社会教育指導員		*	
4	6.6 (金)	日本遺産 町並み散策 (1)	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 新町の歴史散策 10時00分 中央公民館出発	NPO法人 佐倉一里塚		*	
5	6.20 (金)	公開講座 佐倉市の歴史 (1)	佐倉市域における 銃後の生活	佐倉市史編さん委員 中澤 恵子		*	
6	7.4 (金)	4コース合同 講演会 健康づくり	自分の体の主治医に なりませんか ～人生100年時代を豊 かに生きる～	はつほ薬局 有限責任事業 組合 真善美 薬剤師 ケアマネージャー 伊藤 克洋	学習テーマの まとめ	研究発表の進め方	歴史コース担当 公民館職員
7	7.11 (金)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
8	9.5 (金)	他コース 自主企画講座	福祉コース 自主企画講座 (任意参加)	福祉コース		*	
9	9.12 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむー卒業記念 作品の制作ー 集合 午前9時30分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
10	9.19 (金)	佐倉市の歴史 (2)	佐倉にゆかりのある 幕末明治の留学生 聴講	市史編さん委員 内田儀久		*	
11	9.26 (金)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
12	10.10 (金)	学び合い学習 (4)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (金)	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	10.31 (金)	学び合い学習 (8)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
15	11.12 (水)～ 11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.21 (金)	佐倉市の歴史 (3)	佐倉炭 聴講	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋雅人	他コース 自主企画講座	情報コース 自主企画講座 (任意参加)	情報コース
17	11.28 (金)	日本遺産 町並み散策 (2)	【日本遺産北総四都市江戸紀行】「佐原のまちづくりを学ぶ」(散策) 集合 午前9時25分 JR成田駅改札口の中				NPO法人 小野川と 佐原の町並みを 考える会
18	12.5 (金)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
19	12.12 (金)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉藩政改革 聴講	千葉大学 教育学部教授 小関 悠一郎	他コース 自主企画講座	元気コース 自主企画講座 (任意参加)	元気コース
20	12.19 (金)	学習のまとめ①	研究論文の発表 リハーサル	社会教育指導員		*	
21	1.9 (金)	学習のまとめ②	研究論文の発表				酒々井町 文化財審議会会長 高橋健一
22	1.16 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
23	1.23 (金)	4コース合同 講演会 歴博	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大	ホームルーム	卒業式練習	社会教育指導員
24	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程

さわやか情報コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.16 (金)	オリエンテーション/ 学び合い学習 (1)	ホームルーム/ 学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.23 (金)	情報伝達の 技術 (1)	パワポ①	29期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の 技術 (2)	パワポ②	29期 情報コース 卒業生有志
4	6.6 (金)	情報化時代の 学習 (1)	広域高速ネット296	ケーブルネット 296放送制作部 主任 渡辺 毅		*	
5	6.13 (金)	情報化時代の 学習 (2)	施設見学				国立国会図書館
6	6.20 (金)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
7	7.4 (金)	4コース合同 講演会 健康づくり	自分の体の主治医に なりませんか ～人生100年時代を 豊かに生きる～	はつほ薬局 有限責任事 業組合 真善美 薬剤師 ケアマネージャー 伊藤 克洋		*	
8	7.11 (金)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
9	9.5 (金)	他コース 自主企画講座	福祉コース 自主企画講座 (任意参加)	福祉コース		*	
10	9.12 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむ 集合 午前9時30分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.19 (金)	情報伝達の 技術 (3)	スマホの活用講座	高木 茂 (28期情報コース)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員
12	9.26 (金)	学び合い学習 (4)	学び合い学習に向けて ④				社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.10 (金)	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (6)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員
14	10.24 (金)	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (8)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
15	10.31 (金)	学び合い学習 (9)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (10)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
16	11.12 (水) ～11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3 他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ 文化祭 実行委員会
17	11.21 (金)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
18	11.28 (金)	情報化時代の 学習 (3)	アクティビティにおける eスポーツの活用について	日本 アクティビティ 協会		*	
19	12.5 (金)	情報化時代の 学習 (4)	出版社について 聴講	303BOOKS株式会社 代表取締役 常松心平	他コース 自主企画講座	歴史コース 自主企画講座 (任意参加)	歴史コース
20	12.12 (金)		*		他コース 自主企画講座	元気コース 自主企画講座 (任意参加)	元気コース
21	1.9 (金)	学習のまとめ／ ホームルーム	振り返り／ 卒業に向けて	社会教育指導員		*	
22	1.16 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
23	1.23 (金)	4コース合同 講演会 歴博	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大	ホームルーム	卒業式練習	社会教育指導員
24	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (土)	式典 (1)	始業式・入学式	総長 館長	カレッジ合同 芸術鑑賞会	芸術鑑賞	シャルマン・ ウインド・ オーケストラ
2	5.16 (金)	オリエンテーション	ホームルーム	社会教育指導員	地域活動 (1)	1年ウォークラリー に向けて	社会教育指導員
3	5.22 (木)	地域活動 (2)	坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く (1年ウォークラリー 雨天の場合は5/29)				社会教育指導員
4	6.6 (金)	地域活動 (3)	ノルディック・ ウォーク	千葉県 ノルディック・ ウォーク連盟		*	
5	6.13 (金)	地域活動 (4)	楽しい運動と学習を 体験して、体と心の バランスを感じよう	リードレッグ ジャパン 井上将憲	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員
6	6.20 (金)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
7	7.4 (金)	4コース合同 講演会 健康づくり (1)	自分の体の主治医に なりませんか ～人生100年時代を 豊かに生きる～	はつほ薬局 有限責任事 業組合 真善美 薬剤師 ケアマネージャー 伊藤 克洋		*	
8	7.11 (金)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
9	9.5 (金)	他コース 自主企画講座	福祉コース 自主企画講座 (任意参加)	福祉コース		*	
10	9.12 (金)	4コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前9時30分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
11	9.26 (金)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
12	10.10 (金)	学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

令和7年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時～3時		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10.24 (金)	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
14	10.31 (金)	学び合い学習 (8)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
15	11.12 (水) ～11.14 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.12 (水)～14 (金) 大ホール、学習室3他 (15日 (土) の開催は未定)				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.20 (木)		*		福祉元気合同 障害福祉	障がい者とスポーツ	順天堂大学 スポーツ 健康科学部 准教授 渡 正
17	11.21 (金)		*		他コース 自主企画講座	情報コース 自主企画講座 (任意参加)	情報コース
18	12.5 (金)		*		他コース 自主企画講座	歴史コース 自主企画講座 (任意参加)	歴史コース
19	12.12 (金)	病理と予防 (1)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
20	12.19 (金)	健康づくり (2)	調理実習				健康推進課
21	1.9 (金)	学習のまとめ/ ホームルーム	卒業後の健康づくり/ 卒業に向けて	社会教育指導員		*	
22	1.16 (金)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
23	1.23 (金)	4コース合同 講演会 歴博	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大	ホームルーム	卒業式練習	社会教育指導員
24	2.7 (土)		*		式典	修了式・卒業式	総長、館長 社会教育指導員

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区子連の備品の貸出は事務局が対応している。

6. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
URL : <https://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/chuokominkan/index.html>
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
- ④展望 SNSの発信により、市の広報紙を見る機会がない方へも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害等の影響を受けた中での開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった方たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や開館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 X（旧ツイッター）とフェイスブック
X（旧ツイッター）アカウント名：@sakura_chuokou
フェイスブック：
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト（X（旧ツイッター）では140字以内）で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・定期利用申込受付日、2カ月前及び1か月前申し込み日、4カ月前先行予約日の周知
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者数は減少傾向にあり、その原因としては、これまで公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないこと等が考えられる。中央公民館の活動や施設利用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなか

った方たちへ情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設することで、リモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q

③実施内容 ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）
・職員が作成した生涯学習動画
・公民館活動団体と協力して作成した動画
・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
・市民カレッジにおける利用（PR動画や活動内容など）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく、他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取り扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 公民館事業の動画によって、様々な講座について理解を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただくことを目指す。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

視聴覚機器貸出

①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。

②対象 ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
・官公署
・その他教育委員会が必要と認める団体

③貸出機器 ○機材
・プロジェクター
・スクリーン
・DVDプレーヤー
・移動音響セット
・スピーカー ほか
○教材
・DVD
・ビデオテープ

④展望 機材の整備を適宜に行い、市民のニーズに沿った事業運営に努める。

和田公民館

和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、古くは「和田村」と称し、明治22年頃は14の村落で構成されていた。昭和29年の市制発足以降より12の地区から構成されている。和田地区の面積は市全体の約14%に当たる約14.4km²、人口は約1%に当たる1,514人、世帯数は715世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われた。

このように専門化された農業地域であるが、年々従事者は減少し、後継者育成は大きな課題となっている。地区全域が市街化調整区域であり、大きい人口増加を見込める計画等もない状況でもある。少子高齢化、核家族化などの進展、青年層の流出など純農村として構成されていた地域社会は大きな変化をし続けている。

一方で地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、企業の物流基地が進出するなど、新たな変化が見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

和田地区のデータ

【令和8年3月末現在】

- 和田地区：面積 約14.4km² （佐倉市：面積 103.69km²）
- 和田地区：住基人口 1,514人 （佐倉市：住基人口 168,207人）
- 和田地区：人口密度 105人/km² （佐倉市：人口密度 1,623人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市立公民館活動計画を基本として、使いやすく親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を支援し、生涯学習活動や地域づくりの拠点としてその役割をはたすことに努める。

努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした公民館事業の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を結びつけていく事で、地域の活性化や課題に対応していくよう努める。

事業内容

1. 学級講座に関する事業

参加者との会話を大切にしながら、趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開し共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

2. 施設・設備・備品の提供

- (1) 開館時間 月・水・木・土・日曜日・祝日 午前9時～午後5時
火・金曜日は午前9時～午後9時まで
(祝日を除く・夜間の利用がない場合は午後5時まで)
- (2) 休館日 第2第4月曜日、12／28～1／4

3. 団体育成に関する事業

和田地区青少年育成住民会議・和田はたおり保存会等の社会教育的団体が、自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などを行う。また、各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう支援・協力をする。

4. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した事業を展開する。

5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。

(蔵書約1,800冊 貸出し1人上限 10冊 15日間)

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数 (件)	173	217	207	262	349
利用人数 (人)	1,465	2,275	2,326	2,591	4,071
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

令和7年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
和室	3,072	247	8.0%
調理実習室	3,072	408	13.3%
団体室	3,072	72	2.3%
会議室	3,072	443	14.4%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	地区の幼児、保護者	7/25 4人 9/26 21人 12/14 20人	幼児期における重要な学習機会、遊びや育児の環境の場を提供するなかで、南部保健センターと連携し子育てに役立つ情報等を発信した。マイうちわづくり、ミニ運動会、クリスマス会を実施した。
	楽しく家庭教育講座	地区の小学生、保護者	5/24 15人 9/20 11人	児童の成長に必要な体験、学習等を通して、家庭教育環境の向上を促すことを目的とし、親子でパン作り、太巻き寿司作りを実施した。
青少年教育	和田剣道教室	地区の小学生等	5月～3月 58回	地域の小学生を中心とした教室の中で、心身の育成を図る稽古を安全に配慮しながら、皆で力を合わせて行った。
	軽スポーツ大会	地区の小学生、地域住民	10/19 66人	地域と協働で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図った。
	星空観察会	小学5年～中学生	11/22 32人	中央公民館との共催事業であり、専門講師による、ゼミ、星空観察を実施した。
	子ども芸術鑑賞会	地区の小学生	12/25 21人	地域で活動している団体を招き、おはなし会を開催した。 佐倉ゆうゆう塾の講師から季節に合う話を、体を動かしながら楽しく聞いた。
佐倉学	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生	6/28 9人 10/5 8人 2/7 16人	地区の小学生向けに、地域の方を講師に招き、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める料理教室を実施した。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生	7/26 12人 12/18 14人	伝統文化を体験するため、7月、はたおり親子体験、12月、しめ飾りを作成した。
和田市民大学	佐倉学講座 和田地域学	市内の成人	7/12 19人 10/25 9人 12/17 13人 1/21 9人 2/16～18 9人	7月は和田の「蛸鑑賞会」、10月は和田に伝承地を巡る「野草と地域散策」、12月は地域の方を講師に「こんにやく作り」、1月は食生活改善推進協議会の方々を講師に「新鮮野菜料理講座」、2月は地域の方を講師に「みそ作り3日間講座」を実施した。
	手芸教室	60歳以上の地区の成人	5/2 7人 6/6 8人 7/4 8人 9/5 7人 10/3 8人 11/7 8人 12/5 9人 1/9 8人 2/6 8人 3/6 9人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりをする。また、受講生が子どもたちに服飾品の再利用を教え、物を大切にする心を指導した。

領域	事業名		対象	期間・回数	内容
成人教育	和田工芸講座		市内の成人	9/26 12人 10/10 12人 10/24 12人 11/7 8人 11/21 11人	和田はたおり保存会による「はたおり体験講座」を実施した。
	合同研修会		地区内の住民団体	1/11 40人	地域の獣害対策について、市職員を講師に迎え、研修会を行った。
団体育成	団体育成事業		青少年育成住民会議・民俗資料収集委員会・はたおり保存会等	通年	・地域の住民団体等が円滑に活動できるよう、会議運営や各種調整、子育て事業、地域まつり等の協力、支援を行った。 ・施設利用社会教育団体等の活動継続などに係る協力、支援を行った。
広報展示活動	公民館だより発行		和田地区全世帯	6月、8月 10月、11月	
	歴史民俗資料室	展示	一般	通年	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示を行った。
			企画	11/15～23	和田文化工芸展を開催した。
		見学	市内小学校・一般団体等	通年	施設見学の際に解説やはたおり体験を実施した。市内4校の小学校社会科見学、高校1校、町民カレッジに対応した。
図書	図書貸し出し		一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施した。

1. 家庭教育事業

子育て教室

①開設趣旨 親子でのふれあいや楽しい遊び、講師からの指導を通して親の役割、環境づくりなどの意義を考え、育児知識習得の機会を設けること。また、他の参加者との交流により、育児不安や悩みの共有・相談をすることで孤独感の解消や、子育てで忙しい日々の生活の中の憩いの時間、仲間づくりの場となるよう配慮する。

②募集対象 乳幼児と保護者10組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月25日（金） 10:00～11:30	マイうちわ作り	高梨 直子、他 南部保健センター
2	9月26日（金） 10:00～11:30	ミニミニ運動会	高梨 直子、他 南部保健センター
3	12月14日（日） 10:00～11:30	クリスマス会	高梨 直子、他

④講座を終えて 公民館で活動される方を講師に迎え、乳幼児と保護者対象で行った。和気あいあいとした雰囲気の中、親同士の交流を含め、充実した時間を過ごすことができたと感じた。また、南部保健センターと連携し、乳幼児相談を併せて実施した。

家庭教育講座

①開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の役割や家族のあり方などを学習する。

②募集対象 地区内の小学生と保護者6組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月24日（土） 9:30～13:30	親子でパン作り	六崎 美知代 高梨 直子
2	9月20日（土） 10:00～12:00	太巻き寿司作り	佐々木 寿美子

④講座を終えて 公民館で活動される方を講師に迎え、地区内の小学生と保護者対象で行った。同一小学校の親子であり和気あいあいとした雰囲気の中、親子で没頭し、充実した時間を過ごすことができたと感じた。

2. 青少年教育事業

和田剣道教室

- ①開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ②募集対象 地域の小学生等 20人
- ③開設期間 令和7年5月～令和8年3月 58回
- ④指導者 片岡 康平、藤崎 英樹、江野澤 清美、高山 裕司
- ⑤講座を終えて 剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の育成や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。

軽スポーツ大会

- ①開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ②募集対象 地区の小学生 20人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月19日（日） 9：30～12：00	グラウンドゴルフ	和田地区青少年育成住民会議 行事特別顧問他

- ④講座を終えて 和田地区青少年育成住民会議、和田地区社会福祉協議会共催であり、地域の子どもと地域住民が交流する事で、青少年の健全育成を地域で実践する場になっている。チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図れるようにした。（和田小学校校庭で実施）

星空観察会

- ①開設趣旨 宇宙業界に長年携わった専門家の方々に講師に招き、少人数制のゼミ形式の講座を開催することにより、佐倉市の将来を担う子ども達のコミュニケーションづくりの場を提供する。
- ②募集対象 小学4年～中学3年までの親子 15組
- ④ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月22日（土） 19：00～20：30	和田ふるさと館を会場に、天体望遠鏡で星を実際に観察することで、星がどのように見えるのかを学ぶ。	宇宙業界専門家

- ④講座を終えて 中央公民館と共催で実施しており、天体望遠鏡で星を観察するこの講座では、児童の宇宙への興味を掻き立て新鮮な感動を与える事が出来た。保護者が一緒に観察することで、親子間の関係も深まり、印象に残る一日となったと感じた。

子ども芸術鑑賞会

①開設趣旨 子どもたちに文化芸術等に触れ合う機会を提供し、親子等の参加も促しながら、その内容等の素晴らしさを肌で感じてもらう。

②募集対象 地区の小学生

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月25日（木） 10:00～11:00	子どもお話し会	末吉 正子主宰 佐倉ゆうゆう語り塾

④講座を終えて 平成30年度から地元の方が加入されている会であることから依頼している。幼児から大人までが楽しめ、演者の方の身振り、手振り、感情豊かな表現に児童たちはすっかり引き込まれて、飽きることなく集中して聴いていた。ゲームや映画のように画面からではなく、人の体温や息遣いが感じられ、地元の昔話をに入れていただいたこともあり、とても好評であった。

佐倉っ子塾 料理教室

①開設趣旨 地元の方のご指導のもと、料理に興味を持ち、自立や協調性などの育成を図ることを目的として和田地区青少年育成住民会議と公民館が共催で実施する。

②募集対象 地区の小学生 各回15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月28日（土） 9:30～12:30	(1) ツナピラフ (2) きのこと厚揚げのミートソース煮 (3) プリンアラモード	六崎 美知代 高梨 直子
2	10月5日（日） 9:30～12:30	(1) ツナサンドと卵サンド (2) コーンじゃが (3) ヨーグルトスコーン (4) フルーツ	六崎 美知代 高梨 直子
3	2月7日（土） 9:30～12:30	(1) 鶏めし (2) ブラウニー (3) 牛乳かん入りフルーツポンチ (4) コンソメスープ	六崎 美知代 高梨 直子

④講座を終えて 子どもたちが料理に興味をもち、衛生面に気を付けながら協力して調理し、楽しく食べることを学んでいる様子が感じられる。低学年児童が意欲的に申し込みしてくる事業であることから、地元協力者の方も力を入れて指導してくださっている。

佐倉っ子塾 伝統文化体験教室

①開設趣旨 伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。

②募集対象 市内小学生と保護者１２組（はたおり）
和田小学校４・５年生１４人（しめ飾り）

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月26日（土） 10:00～15:00	はたおり親子体験	はたおり保存会
2	12月18日（木） 8:30～10:30	しめ飾り講習会	中央公民館職員

④講座を終えて 「はたおり親子体験」は、家族参加で初めての体験を一生懸命取り組んでいて、次回も参加したいという声を多数いただいた。「しめ飾り講習会」は、地区で育てられた藁を使い、しめ飾りを作ることを通じて、生まれ育った和田で培われてきた文化を体験できた。児童からは和田小独自の体験にうれしかった。またやりたいとの感想を多数いただいた。いずれの事業も満足感を得ることができたと感じる。

3. 成人教育事業

佐倉学講座 和田地域学

①開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。

②募集対象 市内の成人 10人

(蛍鑑賞会：小学生親子10組、こんにゃくづくり：15人、新鮮野菜料理：12人)

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月12日(土) 19:00～21:00	蛍鑑賞会	藤崎 言行
2	10月25日(土) 9:30～12:00	野草と地域散策	近藤 維久子
3	12月17日(水) 9:00～12:00	こんにゃく作り講座	牛玖 昌弘
4	1月21日(水) 9:30～13:00	新鮮野菜料理講座	食生活改善推進協議会 根郷・和田地区
5	2月16日(月)～ 18日(水) 9:30～13:00	和田みそづくり3日間講座	佐々木 寿美子

④講座を終えて 和田地区の歴史、農業、文化に係る学習講座を実施した。学習内容が多項目あり受講者の学びの意欲を向上させる事が出来たものと捉えている。

和田市民大学手芸教室

①開設趣旨 手芸の知識や技術の向上を目指すとともに、地域の親睦や生きがいを図る。また、児童に手芸を指導する場を設けることで異世代間交流を深め、児童にも精神的な向上を望む。

②募集対象 60歳以上の地区の成人 10人

③実施期間 令和7年5月2日～令和8年3月6日 10回

④講座を終えて 長年にわたる活動により、受講生の技術が向上し集中して意欲的に作品づくりに取り組んでいた。

和田市民大学和田工芸講座

①開設趣旨 和田地区において行われてきた機織りなどの工芸を地域の伝統文化として位置づけることにより、地域を特色づけ、アイデンティティを醸成する。

工芸は静かな環境で時間をかけてゆったり育まれるものであり、地域性にも合っているため、各種工芸を実施していく中で、地域づくりにつなげていく。

②募集対象 市内の成人10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月26日（金） 10:00～正午	はたおり体験①「説明・整経」	和田はたおり保存会
2	10月10日（金） 10:00～正午	はたおり体験②「おき通し・緒まき」	和田はたおり保存会
3	10月24日（金） 10:00～正午	はたおり体験③「糸綜統」	和田はたおり保存会
4	11月7日（金） 10:00～正午	はたおり体験④「機かけ・織り」	和田はたおり保存会
5	11月21日（金） 9:30～11:45	はたおり体験⑤「織り・アンケート」	和田はたおり保存会

④講座を終えて 「はたおり体験」については、はたおり保存会の指導の下、連続5回講座として実施した。参加者からは、親切・丁寧な指導のおかげでより良い体験が出来た。また参加したいといった感想をいただいております、貴重な体験に満足している様子が伺えた。

合同研修会

①開設趣旨 地区社会福祉協議会、地区青少年育成住民会議等の団体とともに、地域づくりにつながる内容の研修を行うことで、良いより地域形成を図る。

②募集対象 地区住民団体 30人程度

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月11日（日） 14:00～15:30	獣害対策について	農政課職員

④講座を終えて 和田地区で年々増加しているイノシシ等の獣害対策について、その対策、市の支援体制、補助金等について、研修した。和田地区の特性を踏まえ私たちは何をすべきなのか、最新の情報から学ぶことができた。

4. 団体育成事業

①和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。こうした問題を解決するため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の向上を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

②和田小学校PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、昭和46年11月に収集委員会を設置した。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでの伝承遊びの実演、年末に行われる市民を対象としたしめ飾り講習会、和田小学校生徒へのミニしめ飾り講習会など和田の特色を生かした活動を実施し、地域の教育力の向上を目指した。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

③和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行っている。

5. 広報・展示事業

公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
○発行回数 年4回（6、8、10、11月号）
○発行部数 600部/回
○配布方法 区長を通し全戸配布及び公共施設配布

歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの事業を展開し、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演を行った。
また、市内高校生の「探究活動（佐倉市の民話）」、酒々井町民カレッジでの、活用も図られた。
○期間・回数 開館日数 333日 来館者数 606人
うち小学校社会科見学来館者数 240人

6. 図書事業

図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
○蔵書数 1,800冊

月別貸出数・返却数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	1	0	6	3	3	1	4	0	4	2	0	0	24
返却数	0	0	9	10	12	6	3	19	20	4	1	0	84

弥富公民館

弥富地区の概要

弥富地区は、佐倉市のほぼ中央を流れる鹿島川の上流とその２本の支流に沿って田畑が作られ、その周囲に形成された集落群であり、佐倉市の南部に位置し、千葉市・八街市・四街道市と接している穏やかな田園地帯である。

地区の中心産業である農業は、時代の変化とともに、耕作面積、農業戸数・農業者人口とも減少が続けている。また、弥富地区のほぼ全域は市街化調整区域であり、就業形態が変化しても、人口増加が見込み難い現状にある。

このような中ではあるが、企業の研究所が設置され、弥富地区と千葉市にまたがる地域にちばリサーチパークをはじめ研究施設等の大規模開発が行われているなど、新しい時代に向かった流れは徐々に広まりつつある。

弥富地区のデータ

【令和８年３月末現在】

- 弥富地区：面 積 約 13.69km² （佐倉市：面 積 103.69km²）
- 弥富地区：住基人口 1,369人 （佐倉市：住基人口 168,207人）
- 弥富地区：人口密度 100人/km² （佐倉市：人口密度 1,622人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努める。

努力目標

- 施設の定期点検や日常点検により不具合箇所を把握し、計画的な修繕等を行うことで、公民館利用者の安全・快適に資する。
- 地域団体や保護者会とも協力しながら、地域住民が気軽に足を運び、利用できるような公民館とする。
- 地域団体と協力し、相互の活動の活発化を図るとともに、地域の課題に対する自主的な学習への支援を行う。
- 公民館事業のサービス向上、施設の有効活用のための検討を引き続き行う。

事業内容

1. 学級講座

楽しく、共に学び合う場を作り、みんながふれあい、みんなで考え、みんなで何ができるのか考える場にする。

2. 広報・団体育成事業

公民館事業のお知らせや地域の学習の提供をする中で、地域住民に公民館への関心を持ってもらおうと共に、利用団体、関係団体との交流、育成を図る。

3. 施設の提供

- 開館時間 ①月・日曜日、祝日 午前9時～午後5時
 ②火～土曜日 午前9時～午後9時
 ※夜間の利用申込が無い場合は、午後5時で閉館

- 休 館 日 第2・第4月曜日及び年末年始（12月28日～1月4日）

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数 (件)	481	586	641	757	817
利用人数 (人)	3,849	5,183	6,093	8,152	8,064
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

令和7年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大会議室	3,664	862	23.5%
中会議室	3,664	874	23.9%
調理実習室	3,664	432	11.8%
和室	3,664	451	12.3%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	くらしの講座 「みそづくり」	市内の小学生と保護者 6組	11/8 4組9人 11/9 4組8人	弥富地区等の農村地域を中心に現在でも行われているみそづくりを通して、伝承されてきた食文化を学ぶとともに地域に対する理解を深める。
	明治安田生命MY定期講座「親子で学ぶ「お金」のキホン講座」	小学生と保護者 または 保護者のみ 30人	7/24 9人	明治安田生命保険相互会社との包括連携協定に基づき講座。「こどもにお金との付き合い方を教えたい」「こどもの将来のために資産形成を始めたい」かた向けにお金の基本を解説する。
	なんでも体験弥富塾「そば打ちやってみよう！」	弥富小学校児童と保護者 5組	8/17 3組7人	工作、料理等様々な体験を通じて、こどもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。また、小学校児童どうしの交流を図る。今回は親子を対象にそば打ち体験を行った。
青少年教育	佐倉っ子塾 弥富剣道教室	小学生 20人	5月～2月 40回	剣道の稽古を通じて児童の心身を鍛練するとともに、千葉県指定無形文化財「立身流」を学ぶ。
	なんでも体験弥富塾	弥富小学校児童各 15人	7/31 4人 8/21 9人 1/18 4人	自然体験や工作、料理等様々な体験を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。また、小学校児童同士の交流を図る。 7/31 勾玉づくりに挑戦！ 8/21 夏のやとみ料理教室 1/18 冬のやとみ料理教室
成人教育	ちばアカデミア講座@弥富公民館	成人 各30人	7/12 7人 1/31 3人	さわやかちば県民プラザ主催の「ちばアカデミア講座」の会場とインターネット回線で結んで、弥富公民館をサテライト会場とし、遠隔地に赴かなくても学ぶことができる「生涯学習の新しい学びの場の提供」を行う。
	明治安田生命「MY定期講座「基礎から学ぶ！健康マージャン」講座」	成人 32人	6/21 28人	明治安田生命保険相互会社との包括連携協定に基づき、健康増進・介護・認知症等のくらしに身近なテーマで講座を行う。
	くらしの講座 「布ぞうりづくり」	成人 5人	1/23 4人	趣味、娯楽を通じてコミュニティ活動の推進及び地域人材の活用・育成を図る。
	くらしの講座 「太巻き寿司づくり」	成人 各5人	11/21 4人 12/10 5人	千葉県の郷土料理である「まつりずし」の技法を次代に伝えるとともに、世代間交流及び地域人材の活用・育成を図る。
	佐倉学入門講座「佐倉炭と弥富地区ー炭を焼く・売る・運ぶー」	成人 30人	2/14 19人	近世の名産品「佐倉炭」と弥富地区との関わりについて、炭を焼く・売る・運ぶ、さまざまな場面で弥富地区の人々が関わっていた様子等を学ぶ。
	佐倉学入門講座 「弥富自然散策観察会」	成人 各10人	10/29 4人 3/25 9人	散策を通して弥富地区に残る豊かな自然や植生等について学び、地域への理解を深める。
	佐倉学体験講座 「クラフトバンドで塩古ざるづくり」	成人 5人	2/20 5人	弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するための入り口として、クラフトバンドを用いて編み上げ技法を学ぶとともに、地域人材の活用、育成を図る。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
団体育成	地域団体支援		通年	ふるさと弥富を愛する会、弥富地区社会福祉協議会、弥富地区青少年健全育成住民会議等の活動に対する協力、支援を行う。
広報活動	公民館だより	弥富地区全世帯	発行月 6・10・3月 約700部/回	公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
図書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	図書の貸出返却を行った。 貸出件数2件

1. 家庭教育事業

くらしの講座「みそづくり」

①開設趣旨 弥富地区などの農村地域を中心に現在でも行われているみそづくりを通して、伝承されてきた食文化を学ぶとともに地域に対する理解を深める。

②募集対象 市内の小学生と保護者 6組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 8日（土） 9：00～ 14：00	弥富公民館内にある農産加工実習室でみそをつくる。	錦織 好子
2	11月 9日（日） 9：00～ 14：00		

④講座を終えて

講師が、みそづくりの材料や工程を丁寧に説明しながら作業を進め、みそづくりの工程について、子どもを主体に皆さんに体験してもらった。

講師の厚意で、去年度の当講座で仕込んだみそを使ったおみそ汁を振る舞い、みそづくりを終えた後に参加者全員で食べ、大変おいしいと好評であった。

講師と参加者を含めた振り返りの中で、保護者からの意見として、家庭では、準備も大変で「講座に参加するのは手軽でありがたい」という意見や「繰り返し参加していただいた方からは「以前の樽が残っている。参加料が別個設定だとなお良い。」という声もあった。

総括として、アンケート結果から、参加者全員から「おもしろかった。」という評価がいただけ、今後も継続して実施していきたいと考える。

佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」親子で学ぶ！「お金」のキホン講座

①開設趣旨 佐倉市と明治安田生命保険相互会社との間で締結された包括連携協定に基づく講座。お金のキホンの解説を通じて、家庭の役割や家族のあり方などを学習するとともに親子の交流を図る。

②募集対象 小学生と保護者または保護者のみ 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月24日（木） 14：00～15：00	親子で学ぶ！「お金」のキホン講座	明治安田生命保険相互会社講師

④講座を終えて

講座は座学形式で、「お子さんにお金との付き合い方を教えたい」「お子さんの将来のために資産形成を始めたい」かたへ、主に子ども向けにお金の種類、注意点、使い方等の解説が行われた。また、講義終盤は保護者向けのお金のため方や増やし方等の説明があった。

今後、生活に身近なお金に関する話題を通じて家族で共に考える機会や交流する機会が増えることを期待する。

なんでも体験弥富塾「そば打ちやってみよう！」

①開設趣旨 家庭の役割や家族のあり方などを学習するとともに親子の交流を図る。

②募集対象 弥富小学校１年生～６年生と保護者 ５組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
１	８月１７日（日） ９：３０～１３：００	そば打ちやってみよう	弥富そば打ち友の会

④講座を終えて

公民館で活動している地元サークルを講師に迎え、「親子そば打ち体験」を地区内の小学生と保護者を対象として実施した。参加された方からは「そばを作るのは初めてで面白かった」といった好意的な感想が寄せられた。同一小学校の親子であり和気あいあいとした雰囲気の中、親子でそば作りに没頭し、ゆでたそばを皆で試食するなど充実した時間を過ごすことができたと感じた。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 弥富剣道教室

①開設趣旨 弥富地区に伝わる千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の次代継承と剣道の稽古を通して、児童の心身の鍛錬と健全育成及び異年齢交流を図るとともに郷土愛を育む。

②募集対象 小学生 20人

③プログラム 期間・回数 令和7年5月～令和8年2月 全40回

学習内容 剣道の技術習得と立身流の基礎の学習

指導者 檜村 典久、田中 眞次、山本 幹夫、加賀谷 順、岡村 幸司朗、岡村 真理子

④講座を終えて

千葉県指定無形文化財「武術 立身流」の技と精神を学ぶとともに、剣道の稽古に励み、さらに級位審査や剣道大会、他剣道教室との合同稽古、夏合宿を経て、受講生たちの心と体を鍛えることができた。

夏合宿は、7月26日（土）に市民体育館剣道場にて和田剣道教室と合同で実施し互いに交流を深めた。合同稽古では、今年度は3回、和田剣道教室等の他教室と行い、受講生たちは他教室の子どもたちと切磋琢磨しながら稽古に励んでいた。

4月の八街市戦没者追悼奉納剣道大会で1人が優勝するなど日頃の修練の成果を披露することができた。

さらに、立身流を学んでいる受講生たちが佐倉市で開催された立身流抜初式演武大会に参加し、大勢の観客の前で見事な演武を披露した。

なんでも体験弥富塾

①開設趣旨 様々な体験を通じて子どもたちの創造性や協調性、豊かな心を育む。

②募集対象 弥富小学校児童 12～15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月31日（木） 10:00～11:30	勾玉づくり	千葉県教育委員会 文化財課四街道分 室職員
2	8月21日（木） 9:30～12:00	夏のやとみ料理教室	佐倉市食育健康推 進員
3	1月18日（日） 9:30～12:00	冬のやとみ料理教室	

④講座を終えて

勾玉づくりでは、参加者一人ひとりが工作に集中し、きれいな勾玉を作ることができた。料理教室は2回とも講師を地元の方々にお越し、参加者もリラックスして楽しんでお菓子やお食事を作っていた。

全体的に、体験プログラムを通じ、子どもたちの豊かな心を育む機会を提供することができた。また、みんなで作業が必要な講座を2回（料理教室）実施し、子どもたちの「協力し合って物事を成す力」も育てることができた。

3. 成人教育事業

ちばアカデミア講座@弥富公民館

①開設趣旨 さわやかちば県民プラザ主催のアカデミア講座の会場からインターネット回線を通して弥富公民館をサテライト会場とし、遠隔地に赴かなくても学ぶことができる「生涯学習の新しい学びの場の提供」を行う。

②募集対象 市内の成人 各30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月12日（土） 14:00～16:00	最先端技術・データを活用した地震の理解	東京大学地震研究所 観測開発研究センター 酒井 慎一教授
2	1月31日（土） 14:00～16:00	ウェルビーイング～よりよく生きるためのヒント～	武蔵野大学ウェルビーイング学部 講師 楠 聖伸

④講座を終えて

地元の受講生が柏市にある講座の会場に直接出向かなくても、現在の最先端技術や現代課題について学ぶ機会を提供することができた。参加人数が少ない状況があるため講座選定や申込方法に工夫・検討が必要である。

佐倉市包括連携協定事業 明治安田生命「MY定期講座」

①開設趣旨 佐倉市と明治安田生命保険相互会社との間で締結された包括連携協定に基づき、地域課題の解決、地域住民の主体的な学び、地域コミュニティ活動の継続に関連する講座を実施する。

②募集対象 市内の成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月21日（日） 13:30～15:30	基礎から学ぶ！「健康マージャン」講座	日本健康麻将協会

④講座を終えて

今回は、「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」を目的とする初心者向けの「健康マージャン講座」を実施した。参加者は最初のうちは慣れずにうまくプレイできなかったが、徐々になれ、脳の様々な部位の活性化や脳トレ効果を体感し、参加者同士が楽しく交流する様子が伺えた。参加者からはまた参加したいとの意見もあるため、今回の反省も踏まえ来年度の開催についても検討したい。

くらしの講座「布ぞうりづくり」

①開設趣旨 布ぞうりづくりを通じてコミュニティ活動の推進と地域人材の活用・育成を図る。

②募集対象 市内の成人 5人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	1月23日（金） 10:00～16:00	布ぞうりづくりの技法を学ぶ。	三須 幸子

④講座を終えて

事前準備として、参加者に古布を裂いて折ってきてもらい、開始からすぐ編み始めることができるようにした。参加者は初めての布ぞうりづくりに戸惑っていたが、講師と助手の丁寧な指導により全員が最後まで完成することができた。「丁寧に優しく教えて頂き、とても楽しく学べました」など好意的な感想が多く、参加者が楽しく学べた様子が見えた。

くらしの講座「太巻き寿司づくり」

①開設趣旨 千葉の郷土料理を代表する「太巻き寿司（まつりずし）」は、古くから冠婚葬祭や集まりの時のごちそうとして受け継がれている。市民に、「太巻き寿司」作りを通して、郷土の風習に理解と関心を深めていただく。

②募集対象 市内の成人 各5人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月21日（金） 9:00～14:00	太巻き寿司（まつりずし）づくりの技法を学ぶ。	三須 幸子
2	12月10日（水） 9:00～14:00		

④講座を終えて

昨年度好評であったため回数を増やしての実施としたが、材料費の高騰により定員を減らしての実施となったが、両回とも定員5名のところ応募者17名であった。

当日の講座は、講師の丁寧で和やかな指導により、和気あいあいとした雰囲気、今回の講座を楽しみながら千葉の郷土料理「太巻き寿司（まつりずし）」を学んだ。

参加者好評な事業であるため、今後も講座の内容を工夫しながら継続して実施したい。

佐倉学入門講座 歴史講座「佐倉炭と弥富地区 ～炭を焼く・売る・運ぶ～」

①開設趣旨 地域の歴史について学ぶ講座等を開催し、郷土への愛着と関心を高める。

② 募集対象 成人 30人

③ プログラムx

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月14日（土） 14:00～16:00	近世の名産品「佐倉炭」と弥富地区の関わりについて学ぶ。	千葉市立郷土博物館 土屋 雅人

④ 講座を終えて

令和4年度より続く、弥富地区の歴史についての講座であり、今回は佐倉炭を取り上げた。講師は、専門は近世で、佐倉炭について長く調査研究している千葉市立郷土博物館市史編さん担当者へ依頼した。

講義は、江戸時代の社会背景などの解説後、佐倉炭と弥富地区の関わりについて説明が行われた。

参加者からのアンケートでは、「弥富地区の成り立ちや存在が身近に感じた」「佐倉炭にかかわる人々について、知ることができた」など、好評であった。

講師の選定に苦勞したが、好評な講座なので来年度も継続していきたいと考える。

佐倉学入門講座「弥富自然散策観察会」

①開設趣旨 弥富地区の豊かな自然・植生・野草を散策・観察し、ふるさとへの関心を高め、現地の散策・観察会を通して、郷土を学ぶ機会とする。

②募集対象 市内の成人 各10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月29日（水） 9：00～11：30	佐倉市飯塚の自然散策	自然観察指導員 小川 洋子
2	3月25日（水） 9：30～12：15	佐倉市坂戸の自然散策	

④講座を終えて

第1回目は、飯塚の自然散策、2回目は坂戸の自然散策を実施した。参加者は、自然豊かで住宅街ではあまり見られない野草や木の様子に、どのかたも興味を持って見学され、講師へ積極的に質問を行っていた。

「これは食べるとおいしい」「この植物の名前は知っています」等参加者の会話も弾み、非常に満足気な様子が見受けられた。

事業の成果として「身近な自然について再認識できた」「里山の自然に触れ合えて良かった」といった感想が聞かれ、自然への関心を高めることができた。

講座実施後のアンケート調査の結果も全員満足となっており、有意義な散策であり今後も継続して実施していきたい。

佐倉学体験講座「クラフトバンドで塩古ざるづくり」

①開設趣旨

弥富周辺地域（塩古郷）に昔から伝わるざる作りを次世代に継承するための入り口として、クラフトバンドを用いて編み上げ技法を学ぶとともに、地域人材の活用・育成を図る。

②募集対象 市内の成人 5人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月20日（金） 10：00～16：00	クラフトバンドで塩古ざるを作る。	三本 信彰

④講座を終えて

本来の塩古ざるは、篠竹という細い竹を材料に作られたもので、軽くて丈夫で水切りの良いざるであるが、本講座ではより使いやすいクラフトバンドで塩古ざるを作っていた。編んでざるを作っていくことに加え、一つ一つの工程も手間がかかる。難易度はやや高めであり時間内に完成させたかたは2人であったが、アンケートからも参加者全員が講座内容に満足し、「ていねいに教えていただいてよかった」「1日でザルが作れる工程を考えられたことに感動しました」など好意的な意見が多かった。

参加者は、この塩古ざるの技法を使ったざる作りを苦勞しながらも楽しんでおり、昔の弥富の方々の苦勞と技術に思いをはせていた。

4. 団体育成事業

(主な地域団体について記述)

ふるさと弥富を愛する会

ふるさと弥富を愛する会は、佐倉市市民協働の推進に関する条例第10条の規定に基づく市の認証を受け、平成20年9月12日に発足。弥富地区を活動区域として、主に次の活動を行っている。

1. 地域住民及び団体相互の連絡、交流、調整等を行う。
2. 自然環境保全事業として「ホタルの里づくり（ビオトープ整備）」等を実施する。
3. 伝統文化継承事業として「どんど焼き」を実施する。
4. 健康福祉増進事業として、グラウンドゴルフ大会を他の地域団体と協力して実施する。
5. 安全安心事業として、防災訓練・防災講演会等を実施する。
6. 広報事業として、広報紙の発行等を実施する。

弥富公民館では、防災訓練等各種事業への協力・支援のほか、団体との連絡調整等を行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。そのため市民一人ひとりが課題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議、PTA連絡協議会、スポーツ推進委員連絡協議会等の構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

弥富地区青少年健全育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成、非行防止及び福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみの活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロール、地域行事の企画・運営のほか、世代間交流を目的としたグラウンドゴルフ大会を実施している。

弥富公民館では、各種事業に関する協力・支援を行っている。

5. 広報活動事業

公民館だより

- ねらい 公民館事業の案内、募集、施設利用等の情報提供を行う。
- 発行回数 年3回（6月号・10月号・3月号）
- 発行部数 700部／回
- 配布方法 弥富地区の各区長を通じて全戸配布、公民館に配架

6. 図書事業

図書貸出

- ねらい 読書活動を支援していくとともに、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学びの深化を図る。また、地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け、貸し出すことにより、地域への理解を深めるための支援を行う。

根鄉公民館

根郷地区の概要

根郷地区は、佐倉市の南部に位置し、鹿島川右岸とその支流高崎川及び上流の南部川左岸に挟まれた丘陵地に位置している。

「根郷」の「根」は、ものの根元を意味し、嶺・尾根に通じ、「郷」は、里・村を意味しているが、当地区は、台地上或いは台地の根もとを取り巻いて集積した集落により構成されている。弥生時代の環濠集落で有名な大崎台遺跡が所在し、古墳時代から平安時代の集落も数多く発掘されており、古来より住みよい所であった。

平安時代には、印東荘（古代末から中世にかけて佐倉・酒々井・富里に有った荘園）に属し、上総介一族が勢力を伸ばしていった。鎌倉時代初頭に上総氏が没落すると、千葉氏一族の影響力が強まった。中世期の集落跡や城館跡も確認されているが、現在のような村落が形成されたのは、江戸時代以降と思われる。

明治22年4月、町村制が施行され、六崎、石川、城、木野子、神門、寺崎、太田、大篠塚、小篠塚の9地区により根郷村が発足した。

当地区は、旧来、鹿島川と高崎川流域を中心に、稲作を主体とした農業が営まれる農耕地帯であったが、現在、地域全体では、農村地域に残る自然豊かな山野と田畑、藤治台・大作・大崎台・山王・春路等の住宅地域、更にはJ R佐倉駅周辺の商業地域、佐倉インターチェンジ周辺の臨空工業地域といった多面的な地域構成となっている。

地区内には、J R佐倉駅と東関東自動車道の佐倉インターチェンジがあり、鉄道と高速道路における佐倉市の玄関口となっており、更に成田空港に近接する地の利を生かし、第1・第2・第3工業団地・熊野堂工業団地が整備され、本市の産業の中心地となっている。

また、地区内には、諸学校施設として、根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校（併設：県立印旛特別支援学校さくら分校）があり、文教地区としての側面も持ち合わせている。

根郷地区の面積は、市域全体の16.9%に当たる約17.5km²、人口は14.7%に当たる24,837人であるが、今後は、独立行政法人 都市再生機構施行による土地区画整理事業「寺崎北」地区（施行面積46.3ha、計画人口5,000人）への転入等により緩やかな人口増加が見込まれると同時に、J R佐倉駅に近接する寺崎地区は、新たな商業集積地として発展している。

根郷地区のデータ

【令和8年3月末現在】

- | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| ○根郷地区：面 積 約17.5km ² | （佐倉市：面 積 103.69km ² ） |
| ○根郷地区：住基人口 24,837人 | （佐倉市：住基人口 168,207人） |
| ○根郷地区：人口密度 1,419人/km ² | （佐倉市：人口密度 1,622人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉教育ビジョンを基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- 施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応に努める。
- 幅広い年齢層の幅広い要望に応え、時代のニーズに応じた多様な事業を展開する。
- 地域の社会資源を活用するため、また、郷土意識の高揚のための橋渡し役となるように努める。
- 地域に根ざした社会問題への関心の喚起に努める。
- 公民館に関係する各種団体と連携を密にし、活動の支援に努める。
- 地域の実情に即しながら、D X（デジタルトランスフォーメーション）の推進を図る。

施設利用

開館日・開館時間

①日曜・月曜・火曜・祝日 9時～17時

②水曜～土曜 9時～21時

※17時以降の施設利用がない場合は17時まで

利用区分 1時間単位（9時～21時）

休館日 第2・4月曜日、年末・年始 12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用件数 (件)	1, 571	1, 797	1, 874	1, 948	2, 085
利用人数 (人)	11, 949	17, 345	20, 954	21, 252	21, 368
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

令和 7 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数 (回)	利用回数	稼働率
ホール	3, 468	1, 100	31. 7%
学習室 1	3, 468	921	26. 6%
学習室 2	3, 468	1, 131	32. 6%
プレイルーム	3, 468	885	25. 5%
調理室	3, 468	390	11. 2%
和室	3, 468	311	9. 0%
集会室	3, 468	1, 102	31. 8%

領域	事業名	対 象	期間・回数	内 容
家庭教育	みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ	1～2歳児と 保護者15組	5/9 10人 5/23 8人 6/13 10人 6/27 10人 7/11 8人 9/12 6人 9/26 8人 10/10 6人 10/24 6人 11/15 22人 11/28 8人 12/12 6人 1/9 8人 1/23 13人 特別編 10/20 6人	親子で一緒に運動や絵本、手遊び・工作等を楽しみ、幼児の様々な発達を促した。 児童館や図書館が休館となる月曜日に特別編を開催した。
	家族で体験教室	小学生 と保護者 家族8組	5/17 7人 5/31 7人 6/21 7人 7/19 6人	5/17 順天堂大学学生によるレクリエーション 5/31 トマト、バジル、パセリの栽培 6/21 化学実験 7/19 トマト、バジル、パセリを使った調理実習
青少年教育	こども体験講座	ジュニア防災 デイキャンプ 根郷地区 小中学生18人	7/29 6人	【第1部】 佐倉市八街市酒々井町消防組合による救命講習と消火器訓練 【第2部】 佐倉市栄養士による缶詰・乾物・菓子類を使った災害食調理 【第3部】 佐倉市危機管理課による災害避難を想定したカードゲーム
		絵手紙教室： 小学1年～6年 10人	7/23 6人	筆の持ち方、線の引き方を学んだ後に、半紙、ハガキに練習を行い、うちわへ絵とコトバを描く。 ハガキは夏休みの間、館内に掲示し、その後自宅へ郵送した。
		作文教室： 小学5年～ 中 学2年 20 人	7/24 6人 8/1 5人	1日目：本の選びかた、文章のまとめかたに関するアドバイス・講義。図書館司書によるおすすめ本の紹介。 2日目：希望の時間枠内で、持参した作文について、講師が個別指導。
		佐倉っ子塾 高速道路のお仕事 ＝ネクスコさんが やって来る 小学生 20人	8/5 9人	高速道路の保安業務について、講義のほか、動作体験や、使用車両の見学を実施。
		『オリジナルハーバリウムを作ってみよう ～ボトルアートの世界へようこそ～』 小学1年生～ 20人	8/26 18人	小中高校生からの申し込みが定員に達しなかったため、一般の参加も受け付けたことにより、机ごとに世代間交流を図りながら、ハーバリウムを作成。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育	根郷寿大学	60歳以上 80人	5/16 66人 6/20 68人 7/18 73人 9/19 73人 10/17 68人 11/21 70人 12/19 65人 1/16 67人 2/20 64人 3/13 67人	5/16 開講式 6/20 佐倉の先覚者 西村勝三 7/18 認知症予防 9/19 災害に備えて 10/17 ピアノ・チェロ・声楽鑑賞 11/21 民生委員とは 12/19 佐倉市70年の歩み 1/16 成年後見制度について 2/20 フ レイル予防と軽体操 3/13 班活 動発表 閉講式
	シニア向け健康づくり講座	成人 20人	10/8 25人 10/15 23人 10/22 21人 10/29 21人	1回の開催で、前半が講義、後半が実技という体系で健康（健幸）づくりに励んだ。
	春待つ園芸講座	成人 20人	11/12 26人	根郷小学校卒業式に校門前に飾ることを想定し、春に咲く草花をプランターに植栽。 また、持ち帰り用ミニプランターの植栽を行った。
	珈琲学入門講座 ～おいしさの方程式～	成人 10人	11/29 10人	珈琲の歴史、豆の違い、珈琲の器具等に関する講義とコーヒー抽出の体験。
	お気に入りの布を使ってオリジナル御朱印帳を作ろう ～心を込めて作る一冊～	中学生以上 10人	11/8 13人	御朱印だけではなく、日本100名城や鉄道のスタンプなど様々な用途で利用するため、他の参加者とも協力しながら作成。
	おとなのための寄せ植え体験講座	成人 20人	12/13 20人	講師による寄せ植えのデモンストレーションの後、実習を行った。
	佐倉学	成人 各50人	5/30 41人	「鎌倉時代から戦国時代にかけての中世の千葉氏」 講師：日暮 冬樹氏
			10/31 39人	「レイテ島で佐倉連隊の戦跡をたどる」 講師：内田 儀久氏
		成人 各20人	自然観察 4/17 20人	自然観察：JR佐倉駅から六崎地区を散策し、JR佐倉駅へ戻った。
			浅間神社 7/1 19人	浅間神社：鐺木浅間神社の祭礼見学後、さくら庭園、勝寿寺、松林寺、東福寺を巡った。
	佐倉学体験講座 「こんにゃく作り講座」	成人 15人	12/4 16人	こんにゃく芋から、こんにゃくを手作り調理する。 自グループの他、他グループの作ったこんにゃくも持ち帰ることにより、他グループの参加者との交流もできた。

領 域	事 業 名	対 象	期 間 ・ 回 数	内 容
団 体 育 成	根郷地区社会教育 関係団体への支援	根郷地区青少年 育成住民会議	すくすくまつり 10/26 400人	すくすくまつりにおける会場提供
		花の応援団	4/14 4人 4/28 6人 5/12 3人 6/9 4人 9/8 2人 10/6 5人 11/10 4人 12/8 4人	4/14 種まき、花壇等の除草 4/28 チューリップ球根掘り 5/12 マリーゴールド等植込み 6/9 花壇等除草 9/8 花壇等除草 10/6 花壇等除草、秋植え前整地 11/10 チューリップ植込み・除草 12/8 花壇整地・チューリップ植込み
	定期利用者懇談会	利用団体代表者	4/25 38団体	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺った。 また、グループ活動の意義の理解を深めた。
	調理室利用者懇談会	利用団体代表者	2/26 8名	公民館の活動について理解を深めて頂くとともに、利用団体からの意見、要望を伺う。衛生環境を徹底するため整理整頓作業を行う。
広 報	根郷公民館だより	根郷地区の 各世帯及び 事業所	4/15 6,500部 9/15 6,300部	公民館の主催事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。
図 書	図書の貸出・返却	幼児～成人	通年	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。

1. 家庭教育事業

みんなと遊ぼう ぽっぽちゃんくらぶ

① 開設趣旨 絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子遊び・体操などを通して、幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。

② 募集対象

令和4年4月2日～令和6年4月1日生まれの幼児とその保護者

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月 9日(金) 10:00～11:30	折り紙を使って	楽母楽子 廣田 和子
2	5月23日(金) 10:00～11:30	新聞紙を使って	
3	6月13日(金) 10:00～11:30	おうちの人にプレゼントを作ろう	
4	6月27日(金) 10:00～11:30	七夕 短冊にお願い事を書こう	
5	7月11日(金) 10:00～11:30	ボールを使って	
6	9月12日(金) 10:00～11:30	手形をとろう	
7	9月26日(金) 10:00～11:30	おもちゃを作ろう	
8	10月10日(金) 10:00～11:30	かけっこしよう	
9	10月24日(金) 10:00～11:30	自分のバッグを作ろう	
10	11月15日(土) 10:00～11:30	(家族参観日) ロケットを飛ばそう	

1 1	1 1月28日(金) 10:00～11:30	フープを使って チューリップを植えよう	楽母楽子 廣田 和子
1 2	1 2月12日(金) 10:00～11:30	ツリーに飾るものを作ろう	
1 3	1月 9日(金) 10:00～11:30	みんなで運動会	
1 4	1月23日(金) 10:00～11:30	お面を作ろう	

④ 講座を終えて

令和6年度から対象年齢を1～3歳として募集をしているが、今年度も思うほど人数が集まらず7組でのスタートとなった。しかし、家の都合で1組がキャンセルし、6組となった。

初めの頃は、個々の親子で活動することが多かったが、回数を重ねていくと、幼児だけで走り回ったり、道具を使って遊ぶようになっていった。さらに、2学年ということで、上の学年の幼児は、自覚しているのか、下の学年の幼児に対して「譲ってあげる」「持ってきてあげる」といった気遣いができるようになっていった。この講座のねらいとして掲げている「同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す」ことが出来たと思われる。また、保護者同士も回を重ねるごとにコミュニケーションが図れ、和気あいあいとした雰囲気で講座は進んでいった。

来年度は、開催曜日を児童センター等が休所の月曜日に移動する予定のため、集客がどの程度見込めるか、試しに特別編を月曜日に実施し、3組で行った。

アンケート結果をみると、講座の目的は、達成されていると回答された。自由記述欄に「毎回配布される こどもへの声掛けや心の持ち方などが書かれた用紙がためになった」といった家庭での教育を考えるきっかけづくりにもなったと思う。

講師は、こどもたちのありのままの姿を肯定する「自己肯定感」が大事と言うが、最近の講座を見ていると「机の上に乗る」「講師が読んでいる紙芝居を奪い取ろうとする」といった目に余る行動も保護者は注意をしない。どこまで注意をするか、すり合わせも含め、来年度に向け、講師と打ち合わせをしたい。

この講座は、佐倉市で根郷だけなので、細々でも良いので、長く続けたい。

みんなと遊ぼう ぼっぼちゃんくらぶ 特別編

① 開設趣旨 絵本の読み聞かせや簡単な工作、親子遊び・体操などを通して幼児の想像力や豊かな心を育み、同年齢の友達と触れ合うことで幼児期の人格形成を促す。また、参加者同士の交流を図り、地域における仲間づくりの機会を提供する。来年度 開催する場合は、月曜日に移行することから、月曜日に実施し、受講者がどのくらい集まるかプレ開催する。

② 募集対象

令和4年4月2日～令和6年4月1日生まれの幼児とその保護者

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月20日(月) 10:00～11:30	風船ロケットを作って飛ばそう	楽母楽子 廣田 和子

④ 講座を終えて

通常行っている講座の特別編として、月曜日に実施した。これまで月曜日に実施したことがなかったため、参加者数が見通せなく、結局3組の参加となった。

月曜日のサークルの影響とならぬよう空いている部屋を使い行った。

いつも通り朝の挨拶から始まった。この日は、風船ロケットを作って飛ばした。紙コップに切り込みと穴を開け、風船を通してから、風船を膨らませ、手を離すと「ビュー」と飛んで行った。参加の幼児は、皆喜んで何回も繰り返していた。「特別編」ということで、最後に館長から、手作りした工作キットがお土産として配られると、さらに喜んでいた。

アンケートを見ると、全員が満足と答え、「明るい雰囲気楽しい」

「こどもが楽しんで参加できました」「色々な工夫がされていてとても楽しめました」との声をいただきました。月曜日開催も高評価だったため、さらに内容を精査し喜ばれる講座にしていきたいと思う。

家族で体験教室

① 開設趣旨 最近では、インターネットの普及により個々で活動することが増えている。そこで、この講座では、家族の絆を深めるとともに、こどもの自主性や創造力を育む。また、他の受講者ともコミュニケーションを図ることで協調性を育むことを目的とする。

② 募集対象 小学4年生～6年生と保護者 8組

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月17日(土) 9:30～11:30	レクリエーション	順天堂大学 松山 毅
2	5月31日(土) 9:30～11:30	袋を使った野菜栽培	日本ハンギングバスケット協会 高橋 洋子
3	6月21日(土) 9:30～11:30	吸熱反応を体験する～吸熱反応と応用した実験を体験しよう。	成田西中学校 宮本 利之
4	7月19日(土) 9:30～11:30	調理 ・パセリ焼きおにぎり ・バジル入り手作りソーセージ ・ピーラーサラダ	栄養士 内田 順子

④ 講座を終えて

一部講座の内容を変えたうえで、昨年度からと同様の連続講座を実施した。定員を8組として、募集をかけたが、4組9人と応募が伸びず、最終的に身体不調によって、全講座欠席の家族も出てしまった

1 回目は昨年度のボッチャ単独の講座ではなく、他のレクリエーションスポーツを組み合わせるようにした。講師以外に大学生にアシスト参加していただいたが、さまざまな形で参加者とアシスト大学生との交流が生まれるとともに、簡単な動作を基本としたレクリエーションスポーツだったため、こどもたちの動きも良くリラックスして楽しんでいた。昨年と同様にボッチャは和やかな雰囲気の中ゲームがおこなわれた。

2 回目の袋を使う野菜栽培講座は、販売されている土壌を販売時の袋を鉢代わりにしたり、クーラー袋を土壌容器として野菜を栽培し、昨年度同様にその収穫を4 回目の調理実習に使用するものであった。簡易な作業で植物栽培用容器が出来て、持ち運びも便利のため、こども向けとしては良い仕様になった。

3 回目の実験は、「吸熱反応を体験する～吸熱反応と応用した実験を体験しよう。」というもので、まず簡単な吸熱反応に関する講義をおこない、その後炭酸水素ナトリウムとクエン酸を混ぜて熱が吸収される様を実験にて体験した。次いで、その吸熱反応を利用したラムネ作りに挑戦し、化学変化で作られたラムネを皆で楽しんだ。

4 回目は、育てた野菜を持ち寄り、「パセリ焼きおにぎり」「バジル入り手作りソーセージ」「ピーラーサラダ」の3 品を講師と食育推進委員2 名の指導アシストを得て、調理完成させることが出来た。試食結果も好評であり、家庭でもこの料理を再び作ると、各家族は意気込んで残された材料を持ち帰っていた。

アンケートの結果をみると、小学生全員が「楽しかった」、保護者のほとんどが「事業の目的が達成されている」と答え、期待通りの成果が得られたと思う。事業内容としては、期待どおりの成果が得られたと思われるが、母体数が少ないこども中心の事業は、参加者の募り方に課題があると思われる。

2. 青少年教育事業

夏休み子ども体験講座 根郷公民館 ジュニア防災デイキャンプ

- ① 開設趣旨 将来必ずやってくる災害について、正しく恐れて備え、対応できる力を身につけられるよう、青少年を対象として、将来にわたる地域社会の防災力向上を目的に、災害を想定した体験に取り組む。
- ② 募集対象 小学4年生～中学3年生 18人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月29日(火) 9:30～15:30	災害時対応訓練 防災食の調理と試食防災食作り 防災カードゲーム クロスロード	佐倉消防署消防士 母子保健課栄養士 危機管理課 佐倉市ジュニアリーダーズクラブ

④ 講座を終えて

コロナ禍以前に実施されていた防災キャンプを、令和3年度より日帰りに変更して、4回目の開催となった。内容は3部構成を継続し、①第1部：救命講習、②第2部：防災食の調理実習、③第3部：クロスロード（防災ゲーム）をおこなった。

○第1部：救命講習として、心肺蘇生法と消火器の扱い方について、消防士から講義に実演を交えて指導いただいた。昨年度までは座学が主であったが、出来るだけ体を使った実践的なプログラムをお願いした。参加者が少なかったこともあり、それぞれの動きを指導していただくことが出来た。心肺蘇生術は公民館ホール、消火器訓練は公民館駐車場でおこなう予定であった。しかし、当日は天候が良く、気温がかなり上昇したので、消火器訓練は消火器を取り扱う実演のみ公民館駐車場でおこない、詳細な説明は、公民館ホールにておこなった。

○第2部：昨年度に引き続き、佐倉市栄養士に依頼して、講義・実習をおこなった。まずは、災害時に想定される食生活上のアドバイスと衛生管理について説明を受けた。手洗いについては、実際に手洗いをしてもらった後、手洗いチェッカーによって、手の汚れの落ち具合を確認してもらい、各自の直すべき手洗いの至らないところを直してもらった。続いて、非常時を想定した調理をおこなってもらった。缶詰・乾物・菓子類の食材によるレシピや、耐熱ビニール袋を用いた湯せんなど、避難生活で実践できる提案を紹介していただいた。主食には、危機管理課から提供されたアルファ米を使用した。

○第3部：昨年同様、危機管理課職員による災害避難を想定したカードゲーム「クロスロード」をおこなった。参加者の年齢が低めであったためか、参加者よりもゲームマスターの活躍が目立っていた。「クロスロード」というゲーム自体が、その勝敗を楽しむものではなく、ゲームの過程における議論を楽しむものであったため、小学生4年生が多かった今年に関しては、やや盛り上がりには欠けたように思われた。

3部全体とも講師陣には多大なご尽力をいただいた。青少年の育成を通して、将来にわたる地域の防災力向上をはかる面では、実施・継続の意義は大きい。だが、参加者が少ない点は課題である。

子ども体験講座「ヘタでいい ヘタがいい 絵とことばで想いを伝えよう！ こども絵手紙講座」

① 開設趣旨 LINEスタンプではなく、自由に絵を描き言葉を添えることで、自分の思いを表現する力を養う。また、大切な人に送ることでコミュニケーションの大切さを感じ、自分の気持ちを形にする経験を通して創造力や表現力を養うことを目的とする。

① 募集対象 小学1～6年生 10人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月23日（水） 9：30～12：00	・絵手紙の書き方を習得する。 ・自分で表現する力をつける。	日本絵手紙協会 後藤 美世子 氏

④ 講座を終えて

「今年度のテーマは、何にしよう」と考えていた時、利用者から「良い講師が居るから話を聞いてください」と言われ、打ち合わせをすると、ちょうど講座に最適と思い、初めて実施を決めた。

しかし、募集の際、児童に直接紙を渡せないのがネックで、中々受講者が集まらなかった。デジタルトランスフォーメーションがもてはやされているが、それでは、その場で情報は伝わるが時間が経つと情報が残らないので、やはり「紙が一番だ」と思った。

講座は、タイトルの「ヘタでいい ヘタがいい」の言葉の意味から解説が始まった。絵手紙の創始者小池邦夫氏が上手下手に関わらず「自分の気持ちを素直に表現することが大切」と絵手紙を普及させた。

次に、筆の持ち方・線の書き方・円の書き方と進んで行だったが「ん？ みな上手過ぎる！ どこかでやったことある？」聞くと、ほぼ初心者のもようであった。大人と異なり、素直な小学生は物事を早く取得できるようであった。

1回目は、半紙に。2回目は、はがきに練習してから、いよいよ本番のうちに、それぞれ想い想いの絵を描き、ことばを添えた。

アンケート結果を見るとほぼ全員が「楽しかった」「次回も参加したい」と答えた。

昨年までの「公民館利用サークルが講師」というものではないが、アシスタントが公民館利用者ということで「地域に還元」という公民館の目的は保たれていることから、来年度も継続してみたい。夏休み期間中に、館内で作品展示も行った。

夏休み子ども体験講座 作文教室

① 開設趣旨 読書感想文や作文の課題に取り組むことを想定した学習をとおして、考える力・表現力を養い、文章の読み書きへの対応力を身につける。

② 募集対象 小学5年生～中学2年生 20人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	令和7年7月24日（木） 13：30～15：30	本の選びかた、文章のまとめかたに関するアドバイス・講義。図書館司書の推薦図書紹介。参加者は、次回まで各自課題に選んだ作文に取り組む。	元中学校国語教諭 岡本 万里子

2	〃 8月 1日(木) 10:00～11:30 13:00～14:30 14:30～16:00 (いずれかを選択)	希望の時間枠内で、参加者が持参した作文について個別指導	
---	--	-----------------------------	--

④ 講座を終えて

本講座は、継続して3回目の開催となった。前2回の状況を見た講師の提案で、読書感想文に限らず、作文全般を取り上げる講座としたが、参加者全員が読書感想文を選択し、実施内容は例年同様、読書感想文の指導となった。

参加動機は家族からのすすめが大半のようだったが、自分なりに主体性をもって参加する姿勢が見られ、ほとんどが講座終了までに仕上げており、企画で意図した夏休みの宿題支援は、参加者全体では概ね達成することができた。

一方で出席者数の減少が著しく、講師から今後の実施について検討の声があった。図書紹介も、職員個人の厚意によるところが大きい。今後は講座を担当する関係者の負担や必要な経費と講座から得られる成果を比較して、その継続の有無を考えるべきであろう。

夏休み子ども体験講座 佐倉っ子塾 高速道路のお仕事＝ネクスコさんがやってくる

① 開設趣旨 身近な生活基盤を支える仕事果たす役割について理解を深め、社会に貢献する人々への敬意を醸成する。

② 募集対象 小学生 20人

③ プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	令和7年8月5日(火) 10:00～12:00	高速道路の保安業務について、講義のほか、動作体験や、使用車両の見学をととして学習する。	東日本高速道路(株) 関東支社 千葉管理事務所

④ 講座を終えて

本講座は、夏休みに青少年が職業と地域に親しむ講座として、佐倉ICに着目して企画した。依頼の結果、東日本高速道路(株)千葉管理事務所の事業活動理念に合致することが認められ、開催に至った。千葉管理事務所も、管内施設・学校外では初めての試みとのことである。同所副所長および総務課長が担当され、所内・関連会社との調整に当たってくださった。

講師役は、千葉管理事務所・関連会社3社の計4社から派遣いただいた。同社資料・機材モデル・実物備品・パトロール車・トラックを用いて、物流を支える事業の説明のほか、安全と快適の維持に欠かせない作業に関わる動作体験や車両見学を行った。

各ご担当の持ち時間は30分程度ながら、24時間365日の業務を笑顔で語り、子どもへ向き合う姿勢に、感銘を受けた。新品の旗や、当初困難とされたトラックに加えて、新車のパトロール車には「夏休み子ども教室」の電光掲示をご用意いただいた。夏季繁忙期中のご協力と、温かいお心遣いに、深く感謝申し上げます。

手厚いご対応をいただいただけに、定員割れと欠席で参加者が少数となり、手放しで事業の教育意義が達成されたとは言いがたい点が残念だった。

夏休み子ども体験講座 オリジナルハーバリウムを作ってみよう

～ボトルアートの世界へようこそ～

① 開設趣旨 自然の素材を使って作品を制作することにより、生態系や植物の成長について学ぶ機会を与える。また、個々の作品を作ることで、受講生の感性や創造力を育むことを目的とする。

② 募集対象 小学生 20人（定員に満たない場合は、大人も可）

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月26日（火） 10:00～12:00	ハーバリウム作り	JHA認定講師 大石 真知子

④ 講座を終えて

今年で2回目の講座。公共施設でのポスター掲示と、LINEによるアナウンスで募集を行った。また、夏休みの主催事業の際にもチラシを配布した。結果、19人の応募があった。

当日は、2人の欠席と1人の飛び入りで18人となった。

講座は、初めに講師からハーバリウムとは、と説明があり、その後製作。瓶を選んだり、入れる花を選んだり。受講者は初め迷ったり、やり直しをしたりしていたが、やっと花を入れ終えオイルを入れると、満足のいく作品に仕上がった。受講者の中にリピーターが2～3人おり、「去年は、こんな風だったから違う感じにする」大人の受講者は「海の中の雰囲気」など家で構想を練ってきた方もいて意欲を感じられた。

今回「定員に達しなければ大人も可」とし、結果、3人の応募があった。講座中は、世代を越え会話が弾み、和気あいあいの良い雰囲気となり、講師に積極的に質問をしていた。

アンケートをみると、ほぼ全員が「とても楽しかった」と答え、「来年もやるんですね」という声も多数上がった。「住民のニーズ」ととらえ、来年度も可能であれば「小学生と大人」のスタイルで実施していきたいと考えている。

今年度、事例発表のテーマであることから公民館運営審議委員の見学があった。

3. 成人教育事業

根郷寿大学

- ① 開設趣旨 年齢を重ねた地域住民に対し、地域に愛着を持ち、他者とかかわりながら、健康で心豊かな生活を送ることを目的に、健康、歴史・文化、時事問題などに関する学習をととして、受講者が交流を深める機会を提供する。
- ② 募集対象 60歳以上市民 80人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月16日（金） 10:00～12:00	開講式・オリエンテーション 校歌練習・班長等の選出	公民館利用サークル 「シニアコーラス根郷」
2	6月20日（金） 9:20～12:00	佐倉の郷土の先覚者 西村勝三	元根郷小学校長 諸根 彦之
3	7月18日（金） 9:20～12:00	認知症について考える	みつば脳神経クリニック院長 大木剛
4	9月19日（金） 9:20～12:00	災害に備えて ～普段からできること～	佐倉市八街市酒々井町消防組合 佐倉消防署神戸出張所 危機管理課 防災班
5	10月17日（金） 9:20～12:00	音楽鑑賞	公民館利用サークル 「音楽の森」
6	11月21日（金） 9:20～12:00	民生委員とは？	佐倉市民生委員児童委員協議会 会長 小林眞智子
7	12月19日（金） 9:20～12:00	佐倉市70年の歩み	佐倉市 市史編さん委員 内田 儀久
8	1月16日（金） 9:20～12:00	今から知っておく 成年後見制度について	佐倉市社会福祉協議会 中村 圭紀 兼子 知世
9	2月20日（金） 9:20～12:00	健やかな毎日のために フレイル予防と軽体操	高齢者福祉課 岩本 絵己
10	3月13日（金） 9:20～11:30	班活動発表 閉講式	

④ 講座を終えて

今年度は、班ごとにまとまって座る、毎回座席位置を変えることを試みた。班内でのコミュニケーションの促進と、受講環境の偏り解消を目的としたものである。

班での話し合いなど、講師にも座席状況を活用いただき、聴講だけによらない講座内容の充実をはかることができた。一方で、私語が増えて講座開始・講義再開に時間がかかる、前方・後方で見づらい位置の回は集中できない様子が見られた。

次年度は、定員・講座時間・回数等変更して、すでに募集している。公開講座、バスを利用した課外学習、4月開講など、受講満足度・実施意義の向上への取り組み案は、次年度以降に託したい。

シニアの向け健康づくり講座

- ① 開設趣旨 生活習慣病の予防や、日常生活の中で簡単にできる運動を学び、シニア世

代になっても健康で日々暮らせるようにする。

① 募集対象 成人 20人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月8日（水） 10：00～11：30	柔軟、筋トレ、有酸素、バランス運動の4つの運動を中心に学ぶ	AFAA認定 インストラクター 森 たか子
2	10月15日（水） 10：00～11：30		
3	10月22日（水） 10：00～11：30		
4	10月29日（水） 10：00～11：30		

③ 講座を終えて

本年度の健康づくり講座も例年通り、定員20名、4回の講座として募集を行った。28人の申し込みがあり、キャンセルや途中リタイアを見込んで、全員の参加を認めることにした。1名が仕事の都合上キャンセルとなり、2名が体力的に途中リタイアとなった。

第1回目にヘルスチェックアンケート実施し、講師が綿密に受講者の健康状態をチェックした。

前半の講義では、「～つくってみよう！やってみよう！健康（健幸）づくりの自分モデル～」をテーマに、健康づくりの3本柱、有酸素運動・筋力運動・柔軟運動・バランス運動、アクティビティ（身体活動）＋コミュニケーション（認知活動）の関係、1日30分以上体を動かすメニューを学んだ。休憩をはさんで、実技に入った。最初は、ストレッチと柔軟体操を行い、椅子を使って筋力運動・バランス運動・有酸素運動をして、最後にマットを引いて整理体操を行った。足を吊った男性参加者もいたが、大きな問題はおこらなかった。

第2回目の前半講義では、認知症の予防効果として「有酸素運動と筋力運動」、脳が幸せを感じるホルモンについて学んだ。後半の実技では、柔軟体操の後、椅子を使ったバランス運動、椅子無しの有酸素運動を行った。全員積極的に取り組む姿勢がうかがえた。今回も足を吊った男性参加者がいたが、すぐにもとに戻っていた。

第3回目の前半講義では、呼吸法について、防衛体力を高める呼吸法が効果的ということで、横隔膜、助間筋、腹横筋を意識した呼吸法の説明がなされた。講義の中で、講師の呼吸の動画を使って、わかりやすい講義となった。後半の実技では、最初から椅子を使わずに、ストレッチの段階から呼吸法を取り入れ、ヨガの筋力運動・バランス運動等有酸素運動を促す体操が重点的に行われた。

第4回の前半の講義は、今まで3回の要点を復習し、音読の効用について、講義があった。脳の記憶や学習、感情を司る「前頭前野」を鍛える効用があるとの講義であった。その後、今までの復習の実技を行い、最後に片足立ちでのバランス運動を行い、最初の講義と比べて効果が出ているか確認も行われた。

アンケートでは、アンケート総数21名のうち、講座に満足した人17名、やや満足した人4名であり、運動をする意欲が高まった16名、少し高まった5名との高評価を得ており、講座を受け運動を継続しようと受講者の機運が高まったと考えられる。また、こうした講座の継続を希望する人やもっと多く開催も望まれていた。

春待つ園芸講座

① 開設趣旨 地域連携事業として、佐倉ハーブ園協力のもと、3月中旬に開花する草花によるプランターの植栽を実習する。根郷小学校卒業式・入学式の日程に合わせて開花した場合は、式の運営に配慮のうえで、校門前へ提供する。

① 募集対象 成人 25人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	令和7年11月12日(水) 9:30～11:30	地域事業者の協力のもと、園芸ボランティアが掘り取りしたチューリップの球根を活用して春に咲く植物をプランターに寄せ植えする。	(株)常磐植物化学研究所 増尾 栄一

③ 講座を終えて

本講座は、佐倉ハーブ園のご協力のもと実施してきた継続事業である。今年度は内容を新たに、実習成果を地域に還元することを目指して開催した。

根郷小校門前に飾るプランターに加えて実習した小プランターの植込みは、講師の提案・提供によるものである。参加者と公民館がそれぞれの場所で、ともに見守って春を待つ講座となった。講師には、本事業にご賛同いただき、自家製の竹炭の用意など、大変熱心にご指導くださった。さくら分校のご協力により、ミニ看板を設置できる用意ができた。受講生からプランターに関心を寄せる声も聞かれたことから、待つ間の手入りを協力しておこなう取り組みを取り入れるなど工夫しながら、地域連携事業として、継続できることが望ましいと考える。

珈琲学入門講座 ～おいしさの方程式～

① 開設趣旨 市民の方は、毎日忙しい日々を送っているが、今日だけは日常を忘れ、珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や、抽出技術などを学び、珈琲の持つ魅力を再発見し、至福の一杯に出会う機会とする。

② 募集対象 成人 10人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月29日（土） 9:30～12:00	珈琲の基礎知識や文化と歴史、珈琲豆の選び方や、抽出技術を学ぶ	珈琲焙煎士 坂井 稔

④ 講座を終えて

講座は、ドリルを使い、珈琲の歴史、豆の違い、珈琲の器具の説明があった。ドリップ式・サイフォン・コーヒーマーカーそれぞれ違いがある。

ドリップ式には、さらに穴の数により、抽出時間の違いがあり、3穴は、早く抽出できるので、スッキリした、1穴は、3倍の時間をかけるので、コク深い作品に仕上げるができる。

サイフォンは、アルコールランプで、温めながら抽出することで、豆の個性がさらに際立ち、より温かい物を提供できるそうだ。コーヒーマーカーは、会社やファミリーレストラン等大量に抽出するのに向いていて、味は・・・。

次に、講師がドリップ式の、デモンストレーションを行った。「エグ味・雑味・灰汁を浮かせて美味しい所だけ落とすんですよ！」受講者は、「至福の一杯に仕上げる」という意気込みで、真剣に講師の動作を見ていた。

いよいよ、自分が店主となり、抽出が始まった。早速「あっ！」という焦ったような声が

あちこちで……。すると、講師が「気にせず続けてください」と。1回目が終わりと、周りの方たちと飲み比べをしたが、「うーん」という表情。

次に備え、お湯を沸かしている間に、抽出のポイントの話があった。ブラジル、モカ、ベトナムと、都合4回抽出した。抽出の間に、講師が、器具（サイフォンとマキネッタ）を変え抽出した物を受講者に配り、「器具によっても、こんなに味が違うんですよ」と。

4回抽出終わるころには、それぞれ「至福の一杯」に出会えたようだった。アンケートの結果を見ると、ほぼ全員が、「満足、学ぶ意欲が高まった」と答えた。「家で淹れたい」という意見もあった。

今年度 かなりの人が抽選に外れたので、来年度の講座について、講師と打ち合わせをし、やり方を検討していきたい。

おとなのための寄せ植え体験講座

① 開設趣旨 寄せ植え体験をすることで、自然とのふれあい、土とのふれあいを楽しんでもらうことを目的とする。生活中に緑を取り入れるとともに、育てた寄せ植えが地域住民の目に留まることにより、きれいなまちづくりの一助とすることもねらいとしている。

① 募集対象 成人 20人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月13日（土） 10:00～12:00	お正月を迎えるための寄せ植えを学ぶ	花の教室 四季の風 高橋 洋子

③ 講座を終えて

コロナ後再開して、今年度で3年目となる「おとなのための寄せ植え体験講座」。今回も花の教室 四季の風 高橋氏を講師に迎えて開催した。

最初に講師によるデモンストレーションがあった。ビオラ・シクラメン・葉ぼたん等9種類の花や球根を植えた。「花によって植える深さが違う」「根っこはきれいに掃除してから植えて」等 花それぞれの注意点の話があった。

いよいよ寄せ植えを行っていく。少し深めの鉢に球根を植え、その上に土をかぶせてお花を植えていく。受講者は「こんな風に植えたことはなかった」「こんなにたくさんの種類を同じ鉢に植えたことがなかった」と言っていた。

始まる前に「先に進まないで」と注意したが、やはり自己流で進めてしまう方が居たが大事には至らず、参加者はそろってきれいに完成させることができた。

最後に、受講者からの質問への回答と色々なアドバイスを講師が行った。その中で「失敗して学んでください」という話があった。マスターするには、何年かかるものだった。

講座後のアンケートでは、参加者すべての方から、「満足」と回答をいただいた。また、「回数を増やしてほしい」との声が多数あった。

毎回この講座は人気があり、今回も抽選となっている。ただ、初心者でみると、定員を割っているの、来年度の実施については、協議しても良いと思う。

すてきな布を使ってあなた好みの御朱印帳を作ろう

① 開設趣旨 伝統的な技法とオリジナルのアイディアを組み合わせた御朱印帳。日本人

の伝統文化に思いはせながら、オリジナル御朱印帳を作り、そこに新しく訪れる土地の印やスタンプを押すことで知らない文化に触れることを目的とする。

② 募集対象 中学生以上 10人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 8日（土） 9：30～12：00	すてきな布を使ってあなた好みの御朱印帳を作ろう	製本教室認定講師 岩宮 しげみ

① 講座を終えて

定員10人の募集をしたところ、14名の応募があった。参加できない応募者を出さなければいけない状態であったが、小那木理氏と松田富美子氏が講座のお手伝いをしてくださることになり、その結果参加人数を増やして、13名の参加者でおこなうことが出来るようになった。

13名の参加者を3人グループ3つ、4人グループ1つに分けた。講座が始まる前に、布を持参できなかった参加者の布を講師が用意して、各自が持ってきた布にアイロンを掛けて始まる準備をおこなった。

まず、裁断紙を布に貼る作業を、グループごとに協力しながらおこなった。次に本文となる紙を2つ折りにし、蛇腹になるようにのり付けした。この作業は単純作業ではあるが、結構のり付けの仕方を間違える人が多くいた。一通りの説明の後で、各自作業をおこなったが、説明を受けながら、ひとつひとつの作業を全員でおこなうような形が良かったかもしれない。そして、表裏表紙に布を貼り付けて、それを本文用紙とまっすぐに貼り合わせて完成させた。

真剣ながらも雰囲気の良い中で作業は進み、最後に参加者全員で集合写真を写して講座を終了した。アンケートを見ると、ほぼ全員が満足し、目的が達成されていると回答していた。御朱印帳作りをはじめとして、体験型の講座を希望する人が多数いた。

佐倉学入門講座 「鎌倉時代から戦国時代にかけての千葉氏 ～その頃の根郷地区～」

① 開設趣旨 根郷の歴史について学び、郷土への関心を持つきっかけづくりとする。

② 募集対象 成人 50人

③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	5月30日（金） 10：00～12：00	- 千葉氏前史 - 公地公民制が崩れ、荘園公領制が成立していく過程 - 南北朝から室町時代の千葉氏 - 戦国時代の千葉氏 - 根郷の遺跡について	日暮 冬樹 （根郷公民館）

④ 講座を終えて

「根郷の歴史について学び、郷土への関心を持つきっかけづくりに」と企画した。講義は、千葉氏前史から始まり、公地公民制が崩れ、荘園公領制が成立していく過程へと続いた。後半には、根郷の遺跡についても触れ、「これは、解説を詳しく聞きたい」という声もあった。たくさんの資料をご用意くださり、詳しく解説していただいたが、「文字が小さくて見えない」「古文書にはルビを振ってほしい」等 資料に関する意見が多数寄せられた。

アンケート結果を見ても、上記の理由から「満足度」の欄が「未記入」の方が多数居た。

講義について、全て講師任せにせず、担当者の思いを伝え、打ち合わせを密にし、内容に反映させていくべきだった。

ちば電子申請サービスでの申し込みが始まって3年目になる。応募者71人に対し、55人が利用し、利用率は、77.4%。昨年の63.8%より数字だけだが、だいぶ普及してきたように感じる。しかし、デジタルトランスフォーメーションを推進している以上、全員が使えるようにPRも継続していきたい。

佐倉学のテーマは、まだまだあるので、継続して実施して行きたいと思う。

佐倉学入門講座「レイテ島で佐倉連隊の戦跡をたどる」

① 開設趣旨 佐倉にゆかりの歩兵第57連隊が、第2次世界大戦において、フィリピンレイテ島にて繰り広げた戦いと戦後の慰霊について、レイテ島に実際おもむいた体験をもとに語っていただき、佐倉の近代史に理解を深める。

② 募集対象 成人 50人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月31日（金） 10:00～12:00	佐倉にゆかりのある歩兵第57連隊のフィリピンレイテ島に残る慰霊碑をとおして、レイテ島における戦争の実態にふれて、戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ。	内田 儀久（市史編さん委員）

③ 講座を終えて

戦後80周年をむかえた今年令和7年という契機に、佐倉における戦争と平和を考えるために、内田儀久氏が平成25年にレイテ島に尋ねた歩兵第57連隊が所属した第1師団の戦友・遺族が戦跡につくった慰霊碑を写真で紹介された（激戦地リモン・撤退先の集合地マハンラグ＝カンギポット山麓・降伏停戦式がおこなわれたセブ島のイリハン）。レイテ関連の慰霊碑は、自然災害や継承者の高齢化により、なくなってしまったものが多く、当時を知ることが出来る貴重な写真と訪問体験であった。

また、平成12年度から15年度にかけて、内田儀久氏は佐倉市史編さん事業として佐倉連隊関係者を訪ねて体験談を聞き取ったなかで、レイテ戦体験者である長嶺秀雄氏（元歩兵第57連隊第2大隊長）、松戸義男氏（元歩兵第57連隊第2大隊第2機関銃中隊所属）、山下伸一氏（元歩兵第57連隊第2大隊第6中隊所属）らがいらっしゃった。その時の話も加えて、レイテ島における日本軍全体の戦いではなく、佐倉にゆかりのある歩兵第57連隊を主としたレイテ島における戦いが説明され、当時の人々の想いや戦争の悲惨さが紹介された。

アンケート結果を見ると、ほぼ全員が「講座に満足し、目的が達成されている」と回答している。継続開催や、別のテーマでも開催を望む声があることから、来年度もテーマを精査し、継続していきたいと思う。

今回講師の声が聞き取りづらいという声が少なかった。もう少しマイクのボリュームの調整などの工夫が必要であった。

佐倉学入門講座 根郷ふるさと探訪

① 開設趣旨 根郷地区を散策しながら、野草・古木等を観察し、自然について関心を深める。また、郷土の歴史・文化・自然を学び、郷土愛を高めるとともに、地域を見直す機会を提供する。

① 募集対象 成人 春の野草観察会 15人
鍋木浅間神社 20人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	4月17日（木） 9：30～12：30	季節の変化を感じよう！ 春の自然観察会	佐倉野草会 近藤 維久子
2	7月 1日（火） 9：30～12：00	佐倉の歴史と信仰を歩く 鐺木浅間神社等を訪ねて	菊地 昭夫

③ 講座を終えて

両日とも、天候に恵まれた。

〈自然観察会〉

出発すると、軌道沿いに帰化植物「鉄道草」が繁茂している。これは、鉄道の車輪に付いた草が風で飛び、軌道沿いで生育するそうで、南房総に生息する草もあるそうだ。

六崎の畦道へ移動すると、皆がよく知っている たんぽぽ・ヨモギ・ナズナ・コハコベなど、次々に解説が続いた。

毎年講師から、「観察会は五感で感じて」と言われ、食べられる物は味を確かめながら、食べられない物は、匂いを感じながら講義が進んだ。講師の軽快な話術と野草などに対する熱い思いが受講者を野草の世界へ誘っていった。

最後に講師から、「自然、いつも通りが一番なのです。 だから、他から持ってきて、勝手に植えるのは、絶対止めてください」と、自然を愛する一言で締めくくられた。

〈浅間神社等を訪ねて〉

何十年も前から行われている浅間神社の祭礼。地区は違うが興味があったので、企画することにした。祭礼の見学だけでなく、折角の機会なので、佐倉地区の寺社も巡った。

浅間神社は、「浅間神社世話人」の内田氏からお話をいただいた。7月1日は、富士山の山開き。そして、富士山の神様である、木花咲耶姫命（このはなさくやひめ）をお祀りした浅間神社の祭礼日。佐倉には、鐺木と大佐倉に浅間神社が鎮座しており、両社で祭礼を行っている。昔から、こどもの無病息災を祈る浅間神社には、数えて7歳までのこどもと家族がお詣りする習わしがある。とのことから、家族でお詣りする姿が多数あった。次に神社に掲げられている2本の「のぼり旗」についての解説があった。①有霊宵宵冥冥（ゆうれいしょうしょうめいめい）「世の中がだんだん暗くなっているが、そんな中でも正しいことをする人がいる」という意味。②至貞細巻縋馨馨（していいんけんけいけい）「正しい行いが長く続くと、その名声評判が遠くにまでおよび、世の中が明るく盛んになる」という意味だそうだ。

浅間神社を後にし、堀田家や土井利勝等にゆかりのある、さくら庭園 勝寿寺 松林寺 地域交流館等を巡り、それぞれ解説があった。

〈両講座〉

アンケートの結果を見ると、満足度は高く、約8割の受講者が、講座の目的が達成され、学ぶ意欲が高まったと回答している。

ただ、当日は、始める前からかなりの高温。今回は、ケガ等も無く無事解散できたが、暑い季節なので、座学にするか、季節を変えて歩くか、来年度に向け検討していきたいと思う。

佐倉学体験講座 根郷産こんにゃく芋を使った こんにゃく作り講座

① 開設趣旨 地域の産物として江戸時代の文献に記録が残る こんにゃくを手作りする体験をとおして、地域住民の親睦と地域への愛着を育む機会とする。

① 募集対象 成人 16人

② プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	令和7年12月4日(木) 9：30～12：00	近隣地域で栽培収穫されたこんにゃく芋を使い、地域講師の協力のもと、こんにゃくを手作りする	牛玖 昌弘

③ 講座を終えて

材料の粘り気でミキサー作業の進捗が悪く、ミキサーを追加しても時間がかかり、最も作業が遅れた班は予定時間を20分程度越えて実習を終えた。全ての班で生地内部の凝固が弱く、ひと班は茹でる間にゼリー状に戻って固まらず、他班と完成品を分け合うことができなかった。直接指導を仰ぐ必要のある場面が集中してしまいがちとなり、講師の負担の大きさが見て取れた。

参加希望が多いため、選考にあたっては過去の受講歴を参考にしているが、アンケートによると、他館などで経験のある人が大半で、必ずしも初心者に広く機会を提供できているわけではないと分かった。今回の経験者で見られたところでは、自身の知見で作業しようとする、個人の満足の範囲にとどまって学習環境継続への関心が低いなどの課題が感じられた。

4. 団体育成事業

根郷地区社会教育関係団体への支援

根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化し、それに伴う諸問題は複雑かつ深刻化する傾向にあるようだ。こうした問題の解決のため、市民一人一人が問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協働して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、こども会育成会連絡協議会、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市こども支援部こども政策課が行っている。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉の充実を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。主な活動としては、地域行事の企画・運営、各種団体への助成などを行っている。

花の応援団

地域住民によるボランティア団体と連携して、学習環境の維持・向上のため、公民館の花壇・植栽の手入れをおこなう。園芸を通じた仲間づくりや生きがいの醸成、会員どうしの交流促進をはかりながら、概ね月1回活動してきた。

会員の減少や加齢による体調の都合により、今年度12月で活動を終了した。

実施日	人数	実施日	人数
4月14日(月)	4	10月6日(月)	5
4月28日(月)	6	11月10日(月)	4
5月12日(月)	3	12月8日(月)	4
6月9日(月)	4	活動終了	
7月14日(月)	4		
8月休み	0	※3月9日(月)	2
9月8日(月)	2	計	34

※3月は園芸活動継続の申し出があった元会員の一部と活動

定期利用者懇談会

- ① 開設趣旨 公民館を定期的に利用している定期利用団体に対し、公民館の利用方法を周知し、公民館活動についての理解を深める機会の提供。利用団体から意見や要望も伺い、館の運営に反映する。
- ② 対象 定期利用団体代表者 76団体（出席 38団体 欠席 38団体）
※欠席団体には、書類を配布
- ③ 日時 4月25日（金）午前10時～午前11時

調理室利用者懇談会

- ① 開催趣旨 食器・調理器具を保管する場所の清掃および整理整頓を行い、衛生環境を保つ。あわせて意見交換を行い、衛生的かつ安全な利用環境の維持・向上をはかる。
- ② 対象 利用団体代表 5 団体
- ③ 開催日時 令和 8 年 2 月 2 6 日 (木) 午前 1 0 ～ 1 1 時

5. 広報事業

根郷公民館だより

- 趣旨 公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。
- 発行回数 年2回（177号 4月15日刊行、178号 9月15日刊行）
- 発行部数 177号：6,500部 178号：6,300部
- 配布方法 各公民館・図書館の窓口配架。根郷地区内に新聞折込み

6. 図書事業

図書の貸出・返却

- 趣旨 読書活動を支援すると共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図った。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の利便を図った。また、佐倉市関連資料や根郷地区関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行った。
- 蔵書数 約3千冊
- 月別貸出冊数・返却冊数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数 (冊)	169	144	151	168	175	114	108	124	120	106	93	100	1,572
返却数 (冊)	261	310	263	318	292	290	212	256	211	242	208	262	3,125

志津公民館

志津地区の概要

志津地区は、佐倉市の行政区域の西部に位置し、昭和29年の町村合併により成立した旧志津村の行政区域を基礎としている。

なお、宅地開発等により地域人口が年々増加し、令和8年3月末現在では、佐倉市の総人口168,207人に対し志津地区の人口が73,989人となっており、その割合は44.0%であり、市内で最も人口の多い地区である。

また、京成電鉄が中央部を東西に走り、駅前（志津駅・ユーカリが丘駅）を中心に街並みが整備され、首都圏のベッドタウンとして開発が進んでいる。ユーカリが丘駅前には、複合型大規模商業施設が並びペDESTリアンデッキ（立体遊歩道）で結ばれるなど、生活環境は発展している。一方で、市街化区域の外縁部には田園風景が広がり、自然豊かな環境も残されている。志津公民館は昭和48年10月に開館し、京成志津駅から徒歩5分の立地にあったものを、老朽化と複合施設化のため、旧志津出張所跡地に「志津市民プラザ」として、平成27年11月末に新たにオープンし、多くの地域住民に利用され生涯学習の拠点となっている。

志津地区のデータ

【令和8年3月末現在】

- | | | | |
|------------|------------------------|-----------|--------------------------|
| ○志津地区：面積 | 18.52km ² | （佐倉市：面積 | 103.69km ² ） |
| ○志津地区：住基人口 | 73,989人 | （佐倉市：住基人口 | 168,207人） |
| ○志津地区：人口密度 | 3,995人/km ² | （佐倉市：人口密度 | 1,622人/km ² ） |

1. 公民館運営計画

運営方針

佐倉市教育ビジョンを基本として、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主的な活動を支援するとともに、郷土づくりへの意識の向上を図る。また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。

努力目標

- 多様な学習機会の提供をはじめ、住民の幅広い学習活動の支援に努める。
- 学校を含めた関係機関との有機的な連携による事業の推進に努める。
- 学習成果の地域還元と人材活用の促進に努める。
- 複合施設（志津市民プラザ）としての機能を効果的に発揮するための調整に努める。
- 施設のメンテナンス及び不具合箇所の早期修繕に努め、良好な学習環境の維持に努める。

事業内容

1. 学級講座の開設

家庭教育と郷土学習を中心とした学級講座の内容を充実させる。

2. グループや団体の育成援助

公民館での学習活動や地域でのグループ活動の意義を理解する自主グループの育成を支援する。

子ども会をはじめ青少年の健全育成を推進する各種団体への援助を行い、相互連携を図る。

3. 広報活動

市民への情報提供および意見交換の場として、公民館だよりを発行するとともに、各種情報資料等の収集・整備・提供を行う。

4. 図書活動

郷土学習などを中心とした図書の整備を行うとともに、館外貸出を実施する。

5. 施設の提供

- ・開館日時
 - ①日・月曜日、祝日 9時～17時
 - ②火・水・木・金・土曜日 9時～21時
 - *夜間の使用申込がない場合は17時で閉館
- ・休館日 第2・第4月曜日及び年末年始12月28日～1月4日

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用件数 (件)	5,343	6,373	6,791	6,903	6,996
利用人数 (人)	45,978	63,632	70,208	81,482	88,377
開館日数 (日)	333	333	334	333	333

令和7年度部屋別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
210会議室	3,664	2,081	56.8%
220会議室	3,664	1,912	52.2%
201会議室	3,664	1,850	50.5%
202会議室	3,664	1,914	52.2%
調理室	3,664	794	21.7%
310会議室	3,664	1,755	47.9%
和室	3,664	1,168	31.9%
401会議室	3,664	1,837	50.1%
アトリエ	3,664	1,719	46.9%
大会議室A	3,664	2,312	63.1%
大会議室B	3,668	2,942	80.2%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	「ひとりじゃないもん！」～ハイゼックスを使った炊出し体験～	小学生以上 (親子参加可) 20人	7/25 15人	地震や台風などの自然災害に関する防災意識や関心を高める。また、家族や地域のコミュニティごとの繋がりの大切さを学ぶとともに、災害時にあたたかい食事を用意することで安心して生活できる環境づくりを目的とする。
青少年教育	志津子ども教室	小学生 8/3 20人 8/5 午前午後 各20人 12/25 5人	小学生 8/3 6人 8/5 午前18人 午後14人 12/25 8人	体験や学習を通じて、子どもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む。 8/3 仕事体験 8/5 勾玉づくり 12/25 子ども書道広場 ～書初め～ (小学生4～6年生)
	わらで蛇を作る「つじぎり作り」体験	小学生以上 (親子参加可) 20人	12/6 22人	地域の自然・歴史・習慣・食・技などを知り、つじぎり作りや学習を通して、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを育む。
	地域連携 (社会教育課経由で 市内高校と連携)	高校生	通年	公民館で働く職員と接することを通して、社会的自立や豊かな人間性を育むことを期待する。今年度は高校生が志津公民館まつりでプログラムの作成を実施。
成人教育	しづ学入門	成人 30人	5月～12月12回 土曜日 開講式 5/24 閉講式 12/13 講座 5/24 ～12/13	郷土の歴史・文化・自然などについて学び、自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現を図る。
	健康とくらし	成人 30人	5月～12月12回 月曜日 開講式 5/24 閉講式 12/13 講座 5/24 ～12/13	心身ともに豊かで充実した人生を送るため、様々な情報を学び、地域への還元を図る。
	美味しい活動	成人 30人	5月～12月12回 金曜日 開講式 5/24 閉講式 12/13 講座 5/24 ～12/13	日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。
	佐倉学入門講座 「志津探訪～秋の野草観察～」	成人 10人	10/30 11人	志津地区の自然を散策しながら、野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。
	佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」	成人 15人	10/21 13人 10/28 14人 11/4 14人 11/11 13人	井野長割遺跡を題材に、縄文時代の志津地区について知識を深め、地域の遺跡を学ぶことで、郷土愛や歴史文化への意識を高める。 10/21 基礎知識編 10/28 遺跡の紹介 11/4 遺跡の見学 11/11 今後のあり方

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
成人教育 佐倉学	佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」	成人 10人	10/22 10人 10/29 9人 11/ 5 8人 11/12 9人 11/19 8人 11/26 9人	かつて佐倉城主も通った「佐倉道」を実際に歩き、道沿いの史跡や周辺地域の歴史も含めて理解する。 10/22 座学 10/29 散策:江戸川駅～京成西船駅 11/ 5 散策:京成西船駅～薬園台駅 11/12 散策:薬園台駅～勝田台駅 11/19 散策:勝田台駅～京成臼井駅 11/26 散策:京成臼井駅～佐倉城大手門跡
	佐倉学講演会 「佐倉順天堂物語～二代堂主佐藤尚中の生き方～」	市内在住 在勤 100人	3/14 190人	佐倉市にある順天堂の外科医として、多くの患者を救った佐藤尚中について学ぶことで、郷土の理解を深める。
成人教育	秋の実りで作る草飾り	小学生以上 (親子等参加可) 10人	11/1 9人	身近な秋の野草や木の実などを組み合わせて、小さな草飾りを作ることで、自然や植物に親しみ、参加者相互の交流も深める。
	【能登半島被災地支援】 椅子ヨガ講座	成人 各40人	6/26 36人 7/10 28人	健康維持のためのヨガ体験。 【能登半島被災地支援】につなげていくことを併せて目的として会場内に募金箱を設置。
団体育成	志津公民館まつり	公民館利用 サークル	10/17～10/19 参加サークル29 来館者 832人	志津公民館で日頃活動しているサークルの発表・展示・活動体験を行う。
	サークル運営研修会	公民館利用 サークル	4/4 参加サークル11	サークル活動の意義、運営のあり方を学び、自主性を高め地域活動につなげる。
	調理室利用サークル懇談会	公民館調理室 利用サークル	1/30 参加サークル11	調理室利用サークルの交流と共通理解を深める。
	志津地区社会教育関係団体への援助	該当団体	通年	志津地区青少年育成住民会議などの事業及び活動を支援する。
	公民館園芸ボランティア団体への支援	該当団体	通年	公民館における園芸・学習活動を支援する。
広報活動	公民館だより 「しづ」の発行	市内主要施設 配布 ホームページ に掲載	9/15、3/15 各400部	志津公民館事業の案内・情報などを提供し、公民館活動への理解と認識を深めるとともに、各事業の参加募集を行う。

1. 家庭教育事業

家族や地域みんなで災害時の食事について考える講座

「ひとりじゃないもん！」～ハイゼックスを使った炊出し体験～

①開設趣旨 地震や台風などの自然災害に関する防災意識や関心を高める。また、家族や地域のコミュニティごとの繋がりの大切さを学ぶとともに、災害時にあたたかい食事を用意することで安心して生活できる環境づくりを目的とする。

②募集対象 小学生以上（親子参加可） 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習テーマ	学習内容	指導者
1	7月25日（金）	コミュニケーション講座	災害について考えるワークショップ・料理	日本赤十字社 千葉県支部 佐野智佳子

④講座を終えて 『「ひとりじゃないもん！」～ハイゼックスを使った炊出し体験～』と題した当講座は、家族や地域コミュニティの中で、地震や台風などの自然災害に関する防災意識や関心の一助となることを目的に企画した。具体的には、災害時に必要な物を考えるワークショップや、ハイゼックス袋（高密度ポリエチレン袋。災害時に衛生的に調理ができ、食器不要）を利用した炊出しを行った。

当講座は、親子2組（保護者1人、子ども1～2人）の申込のほか、大人4人（ひとりずつ）の申込をいただいた。ひとりで参加したかたから聞き取った様子では「家で孫と一緒に行きたい」とのことで、家族とのコミュニケーションも目的とした家庭教育にふさわしい事業といえる。

講義の最初は、子どもたちに「災害に必要な物」を自由に挙げてもらった。細かいカテゴリーは講師の佐野氏が提示したものだが、食料であれば水、情報収集機器であれば電話、幼児用であればオムツや粉ミルク等、バラエティに富んだ回答が飛び出し、子ども達の想像力の豊かさがうかがえた。次に行ったことは、赤十字が実際に災害時の調理に使用しているハイゼックス袋でのカレーと白米の炊飯である。大人も子どもも、自分で米を測り材料を切り、ハイゼックス袋の中に詰めて、20分茹でることで、カレーライスが完成した。カレーが簡単にできたことで、大人の参加者は「災害時でも家で調理ができる」ことに高い関心を示していた。

なお、自分の調理したものは自分で責任をもって食べることにしたが、普段料理をしない子ども達でも美味しくカレーライスができあがり、参加者から高い評価を得た。災害時といえば味気ない食事の中、温かいカレーは被災者の心をもホッとさせる効果があると思われる。今回は時間の関係から「新聞紙で作る足カバー」「風呂敷リュック」の体験までは実演できなかったが、災害の中で家族や地域コミュニティの防災意識を高めるという意味では一定の成果が得られたものと考えられる。

2. 青少年教育事業

佐倉っ子塾 志津子ども教室

①開設趣旨 自分で手作りする機会や体験する機会が少なくなったと言われる現代において、佐倉の地域素材を織り交ぜながら、体験や学習を通して、こどもたちの「つくる楽しさ」「わかる喜び」「できる自信」を育む機会とする。

②募集対象 小学生

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習テーマ	学習内容	講師
1	8月 3日(日)	仕事体験 「～大人になったら何になる～地域の職人から学ぶ仕事体験」	大人の仕事を体験するワークショップ	千葉土建一般労働組合佐倉支部志津東分会
2	8月 5日(火)	勾玉づくり	本物の縄文土器に触れ、実際に勾玉を作成する	千葉県教育庁教育振興部文化財課
3	12月25日(木)	子ども書道ひろば～書初め～	日本の伝統行事に親しみ、書道を学ぶ	佐倉市書道部

④講座を終えて 佐倉市広報、佐倉市公式ホームページ、佐倉市公式LINEでの募集を行った。

仕事体験での職人の話は、自分の職業の話をしてもらい、タイル貼り作業は、予め接着剤が塗られている木板にタイルシートを貼り、目地に接着剤を塗って、全体が乾いたら、接着剤等を拭き取るといった工程で進んだ。タイル貼りに時間がかかるため、前年度の反省を踏まえ時間配分を見直したが、今度は各職人の話が駆け足となってしまった。6人の講師それぞれ専門分野があるので、タイル工以外の職業の理解を深める観点では引き続き時間配分が課題となった。

勾玉づくりでは、1年生から6年生まで学年にばらつきがある中、低学年の子も集中して取り組んで時間内に勾玉の完成まで行うことができた。アンケートには勾玉や土器のイラストを描いてくれる子もいて、歴史への興味・関心を持つ入口として役割を果たしたものと考えられる。

子ども書道ひろば～書初め～では、日頃習字を習っている児童はいなかったため、筆の持ち方から書き方のコツまでを簡単に説明した後、練習を行った。途中、児童一人ひとりの書初めを添削し、伸び伸びと良く書けているところ、少し直した方が良いところを伝え、また真剣に練習を行い、最後は学校に提出する清書作品まで完成した。家ではなかなか取組んで時間のかかる書き初めを、落ち着いた環境の中、集中して作品を仕上げることができ、書き初めを書く楽しさと充実感が得られたことが伺えた。

わらで蛇を作る「つじぎり作り」体験

①開設趣旨 地域の自然・歴史・習慣・食・技などを知り、体験や学習を通して、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを育む。

②募集対象 小学生以上 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月6日(土)	「佐倉に伝わる風習」を学んだ後 「つじぎり作り」に挑戦する	佐倉市文化課職員 志津歴史同好会

④講座を終えて 2部構成で前半、座学で市内の無形民俗文化財について学習(講師:文化課職員)した。後半のつじぎり作りの小辻の作り方の説明は、志津歴史同好会が初めに作り方を通して説明し、その後、実際にみんなで作る際に具体的に一人ひとりていねいに教えるというやり方で進んだ。

3. 成人教育事業

しづ市民大学（第36期）

- ①開設趣旨 志津公民館では、自由時間の増加、少子高齢化の進展等の中で一人ひとりが自らの生活を見直し、心豊かで充実感ある人生を送るための学習の場を提供するとともに、学習を通じて地域の連帯をはかり、その成果を生かした「まちづくり」に貢献できるよう『しづ市民大学』を開設した。

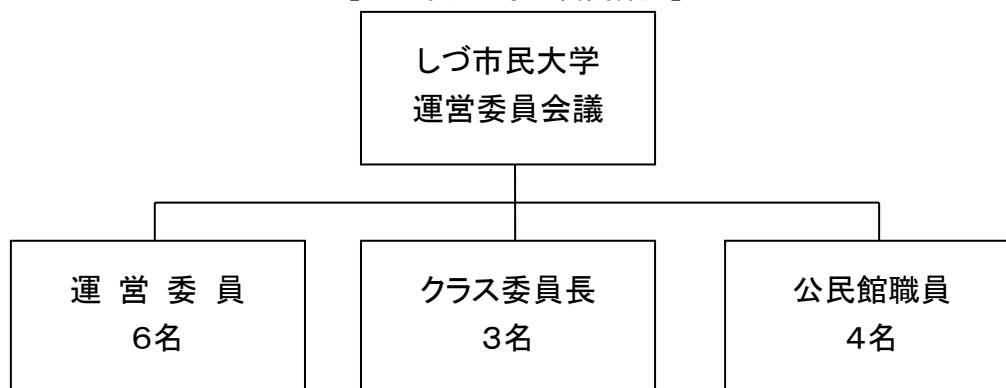
なお、しづ市民大学の学習とは、講座に参加する・講話を聴くだけの座学ではなく、多彩な学習を学習者自らが創造し、企画並びに運営活動に参画し、市民活動の推進を図る。そこで、開設にあたり事業の視点を次の2点とし、個性的で多様な内容を取り込み『しづ市民大学』を展開する。

- (1) 自主的な学習活動の促進
(個人的な参加型の学習から地域連帯への展開)

(2) 生涯学習を進めるまちづくり
(地域社会の活性化)

『しづ市民大学』は、人々の出会いの場・地域づくりの場の核となり、地域住民への学習機会を提供し、一人ひとりの生きがいの発見・地域の仲間づくりを通して「住みよいまちづくり」に寄与することを目指す。

【しづ市民大学運営関係図】



②募集対象、募集人員

- | | | |
|---------|----|-----|
| ・しづ学入門 | 成人 | 30人 |
| ・健康とくらし | 成人 | 30人 |
| ・美味しい活動 | 成人 | 30人 |

③学習目標

- ・しづ学入門 志津地域や佐倉の歴史・文化・自然等について学習する。自らの学び経験を通して地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目指す。
- ・健康とくらし 生活様式が変化する中で心身の健康保持と増進を図り、地域の一人ひとりが自らの生活を見直すことで、心身ともに豊かで充実した人生を送ることを目的とし、「健康的な暮らし」「健やかな日々」を実現するための様々な情報を学ぶことにより、地域への還元を目指す。
- ・美味しい活動 日々の暮らしを営んでいくための「衣」「食」「住」を中心に、生活にまつわる食事や家事、家庭の管理など、生活に関する事を多様な視点から学び、新しい時代の生活を豊かにし、暮らしの質を高めていくことを図る。

④プログラム

しづ市民大学 「しづ学入門」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30～12:00	開講式 記念講演「佐倉の観光」 【志津公民館 大会議室AB】		佐倉市佐倉の魅力推進課 参事官 滝沢 正彦
2	6月 7日(土) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月21日(土) 9:30～12:00	志津の話-いまむかし- 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市史編さん委員 内田 儀久
4	7月 5日(土) 9:30～12:00	印旛沼の変遷 湖沼の生態系(現状と課題) 【志津公民館 大会議室A】		千葉県水産総合研究センター 内水面水産研究所 職員
5	7月19日(土) 9:30～12:00	絵図から見る志津地区のあゆみ 【志津公民館 大会議室A】		酒々井町文化財審議会 高橋 健一
6	9月 6日(土) 9:30～12:00	井野長割遺跡について学ぶ 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市文化課 職員
7	9月20日(土) 9:30～12:00	絵図から見る佐倉城下町 【志津公民館 大会議室A】		國學院大學 准教授 川名 禎
8	10月 4日(土) 9:30～12:00	志津の地名について 【志津公民館 大会議室A】		佐倉地名研究会 田中 征志
9	10月25日(土) 9:30～12:00	志津地域散策 【志津地区】		NPO法人 佐倉一里塚 ガイドボランティア
10	11月 8日(土) 9:30～12:00	日本遺産北総四都市江戸紀行の概要について 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市文化課 職員
11	11月22日(土) 9:30～12:00	近代史料からみた佐倉の人々の生活 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市史編さん委員 中澤 恵子
12	12月13日(土) 9:30～12:15	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 【志津公民館 大会議室AB】		日本アカデミー賞協会 会員 伊東 芳幸

しづ市民大学 「健康とくらし」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」	【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30～12:00	開講式 記念講演「佐倉の観光」 【志津公民館 大会議室AB】		佐倉市佐倉の魅力推進課 参事官 滝沢 正彦
2	6月 2日(月) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】		日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月30日(月) 9:30～12:00	夏に負けない体を作ろう～その「良かれと思っ て」を見直しましょう～ 【志津公民館 大会議室A】		成田赤十字病院 管理栄養士 川尻 美和
4	7月 7日(月) 9:30～12:00	口から始まる健康習慣 【志津公民館 大会議室A 】		佐倉市健康推進課 職員
5	8月 4日(月) 9:30～12:00	避難所体験(カードゲーム) 【志津公民館 大会議室A】		日本赤十字社千葉県 支部救護福祉課救護 係長 金子 隆太郎 他
6	8月18日(月) 9:30～12:00	元気な今こそ！フレイル予防～身体活動を中心 に～ 【志津公民館 大会議室A】		佐倉市健康推進課 職員
7	9月 1日(月) 9:30～12:00	耐震、あなたの家は？ 【志津公民館 大会議室A】		(公社)千葉県建築士 事務所協会 印旛支 部長 小杉 敬太郎
8	9月29日(月) 9:30～12:00	みんなで知ろうストレス緩和～ストレスって何 だろう～ 【志津公民館 大会議室A 】		成田赤十字病院 臨 床心理士 熊谷 そら 知
9	10月 15日(水) 9:30～12:30	ゴミの行方を追う(リサイクルセンター見学) 【酒々井リサイクル文化センター】		佐倉市、酒々井町清 掃組合 職員
10	11月17日(月) 9:30～12:00	回想法で脳を元気に！ 【志津公民館 大会議室A 】		社会福祉士、介護福 祉士、認知症ケア専 門士 中山 敏子
11	12月1日(月) 9:30～12:00	転倒予防について 【志津公民館 大会議室A 】		成田富里徳洲会病院 理学療法士 上原 慶喜、佐藤 優美
12	12月13日(土) 9:30～12:15	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 【志津公民館 大会議室AB】		日本アカデミー賞協 会会員 伊東 芳幸

しづ市民大学 「 美味しい活動 」 コース

回	予定日時	学習内容「テーマ」 【会場】	講 師
1	5月24日(土) 9:30～12:00	開講式 記念講演「佐倉の観光」 【志津公民館 大会議室AB】	佐倉市佐倉の魅力推進課 参事官 滝沢 正彦
2	6月 6日(金) 9:30～12:00	レクリエーション活動を通して仲間づくり 【志津公民館 大会議室A】	日本レクリエーション協会 田端 知恵子
3	6月13日(金) 9:30～12:00	包丁について学ぶ 暮らしの基本を学ぶ 【志津公民館 201・202会議室】	習志野調理師専門学校 校長 山崎 慧
4	6月27日(金) 9:30～12:00	健康をつくる食事（調理実習） 【志津公民館 調理室】	習志野調理師専門学校 校長 山崎 慧
5	7月11日(金) 9:30～12:00	食品ロスから考える環境にやさしい暮らし 【志津公民館 大会議室A】	環境カウンセラー千葉県協議会 佐藤 ミヤ子
6	8月22日(金) 9:30～12:00	佐倉市における有機農業の取り組みについて 【志津公民館 大会議室A】	佐倉市農政課 職員
7	9月5日(金) 9:30～12:00	農家の台所 余った野菜の活用方法（調理実習） 【志津公民館 調理室】	農家ユニット ハタムグリ 石井 美帆
8	9月26日(金) 9:30～12:00	地域食堂から学ぶこと 【志津公民館 大会議室A】	地域食堂ひだまりのたね
9	10月3日(金) 9:30～12:00	地域食堂の人気メニューをつくろう（調理実習） 【志津公民館 調理室】	地域食堂ひだまりのたね
10	11月14日(金) 9:30～12:00	災害時の食事のケアについて 【志津公民館 大会議室A】	日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT) 久保 安裕美
11	11月28日(金) 9:30～12:00	冬に食べたいあったかいスープ（調理実習） 【志津公民館 調理室】	佐倉市食育健康推進員
12	12月13日(土) 9:30～12:15	閉講式・記念講演「日本映画よもやま話」 【志津公民館 大会議室AB】	日本アカデミー賞協会会員 伊東 芳幸

⑤講座を終えて

「しづ学入門」 自らの学び経験をとおして地域社会の活性化に貢献し、心豊かで住みよい生活と地域の実現に寄与することを目的に、志津地域や佐倉の歴史・文化・自然などについて学習した。通年ほぼ座学のしづ学入門コースであるが、その中でも、唯一の外の学習である10月25日の志津北部地区の散策は受講生が楽しみにしていた講義である。今年度は天気にも恵まれ実施することができた。

「健康とくらし」 本講座は、日々の暮らしの中で関心の深いテーマが主体となっている。受講生が心身ともに豊かで充実した人生を送るため、健康にまつわる講義や体操の実技のみならず、カードゲームによる避難所疑似体験や家屋の耐震診断、ごみ処理現場の見学といった、生活に身近な事柄についても学習した。本講座に満足された受講生は多いので、来年度以降も、受講生にとって学び活動する楽しさが感じられる学習の場になるよう計画していきたい。

「美味しい活動」 今年度は4回の調理実習等食を中心としたプログラムとなった。ほぼ初対面の参加者による調理実習は課題も見られたが、進むにつれてチームワークも良くなった。最終アンケートでは全体的に満足度の高い評価が多かった。「この班、このメンバーでやれてよかった」等の前向きな気持ちで5班すべてがまとまれたのは今後の地域での活動にもつなげる本講座の役割も果たせたと思われる。

佐倉学講演会「佐倉順天堂物語～二代堂主佐藤尚中の生き方～」

①開設趣旨 本講座は「志津の歴史について学んでみたい」という方々を対象に「佐倉学」の普及を図りながら郷土愛を育み、郷土の関心を高め、郷土の創生に繋げることを目的とする。

②募集対象 成人 100人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	3月14日(土)	佐倉順天堂の外科医として、多くの患者を救った佐藤尚中について学ぶことで、郷土の理解を深める。	佐倉城址公園ボランティアの会 代表 山口 等

④講座を終えて 今回は佐倉城址公園ボランティアの会より、会長の山口氏に講演会をお願いした。普段はボランティアガイドを務めている氏だが、郷土史家として順天堂関連にも詳しいかたである。これまで順天堂、主に佐藤尚中の講演はほぼ例がなかったことや、講師の軽妙な語り口と豊富な資料に参加者も引き込まれつつ、アンケート結果でも、「楽しかった」「2弾3弾目を望む」声が多く見受けられた。講義としては成功だったと思われる。但し、運営側には反省の多い講座だった。事前申し込みなし、定員100人の予定だったところ、190人の参加者が集まった。全員に資料を用意することはできず、また会場は満員の状態であった。今回はギリギリ席を用意できたが、担当として事前申込制は必須だったと考えている。

佐倉学入門講座 「井野長割遺跡を学ぶ」

①開設趣旨 井野長割遺跡を中心に考察し、縄文時代の村の姿や生活・役割などを知ることにより、当時の志津地区の自然や歴史・地理・生活状況を理解する。また、学習成果を通して地域に対する知識を深め、郷土の成り立ちを知ることにより、郷土愛や歴史文化を継承し、地域の連帯と仲間づくりを図る。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月21日(火)	考古学入門 佐倉の縄文時代	文化課職員 遠藤 瞳子
2	10月28日(火)	井野長割遺跡とは 遺跡概要紹介	文化課職員 小倉 和重
3	11月 4日(火)	遺跡探訪し知識を深める (現地見学)	文化課職員 小倉 和重
4	11月11日(火)	遺跡の今後について	文化課職員 松田 富美子

④講座を終えて 文化課では連日発掘調査等で多忙の中、文化課の講師松田主査、小倉学芸員、遠藤主事の3人が鮮明な写真を使用して作り上げたパワーポイントを使い、分かりやすい説明を講座で展開していただき、受講生からアンケートのとおり満足の結果をいただいた。

講座中は受講生も熱心に受講、わからないことは質問を積極的に行っていた。

募集の広報は例年どおり公民館だよりとしづ市民大学受講生に声掛けを行い27人の応募があり抽選にて15人を決定した。市内の方を優先にしている講座なので市内の応募者を想定して毎年募集していたが、市外の方からの応募があり応募要項に市内在住・在勤の記載がないので今後加えることの検討をすることとした。

佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」

①開設趣旨 江戸から佐倉城下を経て成田山新勝寺に向かう成田街道は、江戸時代の初め、上総や下総の大名が参勤交代で通行した道である。そのため、宿場が整備され、街道周辺には現在も道標や常夜灯、石仏、石碑、道路元標といった近世・近代の石造物などを目にすることができる。この「ちば文化資産」にも指定されている成田街道(成田道)は、かつて「佐倉道」とも呼ばれていた。今回の講座では江戸川駅から佐倉城大手門跡までの区間を5区に分けて関連する歴史や文化を探りながら散策することとした。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月22日(水)	佐倉道について(序論)	佐倉道を歩く会
2	10月29日(水)	【1区】江戸川駅～京成西船駅	
3	11月5日(水)	【2区】京成西船駅～薬園台駅	
4	11月12日(水)	【3区】薬園台駅～勝田台駅	
5	11月19日(水)	【4区】勝田台駅～京成臼井駅	
6	11月26日(水)	【5区】京成臼井駅～佐倉城大手門跡	

④講座を終えて 初日は散策する区間だけでなく、佐倉道全体(成田道部分も含む)の概要について学ぶ座学に加え、参加者を2グループに分けてワークショップを行い、参加者のコミュニケーションの醸成を図った。

散策が今回は5日間ということで、初日は天気が心配されたが全日とも雨が降ることなく、歩くと汗ばむほどの日もあるくらいで、気持ちよく快適に散策することができた。案内役の佐倉道を歩く会が作成した詳細で分かりやすい資料や現地での説明のおかげで、受講生の理解度も増し、熱心に見学をしていた。また、ケガ、事故等も

なく無事に全行程を実施することができた。1人だけ途中リタイヤがあったのは残念だったが、全日程すべてに参加された方が6人と、昨年度に比べ多かった。ただ、線路の近くや交通量の多いところなどでは説明が聴き取り辛いことがあった。

アンケートの結果からは、散策が好きな受講生が多く、今年度も参加者の満足度も高い結果となり、次回成田道をまた企画してほしいという要望が多かった。

佐倉学入門講座 志津探訪～秋の野草観察

①開設趣旨 志津地区の自然を散策しながら、秋の野草や古木等を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について理解を深める。

②募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	10月30日(木)	志津地区の野草・樹木を観察する。	千葉県自然観察指導員・佐倉野草会会長 近藤 維久子

④講座を終えて 年に1回、季節やコースを変えて実施している野草観察会。今回はユーカリが丘南公園をスタートとして、志津コミュニティセンターの裏を降りていき、休耕田や斜面等を観察しながら千手院まで散策してから戻り、志津コミュニティセンターのグラウンド前までのコースであった。説明いただいたのは今回も佐倉野草会会長で、千葉県自然観察指導員でもある近藤維久子先生。まず、ユーカリが丘南公園では、ユーカリの木やクスノキについて、休耕田や斜面ではカラスウリやヤブミョウガ、クズなど植物そのものの説明に加え、関連するエピソードなどを交えてのお話は、興味深い内容であり、楽しく身近な草木に触れ、自然への理解を深める機会となった。「外来植物も悪者ではなく、精いっぱいその場所で生きている」といった言葉はとても印象的であった。

受講生からは、「近藤先生の講座は興味深くて勉強になりました」「とても楽しかったので、また参加したいです」の感想があり、受講生が楽しんで散策できたことが伺える。

秋の実りで作る草飾り

①開設趣旨 日常に自然と親しむ楽しさを体験してもらう講座。季節の草木や木の実等を使って小さな草飾り作りを楽しんでもらい、暮らしに取り入れたい植物や、自然観察の楽しみ方を学ぶ。

②募集対象 小学生以上 10人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月1日(土)	秋の草木を使って小さな草飾りを作成	イラストレーター・園芸家 大野 八生

④講座を終えて 小学生以上を対象として募集した。募集方法は、こうほう佐倉、チラシ(館内掲示)、更に、それだけでは定員に満たなかったことから、期限を伸ばして佐倉市公式LINEでも募集を行った。応募時点では、小学生だけの申し込みであった保護者にも個別に声をかけ、大人5人、中学生1人、小学生1人の計7人であった。なお、当日中学生の参加者を送りに来た母親と妹にも声をかけたところ、喜んで参加されたため、当日の参加者は9人であった。講座は、秋の草木や葉っぱ、木の実など、講師が予め用意した材料を自由に使って、手のひら位のリースにワイヤーを使って飾っていくもので、みなさん、黙々と集中して思い思いの飾り付けをしてオリジナルの草飾りを作っていた。講師の丁寧な説明や指導もあって、参加者はとても楽しそうに

参加されており、それぞれに素敵な草飾りを作って持ち帰られていて、講座の満足度は高かったと思われる。

【能登半島被災地支援】椅子ヨガ講座

①開設趣旨 健康維持のためのヨガ体験。「能登半島被災地支援」として募金箱を設置。

②募集対象 各回成人40人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	6月26日(木)	座ってできる椅子ヨガ	志津楽らくヨガ講師 ヨガインストラクター 押部 有美
2	7月10日(木)		

④講座を終えて 昨年度に引き続き「能登半島被災地支援」のチャリティーヨガ講座を行った。昨年度はマットヨガと椅子ヨガで2回であったが、未経験者がマットを用意する難しさがあったことから2回とも椅子ヨガ講座とした。講座は2回とも多くの参加者があり、円滑に実施された。また、多数の方から温かいお気持ちをいただき、募金額は2回で24,932円集まり全額日本赤十字社の義援金として寄付を行った。講座自体は好評であったが昨今の猛烈な暑さの中、ヨガを始める前（公民館に来るまで）の高温環境下での来館負担が課題となった。

4. 団体育成事業

サークル運営研修会

- ①開設趣旨 社会教育施設を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 志津公民館利用サークル
- ③学習内容
 - ・志津公民館の使用について
 - ・サークル活動のPR方法について
(サークル掲示板・会員募集ポスター等の活用等)
 - ・その他
- ④今後に向けて サークル掲示板の展示スペースについての運用方法の変更についての説明や、また、利用サークル全体で共有すべき事項を再確認した。質疑においては、質問したサークルとは別のサークルからも違った角度の意見が出るなど活発な議論が行われた。一方、事前の周知不足により参加サークル数自体は想定よりも少なかったことから次回への課題となった。

調理室利用サークル懇談会

- ①開設趣旨 志津公民館を活動拠点とする「グループ」・「サークル」が、活発で継続的に学習活動されるよう、団体運営のあり方等について学習の場を提供する。また、各グループの情報交換や公民館の利用方法・要望等について懇談し、各グループ・サークル団体間の親睦を図る。
- ②募集対象 調理室利用実績のある志津公民館利用サークル
(概ね2ヶ月に1回程度利用したサークル)
- ③学習内容
 - ・懇談会
 - ・清掃作業
 - ・質疑応答
- ④今後に向けて 調理室の稼働率も上昇傾向である中で、物品の整理の仕方を中心に、使用方法について議論が行われた。「せっかく良い調理室なのにもったいない」と問題点をあげつつも前向きな意見が多く改善すべき事項が明確となった。清掃作業は全員で協力し、普段手の届かないところを重点的に行うことができた。

志津地区社会教育関係団体への援助

- ①概要 志津地区子ども会育成連絡協議会は、参加団体の減少により平成10年度から志津子連独自の事業は実施していないが、千葉県子ども会安全会加入手続きの補助のほか、行事に関する情報提供を中心に、子ども会育成者の支援を行っている。
- ②加入団体 単位子ども会 8団体
- ③活動内容
 - ・活動支援相談
 - ・連絡調整

公民館園芸ボランティアへの支援

- ①概要 令和3年度末で志津園芸サークル「花の輪」が卒業し、令和4年度からは個人ボランティア8人が活動を行っている。通年、敷地内の花壇等の手入れをお願いし、公民館はそれらにおける園芸活動の支援をしている。

②主な活動

- ・ 公民館敷地内の花壇の手入れ
- ・ 花についての自主学習

5. 広報・展示事業

志津公民館だより「しづ」の発行

- ①ねらい 公民館活動への理解と、積極的参加を図ることを目的として、公民館主催事業の案内を中心に、地域の話題などについて、紙面を通して発信する。
- ②発行回数 年2回（9月・3月）
- ③発行部数 9月・3月：各回400部
- ④配布方法 市内公民館、図書館及び志津コミュニティセンターに配架
- ⑤内容

第258号 (令和7年9月15日)	第259号 (令和8年3月15日)
●募集案内（主催事業） ・佐倉学入門講座 「佐倉道を歩く」 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき ・佐倉学入門講座 井野長割遺跡を学ぶ ※申込方法 往復はがき ●お知らせ ・志津公民館まつり	●募集案内（主催事業） ・しづ市民大学 ※申込方法 ちば電子申請サービス及び往復はがき

- ⑥今後に向けて 市内公共施設への配架、ホームページ掲載だけでは、年齢層によっては情報が行き届かない課題が見込まれる。内容の充実を図り、手に取ってもらえる紙面を作り、配架を含めてより有効な方法を考える。

臼井公民館

臼井・千代田地区の概要

○臼井地区

臼井地区は、北に印旛沼、東に鹿島川、西に手繰川というように三方を沼と河川に囲まれている。

地区の歩みでみると、鎌倉時代に桓武平氏一族の臼井氏が開発領主として臼井地方に拠って以後発展し、江戸時代中期以降は成田街道の宿場臼井として賑わった。

昭和53年には土地区画整理事業施行地区内に京成臼井駅が移転し、ここを中心にショッピングセンターや商店などが集積した地区が形成され、臼井地区の核となっている。

また、街の賑わいに水と緑と歴史に恵まれた環境を活かして、「臼井ふるさとにぎわい祭り」や「佐倉チューリップ・フェスタ」などのイベントが開かれている。臼井公民館に併設されている佐倉市民音楽ホールでは、そのすばらしい響きで定評のあるホールの特性を生かし、クラシックを中心とした国内外の著名なアーティストのコンサートや演劇などの他、様々なイベントで市民のみならず、市外からのお客様を楽しませている。

○千代田地区

千代田地区は、佐倉市誕生後に四街道市（当時四街道町）から編入した5地区から成っている。

大半は農業地域であったが、北部の生谷・飯重・吉見地区には、大手開発業者による大規模宅地開発（染井野）に伴い、公園が整備され、小中学校が相次いで開校するなど、公共施設も充実している。

地区全体としては、都市形成が進む北部地域と従来からの農業地域に二分しつつあるといえる。

古くからある団地内では自治会・文化活動、農業地区では地域ぐるみの農業と、コミュニティ活動がさかんである。この活動の輪は、住民の交流としていざという時に助け合う「防災姉妹地区制度」の調印市内第一号という形でも表れている。

臼井・千代田地区のデータ

【令和8年3月末現在】

○臼井・千代田地区：面積 約18.6km²（佐倉市：面積 103.69km²）

○臼井・千代田地区：住基人口 39,421人（佐倉市：住基人口168,207人）

○臼井・千代田地区：人口密度 2,119人/km²（佐倉市：人口密度 1,622人/km²）

1. 公民館運営計画

運営方針

地域の実情や市民生活の変化に即した学習要求や生活課題を的確に捉えながら、新しいまちづくりを目指した事業を進める。これと共に、市民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を援助することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心的な役割を果たす施設となるように努める。

努力目標

- より多くの市民に親しまれ活用される公民館として、その学習環境づくりに努める。
- 学級・講座の精選と学習内容の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。
- 複合施設（佐倉市民音楽ホール及び図書室併設）が持つ特色を、より効果的に発揮させるよう努める。

施設利用

開館日・開館時間

①月・火・木・日曜日、祝日 9時～17時

②水・金・土曜日 9時～21時

※夜間の利用予約が無い場合は17時で閉館

（図書室は第1火曜日を除く火～日曜日の9時～17時に開館する。なお、月曜日、第1火曜日が祝日に当たる場合は開館し、翌日以降の平日に休館する。）

休館日 第2・第4月曜日、年末年始12月28日～1月4日

利用区分 1時間単位（9時～21時）

※利用の受付は原則として、利用日の2か月前の月の2日（1月のみ6日）から、月2回分の予約を受け付ける。3回以上の利用は利用日の前々月末日から受け付ける。

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
利用件数 (件)	1,547	1,866	1,912	1,958	1,942
利用人数 (人)	15,596	21,708	25,170	32,111	28,590
開館日数 (日)	331	330	331	333	330

令和 7 年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
集会室	3,232	1,601	49.5%
学習室	3,232	1,472	45.5%
創作室	3,232	1,398	43.3%
展示室	3,232	1,644	50.9%
和室	3,232	977	30.2%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	親子で楽しむおはなし会	幼児～保護者 各40人	7/27 82人 12/21 32人	こどもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせなどによるおはなし会。本の世界に親しむとともに豊かに感受性を育んだ。
	みんなで七夕かざりを作ろう！	幼児～保護者 50人	6/3～7/7 556人	七夕の短冊づくりと、笹竹へ七夕飾りの飾りつけを行った。七夕や七夕飾りの由来も掲示し、こどもたちが季節の行事への理解を深める一助とした。
	「親子で手作り☆ハロウィン工作ワークショップ」～おばけとかぼちゃのミニミニキャンドルを作ろう～	幼児～保護者 50人	10/18 56人	ハロウィンキャンドルづくりを行った。行事の由来を学べる関連図書の展示と貸出も行い、こどもたちが季節の行事を学ぶ機会を提供した。
	「親子で手作り☆クリスマス工作ワークショップ」～すてきなオーナメントボールを作ろう～	幼児～保護者 50人	12/20 56人	クリアボールを使ったクリスマスオーナメントボールづくりを行った。クリスマス関連の図書の展示・貸出も実施し、行事への学びを深める機会を提供した。
	ストリートオルガンコンサート	幼児～成人 30人	① 4/26 70人 ② 5/24 48人 ③ 6/ 8 60人 ④ 6/15 83人 ⑤ 6/21 10人 ⑥ 7/12 133人 ⑦ 8/ 3 80人 ⑧ 8/23 93人 ⑨ 9/ 7 46人 ⑩10/11 90人 ⑪10/25 100人 ⑫11/ 1 55人 ⑬12/13 54人 ⑭ 1/24 69人 ⑮ 2/14 40人 ⑯ 3/ 1 53人	佐倉市民音楽ホールが所有する3台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催し、6月21日と8月23日の演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行った。
青少年教育	バックステージ・ツアー	小学生と保護者 6組	8/ 8 12人	佐倉市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏の見学と、演奏会を支えている音響設備・照明設備の操作などを体験し、舞台運営・管理の仕事に対する理解を深めた。
	星空観察教室	市内の小・中学生と保護者 15組	11/30 5組 12人	自然の中で星空の観察をすることで、星空の世界に親しんでもらうと共に、天体など理科教育への興味・関心を深めた。
	小6 理科実験室	小学校6年生 10人	7/24 13人	家庭や学校ではなかなか行えない実験や簡単な工作作業を通して「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」「屈折」などといった、科学の原理・法則について学習した。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
青少年教育	水辺観察会 「こども水辺探検隊」	中学生以下と 保護者 20人	11/ 1 1回目 12人 2回目 10人	環境意識を育む「水辺の自然観察会」を実施し、水辺環境を身近なものとして捉え、自然を大切にする心を養った。 (生活環境課共催事業)
	校庭のたからもので ストラップづくり	小学生 3～6年生 20人	12/26 10人	身近な自然の素材を使って、ものづくりの楽しさを体験し、異なる学年の子どもたちが協力しながら、おもいやりや助け合いの心を育み、作品づくりを通して、表現する力と達成感を味った。
成人教育	佐倉学 佐倉学入門講座 「地域学びあい講座 印旛沼と水の道・陸の道」	成人 40人	9/17 34人	古代・中世に、現在の千葉県と茨城県にまたがる内海「香取の海」（一部が印旛沼）があり、水陸の交通網が機能していた。講座では現在も残る地名や人の動きを学んだ。
		成人 40人	9/23 37人	渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、江戸時代中期の佐倉城とその城下町や周辺地域の様々なことが記載されている。講座では、その中で臼井周辺の記述について考察しながら読み進めた。
		成人 20人	10/17 5人	地域を代表する自然環境「印旛沼」の生き物（淡水魚）や漁具について解説をいただきながらの見学学習を通してより詳しく地域の自然を知り地域に対する理解と愛着の涵養を図った。
		成人 10人	2/14 7人	何故、佐倉ハーモニーホールに3台のストリートオルガンがあるのか？それぞれのストリートオルガンの特徴や製作者についての講座でストリートオルガンに対する理解と愛着の涵養を図る予定。
		成人 50人	2/ 7 32人	本地域の生活に根ざした歴史を分かりやすく学ぶことができ、参加者が「自分たちの地域の物語」として興味を持ちやすいテーマとなった。講師の丁寧な資料と語りのおかげで理解が深まり、終始落ち着いた雰囲気の中で講座が進行した。また、県外からの参加もあり、本講座が地域を越えて関心を集め、学びの場としての公民館の役割を再認識する機会となった。
	佐倉学 「家でも職場でも地域でも”男だから” ”女だから”を手放して」	成人 50人	9/ 6 14人	男女平等参画の基本的な考え方と歴史的・社会的背景について触れ、基本的な考え方を共通認識することで理解を深めた。
		成人 15人	11/ 7 8人	印旛沼南西部の河畔沿いに約3Kmを歩きながら、河岸、臼井八景などについて学習した。 帰路では、ぎゅぎゅつと佐倉歴史館を見学し、悠久の歴史について理解を深めた。

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
佐倉学	佐倉学入門講座 佐倉道と臼井宿	成人 15人	3/ 5 座学 22人 散策 16人 3/12 散策 19人	地域の歴史を現地で学ぶことの意義を再確認することができた。座学で得た知識をそのまま現地で体験的に確認する流れは参加者の理解を深めるうえで非常に効果的であった。また、散策中の参加者同士の交流も活発であり、地域学習を通じたコミュニティ形成の可能性も感じられた。
団体育成	地域団体への支援	該当団体	通年	「臼井・王子台・うすい東地区社会福祉協議会」、「地区住民会議」など、各種団体の活動を支援した。
広報・展示活動	臼井公民館だより	市内施設配布	7/ 1 36号 1,800部 1/15 37号 300部	公民館の事業紹介や募集、公民館の利用方法などを案内した。
	まちづくり資料室の展示	小学生～成人	通年	臼井地区に関する歴史や遺跡などについて理解と関心を深める資料展示を行った。
	サークル展示活動支援	市内団体	通年	市内の美術サークル等に対して展示室を1週間単位で提供し、各種展示会を開催することで、地域文化の向上に寄与した。
図書事業	図書の貸出等	幼児～成人	通年	図書の貸出/返却受付/相談などを行い、市民の学習活動促進を図った。

1. 家庭教育事業

親子で楽しむおはなし会

- ① 開設趣旨 絵本の読み聞かせやすばなしを通して、子どもの感受性や思考力、言語力を高めるとともに、本の世界に親しんでもらう。
- ② 募集対象 幼児～保護者 40人
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月27日（日） 10:30～11:30	子どもたち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせ等によるおはなし会を実施することで本の世界に親しむ。	かたりべの会
2	12月21日（日） 10:30～11:40		

- ④ 講座を終えて 7月はこわいおはなし会、12月は冬にちなんだプログラムでおはなし会を行った。絵本の読み聞かせやすばなしを実演すると共に、終演後には使用した本の紹介をすることで本への興味・関心を持ってもらうことができた。また、家庭においても読み聞かせ等を実践してもらうことで、親子のコミュニケーションの一つとなるものと思われる。

みんなで七夕かざりを作ろう

- ① 開設趣旨 七夕の伝統行事に親しみながら、子どもたちが楽しく創作活動を行うことを目的とし、親子で一緒に飾りを作りあげることの楽しさや達成感を味わい、心豊かなひとときを過ごす場を提供する。
- ② 募集対象 幼児～保護者
- ③ プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	6月3日（火）～ 7月7日（月）	七夕の短冊づくりと、笹竹へ七夕飾りの飾りつけを行うことにより、伝統行事への理解を深め、行事に参加することの楽しさを味わう。	臼井公民館 図書室 職員

- ④ 講座を終えて 実施期間中、500人を超える参加があり、幼児から中高生、大人まで幅広く楽しんでいる様子が見られた。後日、笹竹に飾られた短冊を見に来て自分の短冊を探したり、楽しそうに記念撮影する親子の姿も多く見受けられた。継続して事業を実施してほしいとの声も寄せられており、地域の季節行事として十分な可能性があると考えられる。今回得られた知見をいかして、次回の事業展開を考えたい。

「親子で手作り☆ハロウィン工作ワークショップ」～おばけとかぼちゃのミニミニキャンドルを作ろう～

- ①開設趣旨 親子でハロウィンの季節行事に親しみながら、工作体験を楽しむことを目的とする。
おばけやかぼちゃをモチーフにしたミニキャンドル作りを通して、子どもの創造力や表現力を育むとともに、親子のふれあいと交流の促進を図る。
- ②募集対象 幼児～保護者 50人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月18日（土） 9：00～	ハロウィンにちなんだおばけやかぼちゃのミニキャンドルづくりを通して季節の行事に親しみ、親子の交流を図る。	臼井公民館 図書室 職員

④講座を終えて 用意した材料が終了するまで開催とし、好きな時間に参加できるようにした。親子連れが続々と申込に訪れ、楽しそうに制作していき、用意した席が足りない時間帯もあるほど盛況だった。また、ハロウィンフォトブースを設置し行事の雰囲気を楽しめるようにした。

「親子で手作り☆クリスマス工作ワークショップ」～すてきなオーナメントボールを作ろう～

- ①開設趣旨 オーナメントボール作りによって、季節の雰囲気を楽しみながら創作活動に親しみ、親子で協力する時間を持つことにより、健やかな成長と親睦を図ることを目的とする。
- ②募集対象 乳幼児～保護者 50人
- ③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月20日（土） 9：30～	クリアボールを使ってクリスマスオーナメントボールを制作する。親子で協力して取り組む体験を通じて、子どもの豊かな感性の育成と親子のふれあいの促進を図る。	臼井公民館 図書室 職員

④講座を終えて 用意した材料が終了するまで開催とし、好きな時間に参加できるようにした。開始時間から申込が相次ぎ、多くの親子がオーナメントボール作りに楽しんで取り組んでいた。参加者から催しに対する感謝の声をいくつもいただいた。また、クリスマスフォトブースを設置し行事の雰囲気を楽しめるようにした。

ストリートオルガンコンサート

①開設趣旨 佐倉市民音楽ホールが所有する３台のストリートオルガンによるミニコンサートを開催する。演奏後には、ハンドルを回す演奏体験も行う（佐倉市民音楽ホール共催事業）。

②募集対象 幼児～成人 ３０人

③プログラム

実施日時（曜日）	サーター	サクラ	ヴェーニンゲン
４月２６日（土） １２：２０～ １２：５０	・南国のバラ ・トリッチ・トラッ チ・ホルカ	・スタンドバイミー ・宇宙戦艦ヤマト	・大きな古時計 ・カッコーワルツ
４月２６日（土） １５：００～ １５：１０	・モナリザ ・サーカスレンツ	地区代表者説明会の 終わりに特別演奏	
５月２４日（土） １３：１５～ １３：４５	・ブラジル ・デージー・ベル	・ニューヨーク・ニュ ーヨーク ・ブラジル	・シャンソン・ドゥ アモーレ ・アイラブホランド
６月 ８日（日） １３：２０～ １３：２６	・ケセラセラ ・ブラジル	シティーブラスコン サート前	
６月１５日（日） １２：１５～	・マリー・ルイズ ・カロリーンチェ	・アメリカンパトロ ール ・ゼアー・アット・ザ・ ウインドミル	・セカンド・ワルツ ・笛時計の音楽
６月２１日（土） １３：００～ １３：３０	・ペペ（Pépé）	・セレナーデ１３	・ピタゴラスイッチ ・君をのせて ・サザエさん ・ドラエモンのうた
７月１２日（土） １４：４５～ １５：１５	・私はお城を買った ・お金は無いが心配 ない	・コパカバーナ ・愛は勝つ	・カプリ島 ・サンバ・ルンバ
８月 ３日（日） １３：００～	・モルト・ビバーチェ ・風の結婚式	・サマータイム ・世界にたった一つ の花	・ドンキーセレナー デ ・君を乗せて
８月２３日（土） １１：４５～	・小川のセレナーデ ・ブラジル	・カントリーロード ・夜明けの道	・ストリートオルガ ンソング ・サイクリングマー チ
９月 ７日（日） １１：００～ ・	・アラマオブデボク ・タンゼミツミルイ ンデンモルゲン	・ダッチ・クログ・ダ ンス ・ハーグからの手紙	・ティー・フォー・ トゥウ ・グレンミラーメド レー
１０月１１日（土） １２：００～	・メドレー NO.４ ・パッキーのポケッ ト／ビノビノ	・サイモンとガーフ アンクルメドレー ・汽車	・ピタゴラスイッチ ・ミュージカル・メ ドレー

10月25日(土) 定時制高校文化祭終 演時特別演奏	・ケセラセラ	・スタンド・バイ・ ミー ・レット イット ビ ー	・ミッフィー ・君を乗せて
11月 1日(土) 15:00～	・Looking High ・ Quando Vien la sera ・Cimeroni ・Gondoli gondola	・スコットジョプリ ン メドレー ・パブ モーツァルト ワルツ	・パリの屋根の下 ・ブライドMarch
12月13日(土) 14:00～	・クリスマスソング ・グレンミラーメド レー	・ニューヨーク、ニ ューヨーク ・スタンド・バイ・ ミー ・クリスマスソング	・ドナウ川のさざ波 ・他3曲メドレー
1月24日(土) 11:00～	・アンパンマンマー チ ・オルガン弾き	・ランバダ ・荒城の月	・湖のワルツ ・小鳥売り
2月14日(土) 10:00～	・二人でお茶を ・君をのせて	・マイフェアレディ ・愛は勝つ	・漁師のむすめ ・Mona lisa
3月 1日(土) 14:00～	美術館の事業に貸し 出しの為演奏できず	・フレンチカンカ ・ビエンナガール ・オペレッタ・メド レー	・舟漕ぎのワルツ ・ピアダル・ポルカ ・春の声 ・アルテカメラーデ ン

- ④事業を終えて 幕末の佐倉藩では、オランダ学問を中心とした洋学が隆盛し、近代日本の先駆者を多く輩出した。その後1世紀半を経て、国際化の流れの中で佐倉市とオランダの交流が始まり、オランダ大使館などの協力により佐倉市民音楽ホールには3台のストリートオルガンが揃い、毎月演奏会が開かれ市民に親しまれてきた。なお、2月14日の演奏会の後にはオルガンの由来や構造の説明、実際にハンドルを操作し演奏する体験講座を、佐倉市民音楽ホールの資産を活用した共催事業として実施した。今年度の累計参加者は1,084人。

2. 青少年教育事業

バックステージ・ツアー

- ①開設趣旨 佐倉市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏の見学と、演奏会などの舞台運営に欠かせない音響、照明の操作などを体験し、舞台に関わる仕事に対する理解を深める。(佐倉市民音楽ホール共催事業)
- ②募集対象 小学生と保護者 6組
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	8月8日(金) 10:00～12:00	佐倉市民音楽ホールの施設をグループごとに見学し、実際にホール・スタッフの仕事の流れを体験してもらう。	佐倉市民音楽ホール職員

- ④講座を終えて この講座では、佐倉市民音楽ホールの普段見ることのできない舞台裏にスポットを当て、奈落などのエリアを見学するとともに、舞台芸術のステージを陰で支える音響・照明などの裏方作業を体験し、「様々な役割が組織的かつ統一的に関わりあって完成する総合芸術」を担う仕事を身近に感じることができた。佐倉市民音楽ホールと併設されている臼井公民館ならではの講座。

星空観察教室

- ①開設趣旨 自然の中で星空の観察をすることで、星空の世界に親しんでもらうと共に、天体など理科学習への興味・関心を深めることを目的とする。
- ②募集対象 市内の小学生・中学生と保護者 15組
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月30日(日) 19:00～20:00	・天体望遠鏡による天体観測	職員

- ④講座を終えて 今年度は印旛沼サンセットヒルズを会場に星空観察を行った。天候にも恵まれ、天体望遠鏡で惑星の観測を行うことができた。参加者は月のクレーターを綺麗に観察することができ感動しているようだった。

小6 理科実験室

- ①開設趣旨 「子どもの理科離れ」が叫ばれるなか、家庭や学校ではなかなか行えない種類の実験や簡単な工作作業を通して理科学への興味・関心を深めることを目的とする。
- ②募集対象 小学校6年生 10人
- ③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	7月24日(木) 9:30～11:30	エンピツを倒さず抜こう！ 本当に見てる？ 雲をつくろう！ あなたもこれで超能力者！ 遠くに転がした缶が… 理科に関するお話アレコレ	理科マスター 根本 栄治

④講座を終えて 「慣性の法則」「凝結核と露点」「浮力」など、理科科学の原理・法則について様々な実験や工作作業を通して学習した。

参加者からは、「理科はあまり好きではなかったけれど、実験をして学校での理科が楽しになった。」「面白く、分かりやすかった。」等の感想がありました。

水辺観察会 「こども水辺探検隊」

①開設趣旨 市内の水辺環境について、野外観察を実施することで、子どもたちが自然に親しみ自然を大切にする心を養うとともに、自然環境の重要性を認識してもらう(生活環境課共催事業)。

②募集対象 中学生以下と保護者 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	11月 1日(土) 9:00～12:30	・印旛沼の魚類等採集観察	(財)千葉県環境財団職員

④講座を終えて 令和7年度の水辺探検隊は、サンセットヒルズ下棧橋に集合し、現地で千葉県環境財団職員より安全面の注意事項や漁業・水質汚染に関する説明を受けた後、かご網を用いた魚類採集を実施した。魚類の捕獲や植物の観察を通じて、参加者が自然の豊かさや不思議さに触れる貴重な体験となりました。

また、講師による丁寧な解説や資料を活用した観察を通じて、魚類の特徴や水質との関係について学ぶことができ、自然環境への関心を高めるきっかけとなりました。参加者それぞれが、自分の目で見て、手で触れて、自然の大切さを感じる時間となったことは、今後の環境保全への意識づけにもつながるものと思われます。採取した魚は持ち帰ることができず残念がるこどももいたが、決められたルールの中で学ぶ機会となり、自然との関わり方について考える一助となりました。今回の講座を通じて、自然を大切にする心や感受性を育むことができたことは、大きな成果のひとつです。

校庭のたからものでストラップづくり

①開設趣旨 印旛沼をはじめとする臼井の自然環境について、講義や野外観察をはじめ自然を題材とした講座を実施することにより、自然に親しみ、自然を大切にする心を養うと共に、想像力を豊かにし、環境の保全の理解と関心を深めることを目的とする。

②募集対象 小学生3～6年生 20人

③プログラム

回	実施日(曜日)	学習内容	講師
1	12月26日(金) 10:00～12:00	身近な自然の素材を使って、物づくりの楽しさを体験し、異なる学年の子どもたちが協力しながら、おもいやりや助け合いの心を育み、作品づくりを通して、表現する力と達成感を味わう。	元教諭 沼田 正信

④講座を終えて 今回の講座では、講師が事前に用意した校庭の自然素材を使って、子どもたちが自由に作品づくりを楽しむ姿が印象的でした。一人でいくつもストラップを作りながら工夫する様子や、完成した作品を友達と見せ合って笑顔になる場面から、ものづくりの楽しさがしっかり伝わっていました。限られた時間の中で、創造力を発揮しながら夢中になって取り組む姿は、今後の講座にも活かせる大きな学びとなりました。

3. 成人教育事業

佐倉学入門講座 「地域学びあい講座 印旛沼と水の道・陸の道」

①開設趣旨 本講座は、市民自らが居住する地域の歴史・自然・文化を学び地域の豊かさや大切さを理解し、地域への愛着を涵養する。

②募集対象 成人 40人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月17日（水） 10:00～12:00	古代・中世に、現在の千葉県と茨城県にまたがる内海「香取の海」（一部が印旛沼）があり、水陸の交通網が機能していた。講座では現在も残る地名や人の動きを学んだ。	佐倉市文化財審議会 委員長 遠山 成一

④講座を終えて 臼井地区は中世 印旛沼とそこに流れ込む鹿島川・手繰川・神崎川の水運と、下総国を東西に横切る下総道、印西と臼井そして小弓を結ぶ街道などの陸運が結びつき、水陸交通の要衝地として重要な役割を果たしてきた。講座では、臼井地域の水陸交通が房総の歴史に大きな影響を与えた事実について学んだ。

講座参加者からは、地域の歴史への関心が深まったとの意見を多くいただいた。

佐倉学入門講座 『地域学びあい講座 「古今佐倉真佐子」と臼井周辺』

①開設趣旨 本講座は、市民自らが居住する地域の歴史・自然・文化を学び地域の豊かさや大切さを理解し、地域への愛着を涵養する。

②募集対象 成人 40人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月23日（火） 10:00～12:00	渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には、江戸時代中期の佐倉城とその城下町や周辺地域の様々なことが記載されている。講座では、その中で臼井周辺の記述について考察しながら読み進めた。	佐倉市文化財審議会 委員 外山 信司

④講座を終えて 佐倉藩主稲葉家の家臣 渡辺善右衛門が記した「古今佐倉真佐子」には江戸時代中期の佐倉城とその城下町や領内の様子が生き活きと描かれている。講座では、臼井周辺の記述について考察しながら現代の状況と比較しながら読み進めた。

参加者からは、講座内容について満足との意見が多くありました。

佐倉学入門講座 「地域学びあい講座 内水面水産研究所」

①開設趣旨 本講座は、地域を代表する自然環境「印旛沼」の生き物（淡水魚）や漁具について解説をいただきながらの見学学習を通してより詳しく地域の自然を知り地域に対する理解と愛着の涵養を図る。

②募集対象 成人 20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	10月17日（金） 10：00～12：00	地域を代表する自然環境「印旛沼」の生き物（淡水魚）や漁具について解説をいただきながらの見学学習を通してより詳しく地域の自然を知り地域に対する理解と愛着の涵養を図る。	内水面水産研究所 職員

④講座を終えて 内水面水産研究所職員から印旛沼の淡水魚や環境について豊富な映像資料を使っの解説があり、参加者からは、大変講評をいただいた。

佐倉学入門講座 「地域学びあい講座 佐倉のストリートオルガン」

① 開設趣旨 本講座は、何故？「佐倉市にストリートオルガンがあるのか。」などストリート・オルガンファンのみなさんの素朴な疑問に答えるための講座。

当日は講座の前に20分程度ミニコンサートの後開催した。

② 募集対象 成人 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月14日（土） 10：30～12：00	「なぜ音楽ホールに19世紀に製造された貴重なストリートオルガンがあるのか」など、様々な疑問・質問に答える。	臼井公民館 岩井 克己

④講座を終えて 今回は、オランダ国立自働楽器博物館の所蔵品展覧会を機に佐倉にやってきた自動演奏楽器「ストリートオルガン」について、その構造や購入経緯などについて学んだ。体験演奏も含めて参加者からは好評をいただいた。

佐倉学入門講座 「佐倉道と臼井宿」

①開設趣旨 本講座は、地域に息づく歴史や文化を学びながら、臼井地区の街道に秘められた物語や風景を再発見することを目的とし、座学と現地散策を通じて、かつての人々の暮らしや往来に思いを馳せ、現代に残る街道の魅力を体感する機会とする。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	3月 5日（木） 10：00～15：00 3月12日（木） 9：00～12：30	本講座は、佐倉道および臼井宿の歴史的背景を、座学と現地散策を通して学ぶことで、地域の歴史・文化への理解と関心を深めることを目的とする。座学では宿場町の成立、街道と地域社	佐倉道を歩く会 三浦 篤郎 川口 恭一 田中 省三

		会の関わりについて学び、散策では臼井宿および臼井城跡を巡り、史跡を現地で確認しながら理解を深めた。	
--	--	---	--

④講座を終えて 本講座を通じて、地域の歴史文化に対する市民の関心の高さが改めて確認できた。特に、臼井城に関する詳細な解説を希望する声や、他の佐倉市内の歴史資源にも興味を持つ意見が寄せられたことは、今後の講座企画にとって貴重な指針となる。また、現地散策型の講座は、ただ歴史を学ぶだけでなく、自らの生活圏を新たな視点で見つめ直す機会となり、参加者の満足度も高かった。今後は、他地域との比較や広域的な歴史の流れを取り上げるなど、より発展的な学習機会を提供するとともに、初心者にも参加しやすい入門的な講座とのバランスを図りたい。

佐倉学専門講座 「千葉のおばちゃんー東京向け野菜行商の歴史とその特色ー」

①開設趣旨 本講座は、千葉県の農村部から東京へ野菜を運び、販売していた「千葉の行商」の歴史をひもときます。昭和初期から高度経済成長期にかけて、女性たちが果たした役割や、地域ごとの特色、行商のルートや販売方法など、生活に根ざした歴史をわかりやすく紹介する。

②募集対象 成人 50人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	2月 7日（土） 10:00～12:00	本講座では、行商の都市と農村をつなぐ役割を学ぶ。顔の見える取引により信頼が生まれ、消費者との直接的な関係が築かれた。女性が少量の野菜を運び、地道な努力と人とのつながりで生活を支えた当時の様子を学ぶ。	佐倉市文化財審議会委員 小林 裕美

④講座を終えて 本講座では、地域の生活に根ざした歴史を分かりやすく学ぶことができ、参加者が「自分たちの地域の物語」として興味を持ちやすいテーマとなった。講師の丁寧な資料と語りのおかげで理解が深まり、終始落ち着いた雰囲気講座が進行した。また、県外からの参加もあり、本講座が地域を越えて関心を集め、学びの場としての公民館の役割を再認識する機会となった。今後も生活史や地域文化への関心を踏まえた講座づくりを進めていきたい。

ちょっといいとこ見て歩き

①開設趣旨 佐倉市とその近隣地域の見学学習を通し、歴史・文化・自然や環境の変化について学び理解を深める。

②募集対象 成人 15人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	11月 7日（金） 9：45～12：00	①印旛沼南西部の河畔沿いに約3Kmを歩きながら、河岸、臼井八景、沼の干拓などについて学習する。 ②ぎゅぎゅっと佐倉歴史館を見学し、古代から現代まで途切れることなく続いてきた悠久の歴史について理解を深める	文化課 学芸員 宋戸 信

④講座を終えて 明治期に作成された古地図と現在の地図を見比べながら印旛沼の河岸を歩くことで、「明治・大正時代の臼井の様子をまとめた『臼井宿回顧』に記された往時の沼周辺の姿に思いをはせながら地域の歴史を振り返る学習機会となった。更に、ぎゅぎゅっと佐倉歴史館では、佐倉の悠久の歴史を振り返る機会を得た。

男女平等参画講座 「家でも職場でも地域でも、“男だから” “女だから”を手放して—性別による役割分担を超えて、共に支えあう社会へ—」

①開設趣旨 本講座では男女平等参画の基本的な考え方と歴史的・社会的背景について触れ、基本的な考え方を共通認識することで理解を深める。

②募集対象 成人 50人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	9月 6日（土） 10：00～12：00	本講座では「男だから」「女だから」という固定的な性別役割分担を見直し、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指すことを目的とした。	中央学院大学 教養学部准教授 皆川 満寿美

④講座を終えて

講座では、性別によるステレオタイプやアンコンシャス・バイアス、ジェンダーギャップ指数、育児休業取得率、男女間賃金格差等、幅広い視点からジェンダーに関する課題が取り上げられました。丁寧でわかりやすい説明に、参加者の皆さんが何度もうなずきながら聞き入っている様子が印象的でした。アンケート結果からも、講座への満足度や理解度が高く、関心の深まりや今後の学びへの意欲が見られました。自由記述では、育児や家事に関する共感の声、賃金格差への関心、地域で役立つ講座への期待など、多様な視点からのご意見をいただきました。この講座を通じて、参加者一人ひとりが自分の生活や社会のあり方を見つめ直すきっかけとなったと思います。

4. 団体育成事業

地域団体への支援

- ①開設趣旨 「臼井・王子台・うすい東地区社会福祉協議会」、「地区住民会議」等、各種団体の活動を支援した。

5. 広報・展示事業

臼井公民館だより

①趣旨 公民館事業などへの理解を深め積極的な参加を図るために情報提供を行う。

②発行日、内容、部数

号	発行日	内容	配布場所・部数
第36号	7月 1日	「主催事業の予定」 「抽選会のお知らせ・掲示板について」 など	地区各小学校 市内各公民館 1,800部
第37号	1月15日	「主催事業の予定」 「佐倉市立公民館の使用料について」 など	市内各公民館 400部

③課題 公民館事業の情報が、必ずしも幅広い地域住民に十分行き渡っているとは言えない状況がある。今後は、紙媒体による周知に加え、関係機関との連携や多様な媒体の活用について検討しながら、事業内容への理解促進や参加につながる情報発信のあり方を工夫していくことが求められる。

まちづくり資料室の展示

①趣旨 臼井・千代田地区に関する歴史や遺跡等について理解と関心を深めるため、資料展示を行う。

②展示期間 通年

③展示パネル 木版画 令和元年11月2日～11月30日に開催した「特別展 臼井八景と臼井」にて展示披露された島田雅照氏の木版画、臼井八景8点を展示し、地域に関心を寄せてもらう機会とした。

サークル展示活動支援

①趣旨 臼井公民館展示室は、市民ギャラリーとして、広く市民の日頃の活動の発表・展示の場として提供されている。また、通常の学習にも多目的利用されている。

なお、展示が重なる場合や大規模な展示の場合は、他の部屋（集会室など）を展示に使用する場合がある。

②対象 市内で活動実績のある団体を優先する。

③使用について 予約受付は使用月の6ヶ月前の初日（1月のみ5日）。使用期間は1団体につき、火曜日から日曜日までの6日間を原則とする。

④展示活動団体数 19団体（令和7年度）

⑤観覧者数 5,257人（令和7年度）

⑥使用料 1時間あたり240円（市外団体の場合480円）

令和7年度開催展示会一覧

※ 入場者数は主催者届出による

番号	行事	主催者 (ジャンル)	期日	入場者数 (人)
1	柴門会作品展	柴門会 (水彩画)	4/ 1～ 4/ 6	202
2	書を板に彫る「刻字」展	佐倉刻字愛好会 (刻字)	4/15～ 4/20	169
3	彩の樹アクリル画展	彩の樹 (アクリル画)	5/13～ 5/18	158
4	第17回吐夢展	吐夢の会（絵画）	5/20～ 5/25	237

5	第13回「水彩仲間18」作品展	水彩仲間18 (絵画)	5 / 27 ~ 6 / 1	296
6	第2回水彩スケッチ会「そよかぜ」展	水彩スケッチ会 そよかぜ (絵画)	6 / 24 ~ 6 / 29	217
7	第33回杉の子展	杉の子 (絵画)	7 / 8 ~ 7 / 13	326
8	市高連作品展	佐倉市高齢者ク ラブ連合会	9 / 16 ~ 9 / 19	251
9	しづ美術サークル作 品展	しづ美術サーク ル (絵画)	9 / 30 ~ 10 / 5	142
10	市民文化祭写真展	佐倉写真連盟 (写真)	10 / 7 ~ 10 / 12	351
11	第1回ミモザの会絵 画展	ミモザの会 (絵画)	10 / 14 ~ 10 / 19	276
12	市民文化祭 皐月及 び山野草展示会	佐倉皐月会 (盆栽)	10 / 28 ~ 10 / 31	532
13	絵画サークル「創」 第9回作品展	絵画サークル 「創」 (絵画)	10 / 28 ~ 11 / 2	216
14	白蝶会第38回絵画 展	白蝶会 (絵画)	11 / 3 ~ 11 / 8	237
15	楽画喜会作品展	さくら画の会 (絵画)	11 / 18 ~ 11 / 23	402
16	彩美会水彩画展	彩美会 (絵画)	11 / 25 ~ 11 / 30	255
17	伝統文化いけばなこ ども教室作品展	いけばなサーク ルひまわり (華道)	12 / 13 ~ 12 / 14	89
18	第43回まきな会作品 展	まきな会 (手工芸)	2 / 24 ~ 3 / 1	447
19	アビロン絵画展	水彩画グループ アビロン (絵画)	3 / 24 ~ 3 / 29	454
計		19団体		5, 257

6. 図書事業

○開室日・開室時間	火（第1火曜日を除く）～日曜日 9:00～17:00
○休 室 日	月曜日・第1火曜日・年末年始（12月28日～1月4日）・特別整理期間（月曜・第1火曜日が祝日の場合は次の平日）
○貸 出 方 法	登録制で貸出券による。1回につき1人10冊まで15日間貸出する。
○蔵 書 数	・一般図書 26,604冊 ・郷土資料 1,751冊 （音楽関係図書を含む） ・その他 0冊 ・児童図書 11,971冊 ・楽譜 4,413冊 ・洋書 66冊 ・参考図書 670冊 - 蔵書冊数 46,194冊（令和8年3月末現在） ・雑誌 21誌 ・新聞（朝刊） 7紙

○月別図書室利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	3,603	3,898	3,757	3,697	3,604	3,515	3,793	3,606	3,303	3,397	3,879	4,191	44,243
貸出 冊数 (冊)	11,359	10,872	10,099	11,243	11,086	10,007	10,883	10,393	9,807	9,621	10,154	10,774	126,298
開館 日数 (日)	25	27	25	25	24	23	26	24	22	22	23	25	291

○月別予約受取ロッカー利用状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数 (人)	210	214	220	218	246	209	239	237	171	224	228	251	2,667
貸出 冊数 (冊)	366	388	361	437	368	356	361	364	300	327	317	360	4,305
開館 日数 (日)	25	27	25	25	24	23	26	24	22	22	23	25	291

※臼井公民館図書室は図書館の分館的な機能を持ちながら、佐倉市民音楽ホールとの複合施設としての特殊性と地域性を考慮しつつ、児童・一般図書その他、楽譜・音楽関係図書の充実を図ることにより、特色ある図書室運営を目指している。

令和 7 年度
佐倉市立公民館のまとめ